

はじめに

すべての子どもたちが自分のやりたいことを見つけ、大きな夢やあこがれを抱き、志をもって自らの人生を切り拓いていくために必要な力をはぐくむことは、教育に携わる大人の使命です。そのため、大阪府教育委員会では、平成22年3月に『夢や志をはぐくむ教育』小学校版指導資料集と、中学校版指導資料集及び教師用指導書を編集し、各学校で活用いただいているところです。

今年度は、小学校版指導資料集に新たな資料も加えて、教師用指導書として本冊子を編集しました。

この冊子は、

- ・児童の発達段階にあわせて、学年・学期ごとに道徳教育とキャリア教育を関連させた教材を配列
- ・道徳教育の教材は、自立心、規範意識、勤労観、社会参画等をはぐくむための読み物資料を掲載
- ・キャリア教育の教材は、児童に探究的な活動をとおして、よりよく問題を解決する能力や、学び方、ものの考え方を身につけさせるため、よのなか科の手法等を取り入れた教材を掲載

など、各学校で活用しやすいように工夫しました。

平成23年度から各学校において、本冊子を有効に活用し、創意工夫のある取組みが展開されることを願っています。

最後になりましたが、本書の研究開発、編集にあたり熱心にご協力を賜りました関係者の皆様に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成23年3月

大阪府教育委員会事務局
市町村教育室小中学校課長

角野茂樹

3つの意欲と 3つの力をはぐくむ授業

- 人とつながる力
- 未来を設計する力
- 社会に参画する力

キャリア
教育

■ 積極的に自己の力を生かし、社会的に自立するための判断力や問題解決能力を育成します。

3つの力

★夢や志をはぐくむ教育のねらい・内容は、p1~6に掲載しています。

自立した生活

小学校
基盤形成期



発展

基盤

3つの意欲

- 自分を高めようとする意欲
- 他と共に高まろうとする意欲
- 目標を立て、実現しようとする意志

道徳
教育

「自己の向上」「他者との協力」「強い意志」に関する価値観の形成と、それらを実践しようとする意欲を養います。



生きる
元気



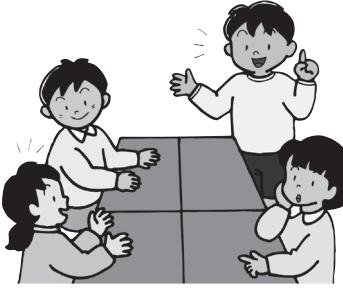
夢を
持つ



生活の
充実

★夢や志をはぐくむ教育の

総合的な学習の時間等



よのなか科の手法を活かした ネットワーク型授業

★よのなか科の手法を活かした指導方法は、
p 11～13に掲載しています。

→ これからの夢や目標を持つ

中学校 現実的探索期



指導計画は、p 7～8 に掲載しています。

道徳の時間



読み物資料を活用した授業

★道徳の時間の指導方法は、
p 9～11に掲載しています。

[第3章] 「キャリア教育」の教材 No.13

小学校4年1学組 (特別活動)「しかられなくてはならないこと」

■ しかられなくてはならないこと

ねらい

「しかる・しからない」について、保護者にアンケートを実施し、その結果を使って、自分で善惡の判断をし、行動することの大切さを考える。

(主に親にひきこまされない)
社会に参画する力

保護者の流れ

保護者の流れ (元気の流れ)

保護者が「しかる」と答えた項目を予想する。

↓

なんでもアレンジ
「一歩踏み出さないで」
※ 例題は「1年生になると、ようやく手紙が読めます。」

↓

上位(=「かるる」)と下位(=「かからぬ」)のちがいを考える。

↓

「うそをついてごまかす」というカードが書かれた、用意書になっていたかを想定する。

教師の支援

個人で手想した結果を、ワークシートに記入させる。

↓

班で相談をさせ、相手に表明させる。

↓

ランダム抽選表(1～12番)のそれぞれに片道運賃をとることを覚えさせます。

↓

想手を答えさせ、その理由を発表させる。

ポイント

事前に保護者アンケートを実施しておく。
→ 投票は保護者会員日にに行う。

板書例

しかられなくてはならないこと

1 子供といふのはかわいい。
2 友達といふのは可愛がなからでかわった
3 勉強といふのは頭がいい。
4 犯罪といふのは悪い。
5 読書をきちんとしない
6 光音の音楽にこよし
7 道を守らなければならぬ
8 道で迷惑をもたらさない
9 お風呂をよくこなす
10 大切なものを守る
11 何をするにも時間管理がいる
12 制限しているところのリストの抜けがなかった

wii

準備

保護者に事前アンケートを実施する
※ 12項目について、「さげしくしかる」「しかる」「しからない」を調査

ゲスト

先生 保護者 → 保護者会員日に投票をしてほしい。

参考資料

「しかる」は人に迷惑をかけるから、人をつけるから、人を困らせるから、迷惑をかけるから、問題にならかることに気がつく。

参考されている保護者の方の意見聞く。

★特別活動、総合的な学習の時間の教材は、
p 112～208に掲載しています。

社会的自立

高等学校
社会的準備期



指導計画は、p 7～8 に掲載しています。

道徳の時間



読み物資料を活用した授業

★道徳の時間の指導方法は、
p 9～11に掲載しています。

★道徳の時間の資料は、p 14～111に掲載しています。

道徳 …… 道徳の時間に活用する教材

総合 …… 総合的な学習の時間に活用する教材

特活 …… 特別活動に活用する教材

“基本的生活習慣” (小学校低学年)



“役割・協力” (小学校中学年)



“自己有用感・責任” (小学校高学年)



1 学期 **自分を高める①** “規則正しい生活をする”

- 道徳** しまのおさるたち
- 道徳** ノートのひこうき
- 特活** ようちえんとしょうがっこう
- 特活** きゅうしょくをのこしてもいい?

1 学期 **自分を高める③** “よく考えて行動する”

- 道徳** だれにも言えない
- 道徳** 目ざまし時計
- 特活** いやだなって思うこと②
- 特活** しかられなくてはならないこと

1 学期 **まわりと高まる⑤** “相手の身になって考える”

- 道徳** 車いすの少女
- 道徳** 最後のおくり物
- 特活** 学校づくりの提言
- 特活** サッカーと野球

2 学期 **自分を高める②** ① “よいこと悪いことの区別をし、行動する”

- 道徳** ガラスのパンピ
- 道徳** ぼく、よびにいってくる
- 特活** キャラクターのいいところさがし
- 特活** いやだなって思うこと①

2 学期 **まわりと高まる③** ① “進んではたらく”

- 道徳** お母さんの朝市
- 道徳** 神戸のふっこうは、ぼくらの手で
- 総合** おうちのしごと
- 総合** 学校ではたらいている人たち

2 学期 **まわりと高まる⑥** ① “役割や責任を自覚する”

- 道徳** 森の絵
- 道徳** みんなで劇を作ろう
- 特活** わたしたちのアクションプラン
- 特活** 自由ってなに?

2 学期 **まわりと高まる①** ② “みんなと仲よくする”

- 道徳** はしの上のおかみ
- 道徳** とべないほたる
- 特活** けんかして なかなおり
- 特活** ほしのハート

2 学期 **まわりと高まる④** ② “きまりの意味を考える”

- 道徳** あめだま
- 道徳** ふりだした雨
- 特活** 自転車の安全マップづくり
- 特活** “ねがい”と“やくそく”

2 学期 **まわりと高まる⑦** ② “家族や社会のためにはたらく”

- 道徳** 父の仕事
- 道徳** 病室六〇七号
- 総合** ケーキ屋さんを経営しよう
- 総合** 未来予想図～中学生にインタビュー～

3 学期 **まわりと高まる②** “約束やきまりを守る”

- 道徳** おじさんの手がみ
- 道徳** オレンジ色のおいしい木のみ
- 特活** ニコちゃんルールをきめよう
- 特活** やくそく

3 学期 **自分を高める④** “自分のよい所をのばす”

- 道徳** よわむし太郎
- 道徳** 花をさかせた水がめの話
- 総合** わくわく自分ツアーワーク
- 総合** ½成人式をしよう

3 学期 **目標を立てる** “夢や希望をもつ”

- 道徳** キャプテン
- 道徳** 青の洞門
- 総合** 夢の教室 JFA こころのプロジェクト
- 総合** よのなかの仕事

● 本・書・の・特・長 ●

1

児童の発達の段階を踏まえて、
テーマを設定し、教材を選定しています。

児童の発達の段階や、学校の主な取組みを考慮して学期ごとにテーマを設定し、それぞれのテーマについて、道徳教育とキャリア教育を関連させた教材を選んでいます。

2

児童の豊かな心と、
よりよく問題を解決する能力を育成します。

道徳教育の教材により、自己の生き方を考えさせ、児童の豊かな心をはぐくみます。

また、主として「よのなか科」の手法を取り入れたキャリア教育の教材により、探究的な活動をさせ、児童によりよく問題を解決する能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけさせます。



3

道徳の時間や総合的な学習の時間、特別活動に
すぐに使える教材を準備しています。

それぞれの教材について、読み物資料やワークシートを用意しています。授業でそのまま活用することができます。

4

道徳の授業や「よのなか科」の手法を活かしたネットワーク型授業の
進め方をわかりやすく説明しています。

資料の分析や授業の流れ、板書例などを示し、具体的な授業の進め方をわかりやすく説明しています。

また、道徳の授業や「よのなか科」の手法を活かしたネットワーク型授業の進め方に関する研修に活用することもできます。



目 次

第1章 夢や志をはぐくむ教育について 1

1. 夢や志をはぐくむ教育のねらい	1
2. 夢や志をはぐくむ教育の必要性	1
3. 夢や志をはぐくむ教育で育成する 3 つの意欲と 3 つの力	1
4. 夢や志をはぐくむ教育の内容（どのように進めていくか）	3
5. 夢や志をはぐくむ教育の指導計画	7
6. 夢や志をはぐくむ教育の指導方法	9

第2章 「道徳の時間」の教材 14

1. 低学年 “基本的生活習慣” 15

No.1 しまのおさるたち	15
No.2 ガラスのバンビ	19
No.3 はしの上のおおかみ	23
No.4 おじさんの手がみ	27
No.5 ノートのひこうき	31
No.6 ぼく、よびにいってくる	35
No.7 とべないほたる	39
No.8 オレンジ色のおいしい木のみ	43

2. 中学年 “役割・協力” 47

No.9 だれにも言えない	47
No.10 お母さんの朝市	51
No.11 あめだま	55
No.12 よわむし太郎	59
No.13 目ざまし時計	63
No.14 神戸のふっこうは、ぼくらの手で	67
No.15 ふりだした雨	71
No.16 花をさかせた水がめの話	75

3. 高学年 “自己有用感・責任” 79

No.17 車いすの少女	79
No.18 森の絵	83
No.19 父の仕事	87
No.20 キャブテン	91
No.21 最後のおくり物	95
No.22 みんなで劇を作ろう	99
No.23 病室六〇七号	103
No.24 青の洞門	107



第3章 「キャリア教育」の教材 112

1. 低学年 “基本的生活習慣” 113

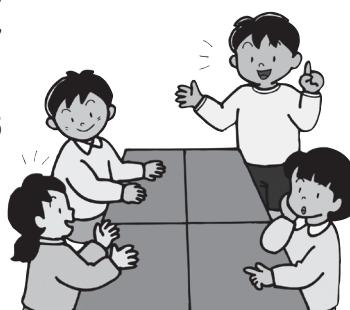
No.1	ようちえんとしうがっこう	113
No.2	キャラクターのいいところさがし	117
No.3	けんかして なかなおり	121
No.4	ニコちゃんルールをきめよう	125
No.5	きゅうしょくをのこしてもいい?	129
No.6	いやだなって思うこと①	133
No.7	ほしのハート	137
No.8	やくそく	141

2. 中学年 “役割・協力” 145

No.9	いやだなって思うこと②	145
No.10	おうちのしごと	149
No.11	自転車の安全マップづくり	153
No.12	わくわく自分ツアー	157
No.13	しかられなくてはならないこと	161
No.14	学校ではたらいている人たち	165
No.15	“ねがい”と “やくそく”	169
No.16	1/2 成人式をしよう	173

3. 高学年 “自己有用感・責任” 177

No.17	学校づくりの提言	177
No.18	わたしたちのアクションプラン	181
No.19	ケーキ屋さんを経営しよう	185
No.20	夢の教室 JFA こころのプロジェクト	189
No.21	サッカーと野球	193
No.22	自由ってなに?	197
No.23	未来予想図～中学生にインタビュー～	201
No.24	よのなかの仕事	205

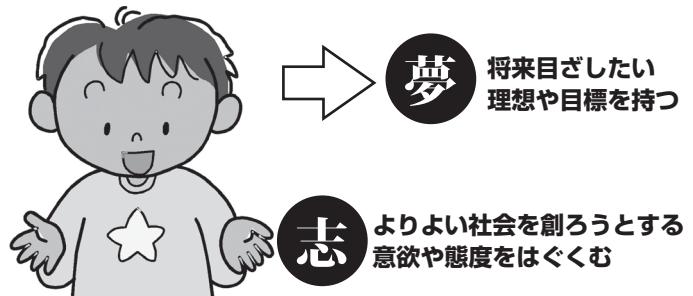


第1章

夢や志をはぐくむ教育について

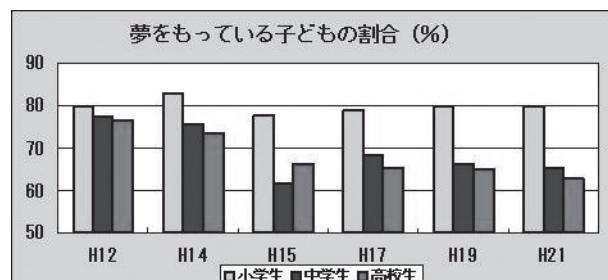
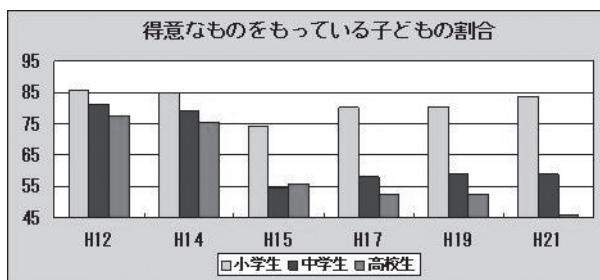
1. 夢や志をはぐくむ教育のねらい

夢や志をはぐくむ教育は、児童・生徒が充実した人生を送るために必要な理想や目標を持たせるとともに、社会人として必要な規範を身につけ、よりよい社会を創っていこうとする意欲や態度をはぐくむことをねらいにしています。



2. 夢や志をはぐくむ教育の必要性

平成21年度「小・中・高校生の意識と行動アンケート調査」によると、大阪の中・高校生は、平成12年と比べて「得意なことがある」、「夢がある」と答えた子どもの割合が、大幅に減少しています。このような結果から、子どもたちが自分に自信を持ち、夢や希望をふくらませることができる教育を計画的に進めていくとともに、身近な大人が魅力ある社会をつくろうとしている姿を見せていく必要があると考えています。



平成21年度「小・中・高校生の意識と行動アンケート調査」

3. 夢や志をはぐくむ教育で育成する3つの意欲と3つの力

児童・生徒が夢や目標を立て、その実現に向つて着実にやり抜こうとする強い意志をもつとともに、社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質や能力を身につけ、社会に主体的に参画していくことが大切であると考えています。

夢や志をはぐくむ教育では、児童・生徒が自分自身を見つめ、生き方を考える時間や、自分の将来を見据え、社会に参画していく力をはぐくむために活用できる教材を選定し、児童・生徒の3つの意欲と3つの力を育成します。



(1) 養いたい3つの意欲

① 自分を高めようとする意欲

今ある自分をしっかりと見つめ、自己の向上を図るとともに、理想の実現をめざして、自己の人生を切り拓こうとする意欲を養います。

② 他と共に高まろうとする意欲

まわりの人の個性や立場を尊重し、他の人の意見を認め、協力的な関係を築こうとする意欲を養います。

③ 目標を立て、実現しようとする意志

夢や目標を立て、困難に直面してもすぐにあきらめないで、ねばり強くやり抜こうとする強い意志を養います。

(2) 身につけさせたい3つの力

① 人とつながる力…「自他の理解能力」「コミュニケーション力」^{*1}

「自分をよく知る」ことから自己肯定感をはぐくみ、「友だちの思いを受け止める」ことから仲間との心の交流を図るなど、人とつながり生きていくために必要な能力をはぐくみます。

② 未来を設計する力…「情報収集・探索能力」「選択能力」「計画実行能力」^{*2}

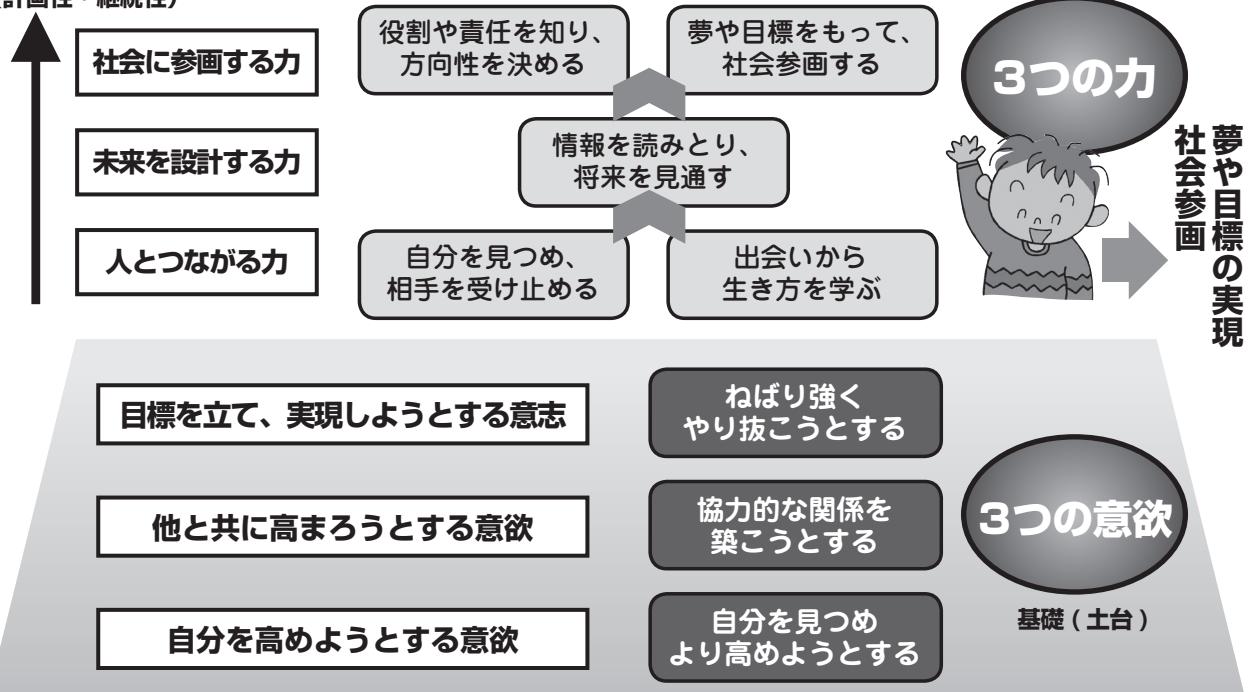
「情報を読みとる力」や「解釈し、編集する力」を養い、夢や目標の実現に向けて前向きに企画し、実行する能力をはぐくみます。

③ 社会に参画する力…「職業理解能力」「役割把握・認識能力」「課題解決能力」^{*3}

「役割や責任」を知り、「職業理解等、自分の方向性を決める力」を養い、夢や目標の実現に向けて社会参画していく実行力をはぐくみます。

「自他の理解能力」等^{*1～3}は、「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引—児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために—」(平成18年11月文部科学省)における職業的発達に関わる8つの能力

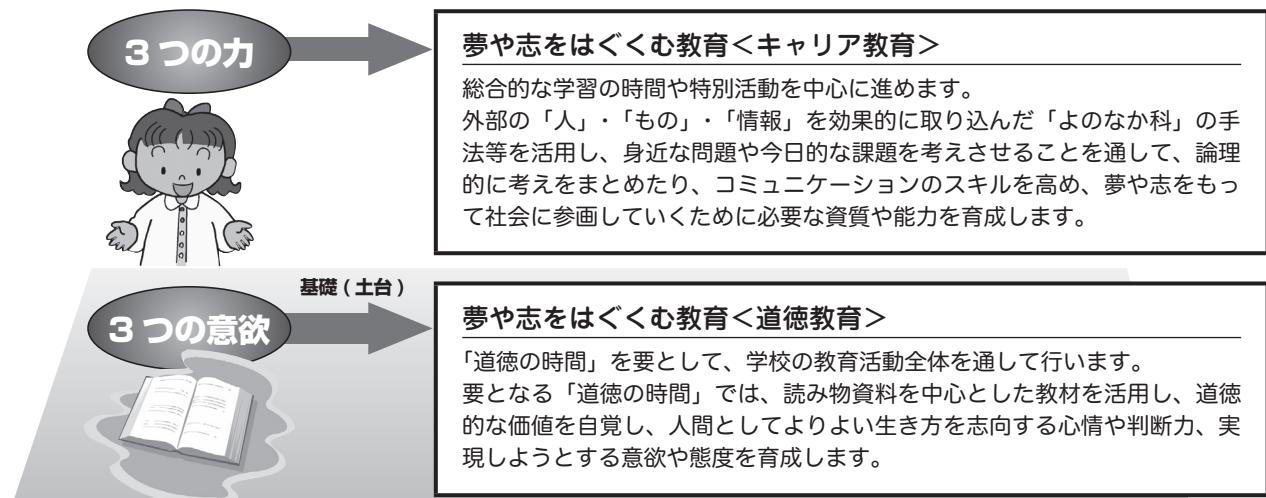
系統性（計画性・継続性）



4. 夢や志をはぐくむ教育の内容（どのように進めていくか）

(1) 夢や志をはぐくむ教育の内容<道徳教育とキャリア教育>

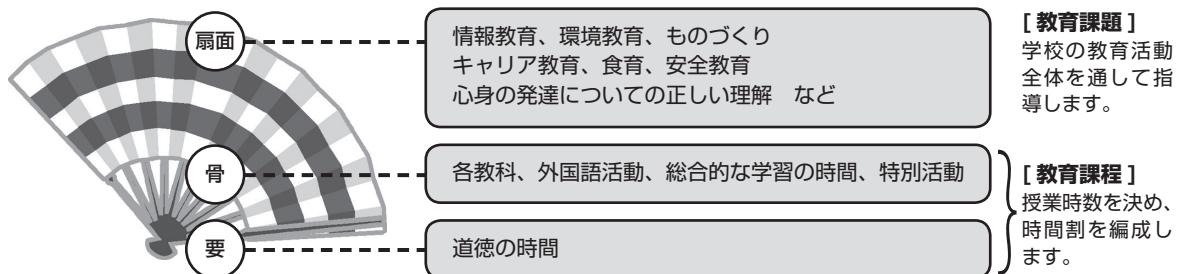
児童・生徒が夢や目標を持ち、その実現に向って着実にやり抜こうとする意志や社会に主体的に参画しようとする意欲を「道徳教育」で、社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質や能力を「キャリア教育」で育成します。



【学習指導要領上の位置づけ】

◎ 道徳教育 (第1章総則 第1の2)

学校における道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳の時間はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。



◎ キャリア教育

道徳教育を進めるに当たっては、教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、児童が自己の生き方についての考えを深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。

(第1章総則 第1の2)

横断的・総合的な学習や探究的な活動を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようとする。

(第5章総合的な学習の時間 第1)

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考え方を深め、自己を生かす能力を養う。

(第6章特別活動 第1)

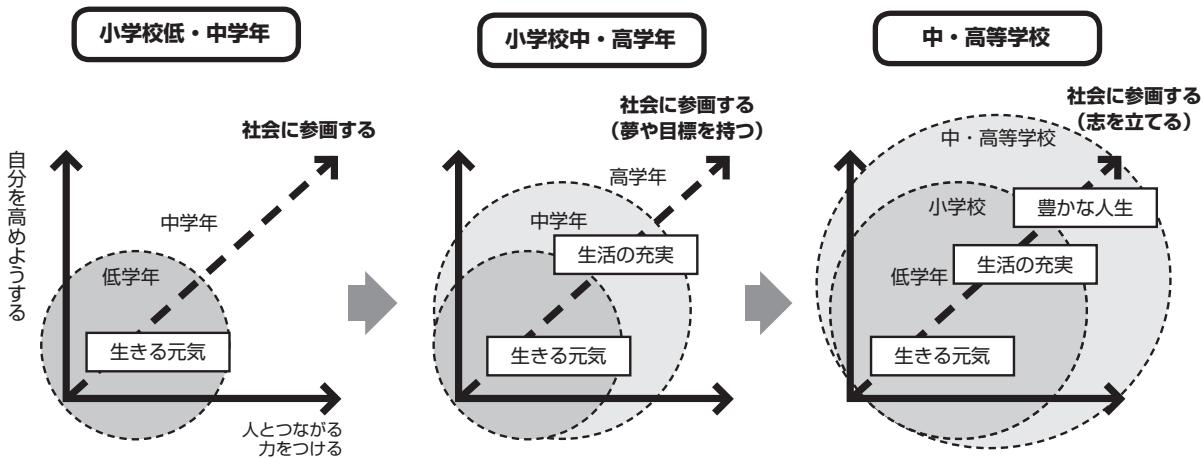
(2) 夢や志をはぐくむ教育の指導の重点

夢や志をはぐくむ教育では、小学校から高等学校まで、児童・生徒の発達の段階を考慮し、各学年の学期ごとに、テーマを設定しています。

それぞれのテーマについて、道徳の時間や総合的な学習の時間等に指導する教材を集め、2週間～1ヶ月程度のカリキュラムを作成しています。

① 児童・生徒の発達の段階を踏まえた指導

児童・生徒の実態や一人ひとりの発達の特徴を十分に踏まえるとともに、学年の段階に配慮した指導を行います。



【 小学校 】

子どもたちが夢や志を持つための「3つの意欲と3つの力」の基礎となる価値観や、基礎的な能力を身につけさせます。

低学年では、家庭とも連携を図りながら基本的な生活習慣を確立させ、「生きる元気」を養います。また、高学年では様々な体験活動を通して、物事に挑戦することの大切さに気づかせるとともに、課題をやり遂げたときの達成感を味わわせ、「生活の充実」を図ります。

ア 小学校低学年

この時期は、基本的な生活習慣を身につけさせ、規則的な行動を自ら進んでできるようにしていきます。また、よいことと悪いことの区別を理解させ、集団生活や社会のきまりについても確実に身につくようにします。さらに、自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、興味・関心を高め、意欲と自信をはぐくみます。

イ 小学校中学年

この時期は、自分の持ち味や役割を自覚させ、よい所を伸ばそうとする意識を高めるとともに、友だちのよさを認め、協同活動の仕方や仲間関係の在り方について考えられるようにします。

ウ 小学校高学年

この時期は、共によりよく生きようとする力がついてくることから、集団の中で役立つ喜びや自分への自信をはぐくみ、未来への具体的な夢や目標が持てるようになります。

【中学校】

中学校では、小学校での学習をもとに、社会の一員としての自己の生き方を考えさせます。

特に社会とのかかわりを踏まえ、「社会とは、支え合う仕組みであること」を理解させるとともに、先人や現代社会の中で活躍する人の生き方を通して、人生の豊かさや人間としての生き方について考えさせます。

ア 1年

自分たちの身近な問題を通して、今の自分や社会をしっかりと見つめさせます。また、将来の夢や目標を考えさせます。

イ 2年

社会の様々な問題を考えさせたり、地域や社会で活躍する人の生き方を通して、人間としての在り方を考えさせます。また、将来の夢や目標を踏まえ、中学校卒業後の進路についても考えさせます。

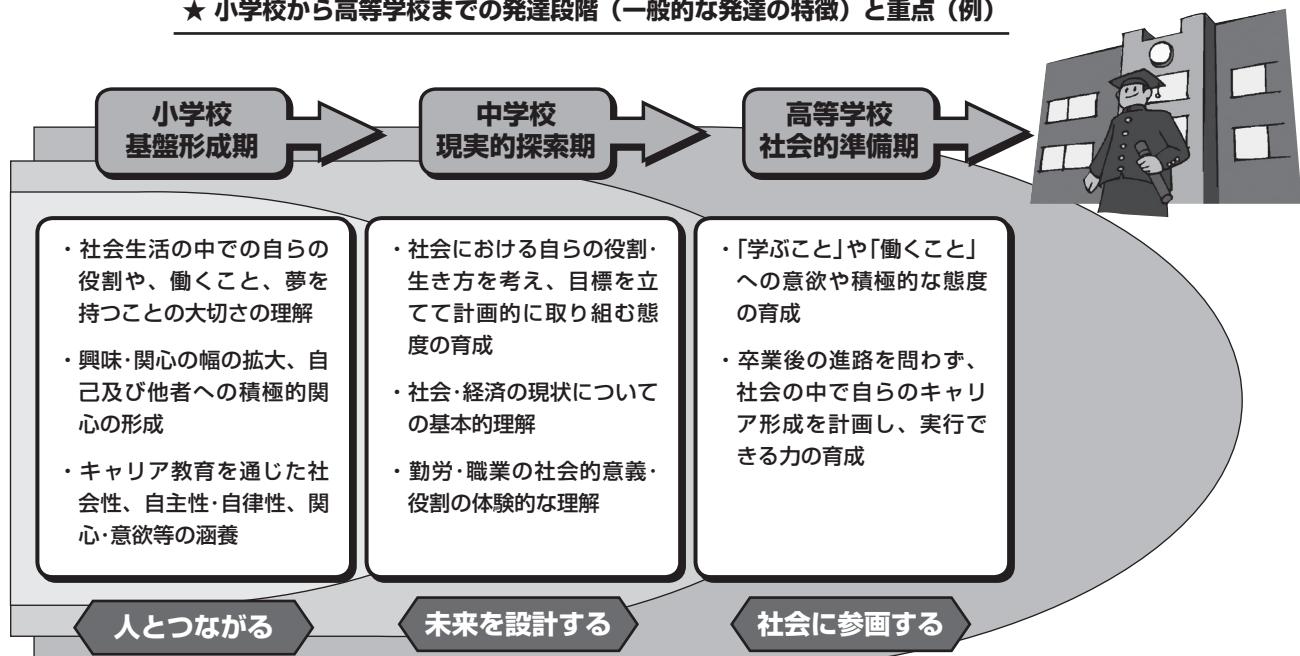
ウ 3年

1・2年生の学習をもとに、社会の一員としての自己の生き方を考えさせます。また、困難なことがあっても自分の夢や目標に向って、努力をし続ける強い意志をはぐくみます。

【高等学校】

高等学校では、生徒が近い将来、社会人として自立していく段階であることを踏まえ、小・中学校での教育の基礎のうえに、豊かな人間性や規範意識、マナー等を身につけ、志を持って、よき社会人として自立するとともに、社会についての理解や健全な批判力等を養い、社会の発展に寄与する態度をはぐくみます。

★ 小学校から高等学校までの発達段階（一般的な発達の特徴）と重点（例）



【参考】今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（中央教育審議会 審議経過報告より）

② 夢や志をはぐくむ教育と道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動における指導

ア 道徳の時間

道徳的価値及び自己の生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。

夢や志をはぐくむ教育では、「希望、努力」「進取の精神」「個性伸長」「社会参画」などといった内容を中心に読み物資料を活用した授業を行っていきます。



価値の自覚



人に親切にすることは大切だけど勇気がいるって感じた。

相手に負担をかけない親切が本当のやさしさだと思う。

イ 総合的な学習の時間

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができるようとする。

夢や志をはぐくむ教育では、「よのなか科」の手法等を取り入れたキャリア教育に関わる教材を活用して指導を行っていきます。



探究活動



夢のもつことの大切さがわかった。仲間と協力することは大事だと思った。

ゲストティーチャーの話を聞いて、もっといろいろ知りたいと思った。

ウ 特別活動

望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

夢や志をはぐくむ教育では、学級活動や学校行事等を通して、自分で選択・決定する機会や、他者とのかかわりを通して、目標を実現していく体験を積ませます。



集団活動



働くことの厳しさや助けあうことの大切さを感じた。

問題もあったけど、みんなで話し合って解決できた。

5. 夢や志をはぐくむ教育の指導計画

(1) 小学校のカリキュラム(例)

	1・2年 基本的生活習慣	3・4年 役割・協力	5・6年 自己有用感・責任
	基本的な生活習慣を身につけ、規則的な行動を自ら進んでできる。	自分の持ち味や役割を自覚するとともに、協同活動の仕方や仲間関係の在り方について考える。	集団の中で役立つ喜びや自分への自信をはぐくみ、夢や希望を持つ。
一学期	<u>自分を高める①</u> 規則正しい生活をする	<u>自分を高める③</u> よく考えて行動する	<u>まわりと高まる⑤</u> 相手の身になって考える
二学期	<u>自分を高める②</u> よいことと、悪いことの区別をし、行動する	<u>まわりと高まる③</u> 進んではたらく	<u>まわりと高まる⑥</u> 役割や責任を自覚する
	<u>まわりと高まる①</u> みんなと仲よくする	<u>まわりと高まる④</u> きまりの意味を考える	<u>まわりと高まる⑦</u> 家族や社会のためにはたらく
三学期	<u>まわりと高まる②</u> 約束やきまりを守る	<u>自分を高める④</u> 自分のよい所をのばす	<u>目標を立てる</u> 夢や希望をもつ

(2) 中学校のカリキュラム(例)

	1年 自己理解・将来の目標	2年 社会の一員としての自覚	3年 自他の尊重・志を立てる
	身近な問題を通して、自分や社会を見つめる。また、将来の夢や目標を考えられるようにする。	地域や社会で活躍する人の生き方を通して、人間としての在り方を考えさせる。	社会の一員として自己の生き方を考えさせるとともに、夢や目標に向う強い意志をはぐくむ。
一学期	<u>規範意識をはぐくむ①</u> 公共の場所におけるふるまいを考える	<u>自分を高める②</u> 良心に基づいた行動について考える	<u>規範意識をはぐくむ②</u> 法やきまりの意義について理解する
二学期	<u>社会に参画する①</u> 大阪のよさ、日本の伝統について考える	<u>社会に参画する②</u> 働くことの意義や尊さを理解する	<u>社会に参画する④</u> 支え合う社会について考える
	<u>命をかがやかせる①</u> 生活習慣を見直す(生きる元気)	<u>社会に参画する③</u> 社会貢献について考える	<u>命をかがやかせる②</u> 豊かな人生について考える
三学期	<u>自分を高める①</u> 目標を立て、計画的に取り組む	<u>まわりと共に高まる①</u> よりよい集団や社会をつくる	<u>自分を高める③</u> 志を立て、人生を切り拓く

(3) 小学校の指導教材（例）

① 小学校・道徳教育

	1・2年 基本的生活習慣		3・4年 役割・協力		5・6年 自己有用感・責任	
一学期	1年	しまのおさるたち	3年	だれにも言えない	5年	車いすの少女
	2年	ノートのひこうき	4年	目ざまし時計	6年	最後のおくり物
二学期	1年	ガラスのバンビ	3年	お母さんの朝市	5年	森の絵
		はしの上のおおかみ		あめだま		父の仕事
	2年	ぼく、よびにいってくる	4年	神戸のふっこうは、ぼくらの手で	6年	みんなで劇を作ろう
		とべないほたる		ふりだした雨		病室六〇七号
三学期	1年	おじさんの手がみ	3年	よわむし太郎	5年	キャプテン
	2年	オレンジ色のおいしい木のみ	4年	花をさかせた水がめの話	6年	青の洞門

② 小学校・キャリア教育

	1・2年 基本的生活習慣		3・4年 役割・協力		5・6年 自己有用感・責任	
一学期	1年	ようちえんと しょうがっこう	3年	いやだなって思うこと②	5年	学校づくりの提言
	2年	きゅうしょくを のこしてもいい?	4年	しかられなくては ならないこと	6年	サッカーと野球
二学期	1年	キャラクターの いいところさがし	3年	おうちのしごと	5年	わたしたちのアクション プラン
		けんかして なかなかおり		自転車の安全マップ づくり		ケーキ屋さんを 経営しよう
	2年	いやだなって思うこと①	4年	学校で はたらいている人たち	6年	自由ってなに?
		ほしのハート		“ねがい”と “やくそく”		未来予想図 ～中学生にインタビュー～
三学期	1年	ニコちゃんルールを きめよう	3年	わくわく自分ツアーリ	5年	夢の教室 JFA こころのプロジェクト
	2年	やくそく	4年	1/2 成人式をしよう	6年	よのなかの仕事

6. 夢や志をはぐくむ教育の指導方法

(1) 道徳の時間の指導

① 指導のねらいを決める

資料をよく読み、ねらいを設定します。児童の実態や道徳の内容項目を踏まえたうえで、何を考えさせ、何を話し合わせるのかを決めます。

指導の
ねらい

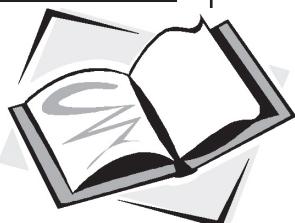
② 資料の分析

読み物資料には様々な内容が盛り込まれているので、資料をよく読み込み、授業のねらいと照らし合わせて、児童に考えさせたい中心的な場面を決め、発問を考えていきます。

資料の
分析

1. 資料を読む・・・資料の何を読むのか？

ストーリー性のある資料



(1) ストーリーを読む

(2) 登場人物の心を読む (場面の心理分析ではいけません)

・読むべき心とは道徳的心情・道徳的判断力・道徳的実践意欲などです。

・資料を読む段階では、

道徳的心情 : 感情としてはどのような状態であるか。

道徳的判断力 : どのように考えているか。

道徳的実践意欲 : どうしたいのか。を読みます。

・心を読み取るときには、資料の中の副詞や副詞句的な言葉に気をつけます。

(例) 「…のびのびと皿にとき始めた。」(p.86)、「ずっといい気もちでした。」(p.26)

(3) 主として主人公の道徳的变化を読む

・道徳的意識や行為がどのように（どこで）変化したのか、読みます。

(例) 「どうしてにこりともしないのだろう。」(p.90)

「なんだかおそろしいことのように思われてきました。」(p.90)

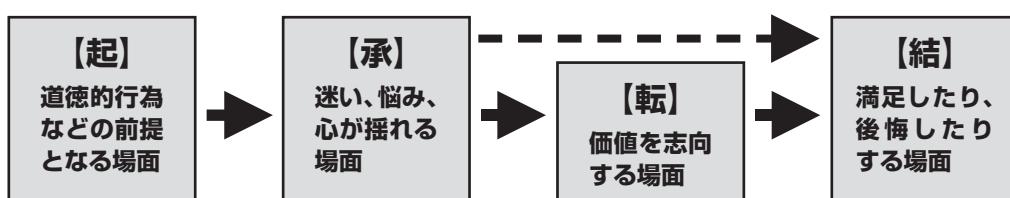
(4) 自己の在り方、生き方の問題を読む（他人事ではなく、わが事として読む）

・取り上げる道徳的な価値と一般的な人間の姿とを考えてみます。

(例) ロベーヌは何を決意したのだろうか。(p.98)

2. 場面に分ける

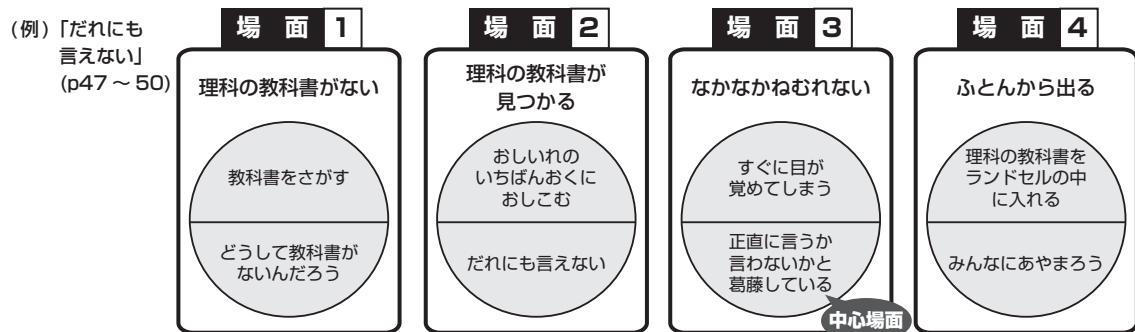
・紙芝居で資料を提示するしたら何枚の絵を用意するかを考えてみます。



※ すべての資料が「起・承・転・結」になっているとは限りません。

3. 中心的な場面を考える

- ・道徳的变化の起こる場面(転)か、その直後の場面(結)になることが多いです。
- 児童に熟考させ、様々な意見を引き出し、ねらいに迫っていくところになります。



4. 授業の中で最も深く考えさせる発問(中心的な発問)を考える

- ・中心的な場面で、児童への発問を考えます。
 - ・中心的な発問は本時のねらいと一致させます。また、行為を問うのではなく、行動のもととなる心のありよう(内面)を問います。
- 「主人公はどんな気持ちだったでしょう?」 → 【道徳的心情】
「主人公はどう考えたでしょう?」 → 【道徳的判断力】
「主人公はどうしようと思ったのでしょうか?」 → 【道徳的実践意欲・態度】

5. 中心発問に対する「予想される子どもの答え」を考える

③ 道徳の時間の指導のポイント

児童が登場人物に自分を重ね、自分の体験を通して登場人物の生き方を考え語り合う授業を創造していくことが大切です。登場人物の気持ちを類推するだけの授業や資料を読解させる授業にならないように注意します。

指導の流れ

1. 導入では児童の心をつかむ。

児童の興味、関心を高め、学習への意欲を喚起させます。



2. 資料は教師が読む。

児童に場面をしっかりと理解させます。台詞の読み方にも注意します。

3. 授業に「山」をつくる。

その時間のねらいをはっきりとさせます。

4. いかに発問するかを考える。

どう問うかが大切です。発問の仕方の工夫が求められます。

どのような文言で発問すれば深く考えさせることができるのかを熟考します。

5. 児童の発言を受けとめる力が教師に求められる。

児童の発言内容にこだわります。用意した発問だけでなく、補助発問を使い、考えを深めていくことが大切です。

6. 児童どうしの話し合いを大切にする。

一人ひとりが自分の考えや意見を発表するだけではなく、他人の意見やその根拠も聞き、自分の意見を見直したり、再確認できるような話し合いができるように留意します。

7. 終末では、学んだことを深く心に留めたり、今後の課題を考えられるよう工夫する。

児童が学習を通して分かったことを確かめたり、学んだことをさらに深く心に留められるよう工夫します。

必ずしも、児童の生活につなげる必要はありません。

8. 板書の時間は、45分中、5～8分程度。

児童の発言に直接反応する時間を大切にします。

板書は児童の意見をまとめ、思考の流れを整理したり、違いや多様さを対比的、構造的に示す工夫、中心部分を浮き出させる工夫をします。

(2) よのなか科の手法を活用したキャリア教育の指導

体験的な活動等を通して、児童が自分を見つめるとともに、相手の思いを受け止め、自ら考え方行動できる力を養うため、コミュニケーション活動や問題解決を通じたワークショップ型の授業を開展します。また、人と人とのつなぐ視点（コーディネーション）や、協力・連携する効果（コラボレーション）などを大事にし、生き方につなげる設定にしましょう。

① 「よのなか科」の手法とは

児童が、自らの人生を自分で考え、切り拓いていくために、生き方に関する様々な価値観をもつ大人とかかりわりをもたせ、外部の「人」・「もの」・「情報」を効果的に活用するネットワーク型の授業実践のことです。授業で専門家に説明してもらい、児童に様々な大人像、仕事観を提供できることは大きなメリットです。ゲストには、成功話を講演してもらうだけでなく、ともに学ぶ姿を見せてもらうことがポイントです。

よのなか科の手法の4つのポイント

- ① 身近な社会（よのなか）の中で、「正解がひとつでないテーマ」を取りあげて、「ものごとの本質」を考える授業
- ② 自で考えさせ、グループで共有しながら、自分なりの考えを固めていきます

個人で考える

グループで考える

生活につなげる

- ③ 児童に刺激を与える存在として、ゲストとして専門家を登場させた意見交流の場を設定し、身近な「ナナメの関係」にある大人が授業に参画

- ④ 思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業手法の推進

- ロールプレイング
- シミュレーション
- ブレーンストーミング（一人で考え、グループで共有）
- ディベート
- プレゼンテーション など



② 押さえておきたい手法のポイント

手法の ポイント

I . 正解のない問題に取り組む

たった一つの正解でなく、自分の納得いく考え方(納得解)を導く技術を鍛えます。このとき、「一人で考える⇒ペアやグループで共有する⇒振り返る⇒生活へつなげる・生かす」という場の設定が重要になります。また、正解はないので、とにかくたくさん考えさせ、出された意見に対して、批判しないで、共有させることが大事です。共有しながら、「なるほど」と思った意見は、自分の意見に取り入れていくこともよいことを伝えましょう。

II . 大人と子どもが一緒に学ぶ

「すべての参観者が、授業の参加者」となり、「児童の中に入ってサポート役」に徹することで、児童が「教師や親と異なる大人」の姿や意見から新たな視点で学ぶ場を設定します。



III . 思考力・判断力・表現力を身につける～特徴的な手法～

《ブレーンストーミング》

たくさんのアイディアを自由に出すための手法です。ポイントは以下のとおりです。

- ・質より量
- ・アイディアの批判をしない。どのような思いつきでもかまわない
- ・アイディア同士を組み合わせ、改善したり、発展させる

《ディベート》

「賛成反対両方の立場で考えてみる」というスタンスに立つことによって、物事を一面からのみでなく、いろいろな角度や立場から見たり、考えたりする習慣をつけさせるのが目的です。ポイントは以下のとおりです。

- ・はじめに自分の意見を書く
- ・次に自分の意見とは反対の立場に立って意見を書く

《プレゼンテーション》

聞き手に対して自分の意見や意志を正確に伝え、理解してもらうためのものです。ポイントは以下のとおりです。伝える内容を丁寧に組み立てる必要があり、結論や言いたいことを先に述べ、あとからその理由や背景を伝えるとよいでしょう。

- ・内 容 : 聞き手にとって分かりやすく、魅力的な内容であること
- ・伝 え 方 : 聞き手が興味を引き、聞き入るような話し方や伝え方
- ・態 度 : プレゼンターは気持ちを込め、正確に伝えること



③ めざすのは、「情報編集力の育成」

情報編集力とは、児童が培ってきた力や、情報を自分の視点で編集し、自分の結論や考えを導き出す力のことです。正解を見つけることのみに重きをおいていません。テーマについて、自分で考え、仲間の意見を聞いたり、参加している大人やゲストからアドバイスを受けたりしながら自分の納得のいく考え方（納得解）を見つけ出すことを目標とします。

④ ワークシートの活用に当たって

「よのなか科」の手法を活用したワークシートは、下の流れで進めていきます。

指導の流れ

- (ア) 導入～ウォーミングアップ
- (イ) ケーススタディを与えて、まず自分で考えさせる。次にグループで（大人も混ぜて）討議します。このときの方法として、ロールプレイング、シミュレーション、ブレーンストーミング、ディベートなどを用い、最後にプレゼンテーションを実施し、自分の考えを発表します。
- (ウ) ゲストの登場もしくは（イ）の深化
- (エ) 最後に、自分の考えを「記述」させます。
本書の各ワークシートの最後に、今日の授業の振り返りとして、自分の考えをまとめ、言葉や文章にして表現したり、論理的に考える場の設定をしています。

振り返りのポイント

「200字程度で今日の振り返り」を記入させる時のポイント

その1 文章は段落に分けて書くと、伝わりやすくなります。

- ・第一段落………問題のテーマについて結論（たとえば、「賛成」か「反対」か等）を書きます。
- ・第二段落以降…その理由や理由を支える事実や経験を書きます。

その2 理由を述べる際、下記のどちらかを使うことで、論理的説明につなげます。

- ・なぜなら～だからです。たとえば～。
- ・理由は二つあります。一つは、～。もう一つは、～。（二点以上でもよい）

⑤ 指導に当たって

「一人ひとりの児童の立場」に十分配慮して行いましょう。また、児童の意見や考えが、児童一人ひとりの体験的な学習に基づいて引き出されているかどうか、教師のねらいが確認できるように、学習の「振り返り」を大事にしましょう。

第2章 「道徳の時間」の教材



▲
低学年
▼

【**基本的生活習慣**】

1年

- No.1 しまのおさるたち
- No.2 ガラスのバンビ
- No.3 はしの上のおおかみ
- No.4 おじさんの手がみ

2年

- No.5 ノートのひこうき
- No.6 ぼく、よびにいってくる
- No.7 とべないほたる
- No.8 オレンジ色のおいしい木のみ

▲
中学年
▼

【**役割・協力**】

3年

- No.9 だれにも言えない
- No.10 お母さんの朝市
- No.11 あめだま
- No.12 よわむし太郎

4年

- No.13 目ざまし時計
- No.14 神戸のふっこうは、ぼくらの手で
- No.15 ふりだした雨
- No.16 花をさかせた水がめの話

▲
高学年
▼

【**自己有用感・責任**】

5年

- No.17 車いすの少女
- No.18 森の絵
- No.19 父の仕事
- No.20 キャプテン

6年

- No.21 最後のおくり物
- No.22 みんなで劇を作ろう
- No.23 病室六〇七号
- No.24 青の洞門



しまの おさるたち

出典：学研「みんなのどうとく」1ねん

ねらい

食べ物がなくなつてどうしたらしいのかわからないさるたちの気持ちを考えることを通して、自分でできることは自分でしようとする道徳的実践意欲を育てる。



内容項目 1- (1)

資料の分析

場面 1

島のさるたちが、
何でもだいきちざるに
してもらう

島のさるたちは、
自分たちで
何もしない

なにもこまらない
らくだなあ

場面 2

だいきちざるが
出かける

だいきちざるが
食べ物をどっさり
置いて出かける

たべものをおいて
いってくれたから、
だいじょうぶ。
心配ない

場面 3

だいきちざるが
帰れなくなる

島のさるたちの
食べ物がなくなる

困った。
どうしたら
いいんだ

活用の
ポイント

導入でキャリア教育の教材『ようちえんとしょうがっこう』で
考えたことを振り返り、できるようになったことや課題となつ
ているところを焦点化する等の工夫を行う。



ワンポイント

〈導入の工夫〉

- ・視聴覚資料や具体物などから気づくようにする。
- ・子どもの実態調査などから問題に気づくようにする。
- ・子どもの生活経験などから問題に気づくようにする。



授業の流れ

導入の工夫

みなさんはしょうがくせいになってできるようになったことがたくさんありますね。きょうのおさるさんたちはどうでしょうね。



主な発問

- ① 島のさるたちが、何もしなくともこまらなかつたのはなぜですか。



主な意見

- ・だいきちざるがいるから。
- ・だいきちざるがたべものを持ってくれるから。
- ・だいきちざるが力がつよくてやさしいから。



ポイント

- ・だいきちざるに頼り切っているさるたちの気持ちに共感させる。

- ② だいきちざるがでかけたとき、さるたちはどんな気持ちだったのでしょうか。

- ・たべものをおいていってくれたから、だいじょうぶ。
- ・しんぱいないよ。
- ・すぐにだいきちざるはかえってくるだろう。

- ③ だいきちざるが帰ってこれなくなったとき、さるたちはどんな気持ちだったのでしょう。

- ・おなかがすいたなあ。
- ・こまったなあ。
- ・だいきちざる、はやくかえってきて。
- ・どうしよう。
- ・だいきちざるにたよりすぎていた。
- ・じぶんたちで木にのぼろう。

- ・だいきちざるがいなくとも、少しも不安がないことに気づかせる。

- ・だいきちざるがいないことに不安を感じていることを共感させる。
- ・自分たちがしなくてはならないことがあることに気づかせたい。

終末の工夫

きょうのじゅぎょうで まなんだことを だしあいましょう。



板書例

しまの おさるたち

ぜんぜん いまって
しまの わたたち いない

たしきやぶるか
いるから
だいきぢやるは
やさし
たべものを とつて
もひえる

だいきちざるが
でかけて

かえつて へり
だいきちぢるが
れない



- ・おなかがすいたな
- ・こまつたなあ
- ・はやくかえってきて
- ・どうしよう
- ・だいきちざるにいた
- ・よりすぎていた

他の教科等との関連

キャリア教育

【ようちえんとしょうがっこう】
小学校になってからできるようになったこと、自分でするようになったことを考え、自分のことは自分でしようとする態度をはぐくむ。



他教科等との関連

【特別活動の時間】
学級のルールを守り、友だちと協力して楽しくする。

道德教育

しまの おさるたち

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

心のノートとの関連



「気もちのいい一日」 (1・2年用 14-17 頁)



しまの おさるたち

ひねり つねり、やねか だくさん すんで うめした。その 中に、だらけたりゆい うし、がが ひねり、やくづら しづやひた やねか うめした。

つねり やねだねは、だらけたりゆいに だのんで だくゆの を なぐでか みて ゆめく、うめやだねは なじか つね やくづらした。だから、木の世さま はしる うみか ひねり ておれやくとじた。それから、あんづか うめりやくつたのです。

ある 日、だらけたりゆい、おんじゆ つねり ひねり うく うみに がくめした。それで、おゆの ゆうだの だく ゆのを みゆかこ みて ねらへ、出かけた らめした。

だらけたりゆい かくひく かくひく 大おじに なり、 かくひく なくめした。つねりは、みて ゆうだ だく ゆのが かくひく、うめりして おれづ。

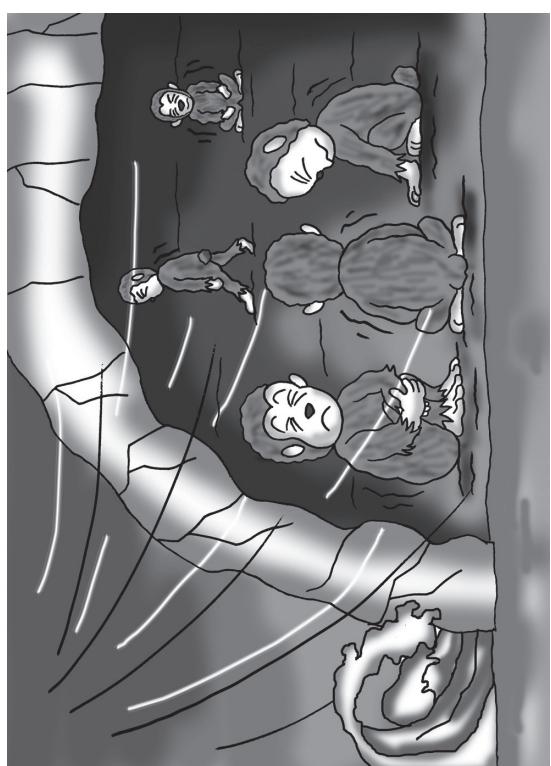
「おおやか、すうだね。うい つねり。」

「うい ひねりゆく、うめに なくめ。」

「おお、うい つねり。」

「おお、うめつだね。」

みんな、うい つねり うめに わかくめやん。だだ、う うつる おれおれわるひでした。



出典 日本光華『新しらべのくわくコース』146頁
参考 『みんなのうみへん』

ガラスのバンビ

出典：学校図書 かがやけみらい どうとく1年

ねらい

主人公が、バンビをもとにもどすことによって元気が出てくるという心の変化について考えさせることを通して、人に正直に伸び伸びと生活することのよさについて感じ取り、実行しようとする道徳的実践意欲・態度を育てる。



内容項目 1- (4)

資料の分析

場面 1

ガラスのバンビを
ポケットに入れて
しまった

バンビを
ポケットに入れた

バンビ、きれいだな
これ、ほしいな
もらおう

場面 2

かおがかっと
あつくなって、
下をむいた

下をむいて
しまった

あんなこと、
しなければ
よかったな

場面 3

ポケットの
バンビをもとに
もどした

ポケットの
バンビをそと
もどした

いけないことだから、
もどしておこう

場面 4

きゅうに元気が
出てきた

元気が出てきた

ごまかさないほうが、
気持ちいいな

活用の
ポイント

導入や展開後段で、無理に生活体験につなげなるのではなく、資料から全く離れるのではなく、資料の登場人物に話しかけたり、手紙を書いたりしながら振り返ることも効果的です。



授業の流れ

導入の工夫

きれいなガラス細工の人形を見せ、興味をもたせるなどの工夫をする。



主な発問

- ① まゆみは、なぜ、バンビをポケットの中に入れたのでしょうか。



主な意見

- ・きれいだと思ったから。
- ・ほしくなったから。
- ・だれも見ていなかったので、知られずにすむと思ったから。

- ② まゆみは、どのような気持ちで下をむいてしまったのでしょうか。

- ・バンビをポケットに入れなければよかったです。
- ・ポケットに入れたバンビが気になるな。
- ・どうしたら、このくるしい気持ちがなおるのかな。

- ③ まゆみは、どんなことを考えて、バンビをもとにもどしたのでしょうか。

- ・かってに自分のものにしてしまうのは、よくないな。
- ・これは、ともこちゃんのものだから、もどしておこう。
- ・もどしたら、くるしい気持ちがなおるのかな。

- ④ まゆみがバンビをもとにもどしたら、きゅうに元気が出てきたのは、どうしてでしょう。

- ・まちがったことをなおせたと思ったから。
- ・友だちのものをもとにもどして、すっきりしたから。
- ・心の中のもやもやがなくなったから。



ポイント

- ・「まゆみの ポケットのなかに はいって いました。」



まゆみが、ポケットに入れてしまったのだということを確認したうえで発問する。あくまでも、資料中の道徳上の主人公の心を問うように配慮する。

- ・道徳的判断力を問う。

- ・展開の終末で、あからさまに児童のこれまでの経験を引き出してしまうことのないように、特に留意する。

終末の工夫

きょう、まなんだことを かいてみましょう。
かけたら、はなしてみましょう。

指導の工夫

板書例

ガラスのバンビ

なぜ、バンビをポケットの中にいる
あなたの

- ・きれいなので、ほしくなったから
- ・だれにも知られないとおもつたから。

下をむいてしまったのは

- ・バンビをポケットにいれなければよかつたな。

バンビをもとにもどした



きゅうにげんきがでてきた

- ・まちがつたことをなおせたとおもったから。
- ・もともどして、すっきりしたから。

他の教科等との関連

キャリア教育

[キャラクターのいいところさがし]
みんなが好きなキャラクターやまわりの人のいいところをさがし、そのよさを自分にも生かそうとする。



他教科等との関連

【体育】

ゲームをする際、ルールを守ったり自分の非を素直に認めたりする。

道徳教育

【ガラスのバンビ】

うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。

心のノートとの関連



「うそなんか つくもんか」
(1・2年用 26 - 27 頁)

はしの上のおおかみ

出典：学研「みんなのどうとく」1ねん

ねらい

自分より弱い相手にいばることで、得意になっていた主人公のおおかみが、くまの優しさにふれ、相手に親切にすることの気持ちよさに目覚める姿について考えることを通して、人に思いやりをもって接することのよさについて感じ取り、実行しようとする道徳的実践意欲・態度を育てる。 内容項目2- (2)



資料の分析

場面1

「えへん、へん」と
いっておおかみが
こわい顔でどなる

「えへん、へん」と
いってはしを
わたった

橋をひとりじめ
するのは、いい気分
だな

場面2

はしをわたって
いて、くまに
出会った

あわてて、
おじぎをした

くまさんは
こわいから、
自分がもどろ

場面3

くまの後ろ姿を
いつまでも
見ている

くまの後ろ姿を
見送った

こんな風にすれば
よかったです

場面4

うさぎをそっと
おろしてやった

「えへん、へん」

親切にするのは
いい気持ちだな

活用の ポイント

場面4までのおおかみの心（内面）について考えた後、
中心発問として、「橋の上でくまさんに出会ったおおかみは、く
まさんから何を受け取ったのでしょうか。」と投げかける。



授業の流れ

導入の工夫

「一本橋」が理解できないと考えるため、その説明をする。あとは、45分間の展開を考えて、「今日は、おおかみさんが出でくるお話を読みます。」というように、簡単な導入とする。



主な発問

① 「えへん、へん」と言って橋をわたったとき、おおかみはどんなことを感じていましたか。

② くまに出会ったとき、おおかみがあわてておじぎをしたのは、どうしてですか。

③ くまの後ろ姿を見ていたおおかみは、どんなことを感じていたでしょう。

④ うさぎをそっと下ろしてやったあと、「えへん、へん」と言ったおおかみは、どんなことを思っていたでしょう。

⑤ 橋の上でくまに出会ったおおかみは、くまから何を受け取ったのだと思いますか。



主な意見

- ・おれは強いんだなあ。
- ・とおせんぼうは、おもしろいなあ。
- ・橋をひとりじめしてわたるのは、いい気分だなあ。

- ・ここは、先に通ってもらったほうがいいだろうな。
- ・くまさんは、大きくてこわいから、ゆすっておこう。

- ・くまさんは、何て優しいんだろう。
- ・今までの自分がはずかしい。
- ・自分は、すごくいじわるだった。
- ・こんな風にすればよかったです。

- ・親切にするのは、いい気持ちだな。
- ・これからもこんな風にしよう。
- ・くまさんみたいにいいことができたな。

- ・やさしさ。
- ・ほかの人に親切にすることを大切にする気持ち。
- ・あたたかい心。



ポイント

- ・主人公が、人にいじわるをしておもしろがっていることに気づかせる。
- ・くまに出会ったときのおおかみの気持ちを考えさせる。
- ・くまの行動によって大きく動いたおおかみの心について考えさせる。
- ・人に親切にして、おおかみが以前とはまったく違う気持ちを味わっていることを感じ取らせる。
- ・素晴らしい人物との出会いによって、生き方が大きく変わることもあることを感じさせたい。

終末の工夫

きょうのじゅぎょうで かんじたことを だしあいましょう。

指導の工夫

板書例

・しんせつにするのは、いいき
う。
・これからもこんなふうにしよ
う。

「えへん、へん」

・いままでのじぶん
がはずかしい。
・こんなふうにすれ
ばよかつたんだな。



くまのうしろすがたをみて…

・くまさんは、おおきくてこわ
いから、とおつてもうおう。

びうして、くまにおじぎをした

・おれはつよいんだ
なあ。
・とおせんぼうは、
おもしろいなあ。



「えへん、へん」

はしの上のおおかみ

他の教科等との関連

キャリア教育

【けんかして なかなおり】

友だちとけんかしたあとの気持ちや仲直りのしかたを考え、身近な友だちと仲良くし、助け合う関係を築く力を育てる。



他教科等との関連

【たてわり活動】

交流活動を通して、子どもの行為をはげます。

道徳教育

【はしの上のおおかみ】

幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。

心のノートとの関連



「あたたかい こころを とどけよう」
(1・2年用 40 - 43頁)

おじさんの手がみ

出典：学研「みんなのどうとく」1ねん

ねらい

おじさんをゆかいにさせたことと、それに至るまでの
思いを考えることを通して、マナーを守ろうとする道徳的実践
意欲を育てる。



内容項目 4- (1)

資料の
分析

場面 1

子どもが電車に
のってくる

子どもたちが
のってきて、
目をつぶる

いやだな。大さわぎ
するんだろうな

場面 2

すらりとならんで
立っている

そっと目を
あける

さわがしく
ならないな
ふしぎだな

場面 3

子どもたちがしずかに
おりていく

子どもたちを、
にこにこして見送る

なんとなく
ゆかいだな

活用の
ポイント

おじさんの思いについて書かれているが、電車内の他のお客さんたちも同じような思いであろうということを確認しながら授業を進める。



授業の流れ

導入の工夫

「遠足のとき、他のお客さんといっしょに電車に乗ったことがありますね。ある学校に、遠足のときに子どもと同じ車両に乗ったお客様の一人（おじさん）から手紙が来たという話を読んでいきます。」



主な発問



主な意見



ポイント

- ① おじさんは、なぜ、目をつぶったのでしょうか。

- ・大きさわざする様子を見たくないと思ったから。
- ・見ると、よけいはらが立つてくるから。

- ② おじさんは、なぜ、はずかしくなったのでしょうか。

- ・子どもたちが大きさわざすると決めつけていたのに、ちがっていたから。
- ・いやだと思ったのに、そんなことにならなかつたから。

- ③ おじさんが、なんとなくゆかいだったのは、何をみたからでしょうか。

- ・しづかにできる子どもたちのようすをみたから。
- ・足をふんばり、口をむすんでいる様子をみたから。

- ④ おじさんや他のお客さんたちに、ひがし小学校のみんなのどんな思いが伝わったのでしょうか。

- ・めいわくをかけないようにしようという思い。
- ・さいごまでがんばろうという思い。
- ・電車に乗っているときのきまりを守ろうという思い。

- ・自分たちが乗り合せたときの体験を思い出させる。

- ・おしゃべりしたい欲望を抑えている子どもたちの様子を感じているおじさんの気持ちを想像させる。

- ・おじさんの思いについて書かれているが、電車内の他のお客さんたちも同じような思いであろうということを確認しながら授業を進めること。

終末の工夫

今日、まなんだことを書き、交流する。実際の生活にすぐあてはめて指導してしまうことのないように留意する。

指導の工夫

板書例

おじさんの手がみ

思つづけたおじさん。



はずかしくなった。

- ・みんながさわぐときめつけていたのに、そうならなかつたから
- ・いやだとおもつっていたのに、ちがつていたから

ひがし小学校みんなのおもい

- ・めいわくをかけないようじょう
- ・でんしゃでのきまりをまもつ
- ・さいじまでがんばろう

なんとなくゆかいだった。

- ・でんしゃの中でじゅかにできる子どもたちのよつむをみたから
- ・子どもたちが、あしをふんばり、口をむすんでいるよつすをみたから



他の教科等との関連

キャリア教育

【ニコちゃんルールをきめよう】
みんなが楽しく遊ぶためには、「遊びのルール」が必要であることを理解する。



他教科等との関連

【生活科】

調べ学習をする際、ルールを守り、協力する。

道徳教育

【おじさんの手がみ】

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。

心のノートとの関連



「みんなと 気もちよく いよう」
(1・2年用 71 - 75 頁)

ノートのひこうき

出典：日本文教出版「生きる力」2年

ねらい

ノートのかみが、ひこうきにおられて、とばされたときの気持ちについて考えることを通して、ものを大切に使用する態度を育てる。



内容項目 1- (1)

資料の分析

場面 1

ていねいに使われる

みんなとはなす

大切に使われて嬉しい

場面 2

やぶられて、ひこうきにされとばされる

顔を見あわせる

どうなるか心配

場面 3

踏みつぶされて、どろんこになる

どろんこになる

苦しい

場面 4

風に吹かれて、運動場のすみにとばされる

気がつくふるえる

どうなるのか悲しい

活用の
ポイント

日常生活で大切に使いたいものを振り返り、物を大切にするよ
さに気づかせる。



【役割演技】について

児童に具体的な場面を示し、特定の役割を与えて演技させ、道徳的価値の理解を体験的に深めたり、強い心情的共感をもたらせたり、自他の立場を客観的に理解させたり、望ましい価値選択能力をつけたりする指導法。

授業の流れ

導入の工夫

自分の持ち物には、どんなものがありますか。
今日は、ノートの話です。



主な発問

- ① ノートの紙たちは、ていねいに書いてもらつたとき、どう思いましたか。



主な意見

- ・うれしい。
- ・思ったとおりだった。
- ・よかったです。ありがとう。
- ・いつまでもていねいに使ってね。

- ② 三日目に、二、三枚の友だちと一緒にやぶられたぼくはどう思ったでしょう。

- ・もっと大切にしてよ。
- ・いたかった。
- ・残念。
- ・ひどいよ。
- ・これからどうなるのかな。

- ③ 紙飛行機にされ、子どもたちにふみつぶされたり、風に飛ばされたぼくはどんな気持ちになつたでしょう。

- ・大切にしてほしかった。
- ・どうなるのだろう。
- ・さみしい。悲しい。
- ・ちがう人に買ってほしかった。
- ・寒いよ。

- ④ ノートさんが喜ぶときは、どんなときですか。

- 大切にされたとき。
人の役に立ったとき。



ポイント

- ・児童に役割演技をさせながら、見ている児童からも見ていたときの感じ方や考え方を引き出す。
- ・ていねいに使われると気持ちがよいことに気づかせる。
- ・破られた不安や不満を共感させる。
- ・ノートの立場になって、考えさせる。
- ・挿絵を活用して、ノートのつらい気持ちを引き出す。
- ・導入で発言のあった自分の持ち物を例に取り上げ、それらの物を大切にしたいと思う心に気づかせたい。

終末の工夫

指導者が、大切に使い切ったノートを示して、思いを語る。

指導の工夫

板書例

・たいせつにされたとき
・人のやくに立ったとき

ノートさんがよろこぶときは、ど
んなとき

どうなるの
だろう
たいせつに
かった
してほしに

ふみつけられたとき

いたい
ぼくのことを
どう思ってい
るの
ざんねん
ひどいよ
どうなるの

やぶられたとき

うれしい
おもつたとおり
これからもていねいに
つかつてね

ノートのひこうき
ていねいに書いてもらつた



他の教科等との関連

キャリア教育

【きゅうしょくをのこしてもいい?】
給食を残すことの善し悪しについて考えたり、調理員の方や栄養教諭のお話を聞くことを通して、好き嫌いをなくすことの大切さに気づく。



他教科等との関連

【図工】

道具を大事に扱いながら無駄なく使い、楽しんで作品を仕上げる。

道徳教育

【ノートのひこうき】

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

心のノートとの関連



「気もちの いい 一日」
(1・2年用 14-17頁)



አ—ተኞኑናዎች

ぼくたちは、ノートのかみです。
「たいせつにつかってほしいね。」
とみんなではなしていました。
やがて、一年生の男の子にかわれて、かばんに入
れられました。

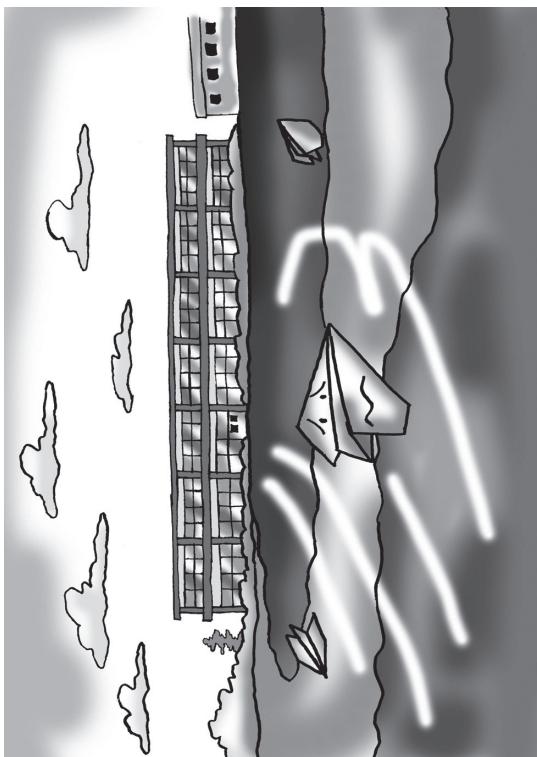
はじめの 日、男の子は、1ページ目に わくわんを
かきはじめました。つぎの 日には、1ページ目に しゆ
くくださいを かきました。

「うそだよ。」
「うそだよ。」
「うそだよ。」
「うそだよ。」

「うーん、どうもこれでいいかな? まだちょっと甘くないかな?」

けれども、その日の日には、じゅう車や口ボシトのえをかまはじめました。つまはこむらほくのはんだ、とおもつたときでした。シリシリコロコロ、じきなり11111111のむかだかんここしきり、おひがれてしまいました。

「ぼくたちは、どうなるかと しんぱいで、かおを 見あわせました。」



やいてきてハヤシとじめんにたまきけられました。

やがて、休みじかんの おわる チャイムが なると、ぼくは、
きょうしつに 入る 子どもたちに よみづぶされて、どうん
こになつて しまひました。そして、ピコーシと かぜに
ふかれて、うんじうじゅうの すみまで どばされて いきました。

氣が ぐるぐる はかの じゆだねか、 かせに くわかれで、
からえて うつむ。

なかまの ひとりが、

「わたししたかせ、今 がるのかい？」

と、がわだしそうなかわを2していふねした。

ぼく、よびにいってくる

出典：文溪堂「2年生のどうとく」

ねらい

サッカーをするときに、「ほんたもなかまに入れようよ」と言ったほんすけの気持ちを考えることを通して、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことは勇気を出して行おうとする意欲を育てる。



内容項目 1- (3)

資料の分析

場面 1

6匹のたぬきがかくれる

石にばけるが、しっぽを出す

ほんたも仲間に入れたい

場面 2

くみわけのジャンケンをする

ぽつりとつぶやく

みんなに嫌われるかな

場面 3

ほんきちににらまれる

大声で「なかまにいれようよ。」

怖いけど、ほんたと遊びたい

場面 4

みんなでほんたをよびにいく

よびにいくために走り出す

自分からいってよかった

活用のポイント

資料を児童の日常生活に当てはめて、勇気を出すと結果がよくなるという確認をしたり、児童の友人関係に配慮しない押さえをしないように気をつける。

ほんたを仲間に入れるために勇気を出したほんすけはえらい、という感想を共有する。



授業の流れ

導入の工夫

昨日（または昼休み）どんな遊びをしましたか。



主な発問



主な意見



ポイント

- ① 石にばけたぽんすけはどうしてわざとしつぽを出しておいたのでしょうか。

- ・ぽんたにみつけてほしい。
- ・ばけているのがばれたら、ぽんたも入ることができる。

- ② ぽんきちににらまれたぽんすけはどう考えましたか。

- ・こわい。きらわれる。
- ・もう、言うのをやめようかな。
- ・ぽんたを入れた方がいいよ。

- ③ ぽんすけが大きな声で言ったのはどう思ったからですか。

- ・ぽんたがかわいそうだよ。
- ・数がはんぱでも遊べるよ。
- ・ぼくはぽんたと遊びたいよ。

- ④ みんながわかってくれて、ぽんすけはどう思つたのでしょうか。

- ・思いきっていってよかった。
- ・みんないい友だちだ。

- ・数がはんぱになるという意味を押さえる。
- ・ぽんたのことがいやなのではない。

・役割演技も考えられる。
ぽんすけ：(ぽつりと)
「ぽんたもなかまに入れようよ。」
ぽんきち：にらむ
ぽんすけ：(大きな声で)「ぽんたもなかまに入れよう。」

・ る。
同じ言葉が続いたら補助発問をする。

※補助発問をしながら子どもたちが深く考え、主体的に価値を自覚していくようにする。

終末の工夫

勇気を出してすっきりした体験を話す。

指導の工夫

板書例

- ・みんながわかつてくれた
- ・思いきつていってよかつた
- ・いい友だちだ

「ぼく、よびにいってくる。」

- ・ぽんたがかわいそう
- ・ぽんたとあそびたい
- ・はんぱな数でもあそべるよ



「ねえ、ぽんたもなかまに入れようよ。」(大きなこえで)

- ・でも、ぽんたを入れた方がいい

「ねえ、ぽんたもなかまに入れようよ。」
（かおがあつい）

- ・ぽんきちはにらんだ
- ・かおがあつい

「よし、つづきをしよう。」

- ・ぽんすけ一気になつてしかたがない

- ・ぽんたはひろばを出でいつてしまつた



ぼく、よびにいってくる

- ・みつけたほしい
- ・ぽんたも入れてあげたい

他の教科等との関連

キャリア教育

【いやだなって思うこと①】

病院の中を見て、いやだと感じるところをみんなで出し合うことを通してまわりの人めいわくをかけることや、きまりをやぶることを「いやだ」と感じる心を育てる。



他教科等との関連

【給食の時間】

自分で最後まで後片づけをしてから遊びに行こうとする。

道徳教育

【ぼく、よびにいってくる】

よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。



心のノートとの関連

「よいこと すすんで」
(1・2年用 22-25頁)

とべない ほたる

出典：日本文教出版「生きる力」2年

ねらい

土にうもれたほたるを助けたとべないほたるの行動について考えることを通して、友だちと仲よくし、助け合おうとする心情を育てる。



内容項目 2- (3)

資料の分析

場面 1

1匹のほたるが
土にうもれて
いる

どうしていいのか
わからない

死んでしまう
どうしよう

場面 2

強い風と雨が
続く

足をふみながら
くやしがる

一人で助けられそう
もない

場面 3

不思議な声が
聞こえる

どろ水の中に
入っていく

からだの中から
力がわいてくる

場面 4

土にうもれた
ほたるを助ける

小石を
とりのぞき、
助ける

早く助けて
楽にして
あげたい

活用の
ポイント

危険をかえりみず、仲間を助けることを確認するのではなく、困難を乗りこえる強い気持ちや知恵を生み出した心の様相に触れ、友だちのよさに気づかせることをねらいとする。



授業の流れ

導入の工夫

友だちの困っているところに出会ったことはありますか。



主な発問



主な意見



ポイント

- ① 土にうもれているほたるを見て、とべないほたるはどう思いましたか。

- ・くるしそう。
- ・このままだと死んでしまう。
- ・助けてあげたい。

- ② とべないほたるが、くやしがったのはどうしてですか。

- ・助けられない。
- ・自分一人しかいない。
- ・強い雨や風のせい。
- ・どろ水がじゃましている。

- ③ 不思議な声を聞いて、力がわいてきたのはどうしてですか。

- ・友だちを助けたいから。
- ・やる気を出せばできる気がしたから。

- ④ 気をうしなった二ひきはどんな夢を見ているのでしょうか。

- ・なかよく遊ぶ夢。
- ・お礼を言っている。
- ・いっしょに飛んでいる。

- ・場面絵等を使って黒板に掲示する。

- ・助けたい気持ちはあるが、なかなか助けに行けない気持ちをとらえさせる。

- ・とべないほたるの行動を支えている気持ちについて考えさせる。

- ・友だちのすばらしさを感じさせる。

終末の工夫

〈ワークシートを活用〉
書くことを通して、自分を振り返り、自分の考え方や感じ方をはっきりと見つめ直すことができる。

指導の工夫

板書例



ゆめ

- ・なかよくあそぶ。
- ・おれいを言つていい。
- ・いつしょにとんでもいる。

二ひきはつかれはてて氣をうしなう。



- ・小石をとる
- ・引っ張り出す
- ・友だちをたすけたい
- ・やる気を出せばやれる

・心にふしげな声が聞こえてきた

・たすけられない

・一人しかいない

・どろ水がじやま

・つよい雨やかぜ

とべないほたるは足をふみながら
くやしがりました。



- ・ shinjyau
- ・どうしたういいの

とべないほたる

他の教科等との関連

キャリア教育

【ほしのハート】

まわりの人のかかわりによって、気持ちが変化することに気づき、お互いが気持ちよく生活するにはどうすればいいのかを考える。



他教科等との関連

【算数】

グループ活動での協力、困っている人の心を理解しようとする。

道徳教育

【とべないほたる】

友だちと仲よくし、助け合う。

心のノートとの関連



「友だちと いっしょ」
(1・2年用 44-47頁)



とべないほたる

きれいなお月さまが出ています。とべないほたるはつゆくさの上でぼんやりとお月さまをながめていました。お空の上ではたくさんのかまどちがチカチカとひかりながらとんでいました。「お空の上はお月さまが大きく見えるのかなあ。みんな、うれしそうだなあ。」

ところが、やよい気がつむかづよいからせがやめくろいくねがお月さまをじんじんかくしてしまつたのです。
「これは天気がわるくなるぞ。あらしがくるよー。早くみんなおりてきてきて!」

あつとじゅうまのでもうでした。空からつよいからせとおねつぶの雨が、おちてきて、たちまちのうちにほたるたちはやめくねはされてしまつたのです。

「わあ!」

「きやー!」

みんなのひめじがあがりました。つゆくさの上のとべないほたるも、ひみだまりもなくやめくねはされてしまつたのです。

気がつくと、じるの上でした。足や手がズキズキといたります。
「いてててて……。」

いたいからだをようやくおこして、とべないほたるは、じる水のむにつに土にうまれているほたるをつけました。足をバタバタさせ、おしりをひからせて、とてもくるしそうです。
「あのままだいしんじゅつよー。……ああ、じうしゅう。」

まわりにはだれもいません。ひとりでだけるには、じる水の中をくぐらなければならぬのです。それに、ここをうつけば、つよい雨やからせにやめくねはれてしまつかもしれません。
「ああ、じうしゅう。」

とべないほたるは、足をよみながらくしゃしゃりました。

すると……。とべないほたるのここによしおなこえがきこえてきたのです。

「水の中もあるけどかぜの中だってあるけど。」

あたたかくてなつかしいこえでした。からだの中から力がわいてくることがあります。とべないほたるは、そのこえにみちびかれるようにしてじる水の中に入つていました……。

やつとのおもいでじる水の中をとりぬけました。目のまえには、おしりを出してくるしんでいるほたるがいました。
「ああまにあつた。」

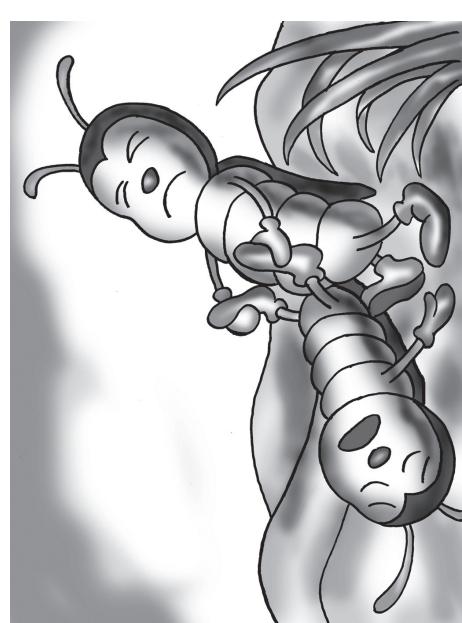
とべないほたるは、かけよつてひつぱりだそつましめた。でもびくともしません。

「そうだ。この小石をとればいいんだ。」

そうじうぶとべないほたるはいかかへんに小石をとりはじめました。

「もうじめだよ。もうじきだすけてあげるよ。」
ボコッ。

ついにとべないほたるは、かくいの小石をほりおえると、かさかさになつたほたるをひつぱりだしました。しかしわはつかはれて気をうしなつてしましました。



出典 小沢昭四の作品による
日本文教出版 小学じつじく『生きる力』2年

■ オレンジ色のおいしい木のみ

出典：学研「みんなのどうとく」2年

ねらい

オレンジ色のおいしい木のみが一つもなっていなかったときに、子じかたちが気づいたことを考えることを通して、約束やきまりを守ろうとする意欲を育てる。



内容項目 4- (1)

資料の分析

場面 1

やわらかいはっぱ
が出はじめる

そっとはっぱを
食べる

少しだけだから
大丈夫

場面 2

次の日

モコちゃんと
はっぱを食べる

食べてもいいのかな
少しだけなら
大丈夫

場面 3

その次の日

ターくんたちとも
はっぱを食べる

おいしそう
みんなで
食べたから

場面 4

秋になる。
木のみがならない

木のみを
食べられない

食べたかった。
きまりを守れば
よかったです

活用の
ポイント

子じかのマーくんを追って読むことで、約束やきまりは行為に制限を加えるものであるが、それには理由があることを気づかせる。



ワンポイント

【動作化について】

動作化は、特に「国語辞典」をまだ引きこなせない低学年において、語句の意味を確認したり豊かにイメージ化したりする場面で多く活用される。

授業の流れ

導入の工夫

四季の山の写真を見せる。



主な発問

- ①マーくんが木の葉っぱを食べるとき、そっと食べたのはどう思ったからですか。

- ②つぎの日、モコちゃんに「食べてもいいのかな。」といわれたとき、マーくんはどう考えましたか。

- ③そのつぎの日、ターキーたちも食べはじめましたが、マーくんはどうしてみんなを止めないのですか。

- ④秋になっても木のみが一つもなっていないとき、マーくんはどんなことを考えましたか。



主な意見

- おとうさんやおかあさんに見つかると、おこられるから。
- 少しだけ食べるから。

- 後ろめたい気持ち。
- 少しだからだいじょうぶ。
- まだたくさんある。
- なかまができた。

- 自分がはじめたから。
- おいしいから。
- しかられるときは一人ではないから。

- はっぱを食べたから。
- みがつかなかった。
- はっぱを食べてはいけなかつた。



ポイント

- 動作化や役割演技を取り入れ、登場人物の気持ちや考えを深くとらえさせたい。

- 「見つからなければいい。」「だれも見ていないし、モコちゃんと一緒だから。」というマーくんの気持ちに共感させる。

- 行動がエスカレートしていることに気づかせる。

- 約束やきまりのできる必然性やその中に含まれている願いについて、子どもなりに感じられるようにしたい。

終末の工夫

日常生活でのきまりの意味を考える。

指導の工夫

板書例

オレンジ色のおいしい木のみ

- 木のみ
- おいしい
- 元気になる

は・を食べてはいけない

つぎの日

モコちゃん
「食べてもいいのかな」

少しだから

おとうさんと
おかあさんと
しかられる
少しだから




そのつぎの日

みんなで食べたら、みんなわるい
やめられない
とめられない
みんなをとめればよかったです

秋—木のみが一つもならない

- はっぱを食べたから
- うごとを聞けばよかったです
- みんなをとめればよかったです

他の教科等との関連

キャリア教育

【やくそく】

学校や家の約束を守ることで、みんなが楽しく、安全に生活できることに気づく。



他教科等との関連

【特別活動】

遠足などで、きまりを意識してしっかり守って行動する。

道徳教育

【オレンジ色のおいしい木のみ】

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。

心のノートとの関連



「みんなで 楽しく 気もちよく」
(1・2年用 72-75頁)

だれにも言えない

出典：東京書籍「どうとく3『明るい心で』」

ねらい

「やっぱりこれじゃあだめだよね」と言って道徳的に変化する主人公の姿を考えることを通して、よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする道徳的態度をはぐくむ。



内容項目 1- (1)

資料の分析

場面 1

理科の教科書がない

教科書をさがす

どうして教科書がないんだろう

場面 2

理科の教科書が見つかる

おいしいのいちばんおくにおしこむ

だれにも言えない

場面 3

なかなかねむれない

すぐに目が覚めてしまう

正直に言うか言わないかと葛藤している

場面 4

ふとんから出る

理科の教科書をランドセルの中に入れる

みんなにあやまろう

活用の
ポイント

- お母さん、友だち、先生と多くの人が教科書さがしにかかわってくれたことを押さえる。
- なかなかねむれず、「やっぱり、これじゃあだめだよね…。」と言って、ランドセルに教科書をいれた時に私が考えことを多様に出し合う。



授業の流れ

導入の工夫

今まで、物を無くしてしまったことはありますか。
※導入は価値の紹介にとどめ、細かい説明はしない。



主な発問

- ①なぜ、私は、「ぜったいにない」と言ってしまったのでしょうか。

- ②教科書が見つかったとき、わたしは、なぜ、素直に喜べなかつたのでしょうか。

- ③理科の教科書をおしいれのおくにおしこんだとき、わたしは何を考えていたのでしょうか。

- ④なかなかねむれないときにどんなことを考えたのでしょうか。



主な意見

- ・家で何度もさがした。
- ・自分のさがし方が足りないよう言われた気がしたから。

- ・みんなに教室をさがしてもらったから。
- ・たかこちゃんにぜったいないと言ったから。
- ・お母さんの言うとおりだったから。
- ・先生にも、「ない」と言って教科書を貸してもらったから。

- ・やっぱりなかったことにしておいたほうがいい。
- ・このままないふりをしよう。
- ・みんなに言うのがはずかしい。
- ・お母さんに怒られる。

- ・素直にあやまろう。お礼も言おう。
- ・うそはやっぱりいけない。
- ・友だちやおかあさんゆるしてくれるかなあ。
- ・もっと、ちゃんとさがしておけばよかった。
- ・もっと整理整頓しよう。
- ・うそをついたままだと気になつて仕方ない。



ポイント

- ・お母さん、友だち、先生と多くの人が教科書さがしにかかわってくれたことを押さえる

- ・なかなかねむれないこと押さえる

終末の工夫

今日わかったことを書いてみましょう。

指導の工夫

板書例



- ・やつぱりなかつたことにしておいたほう
- ・すなおにあやまろう。お礼も言おう
- ・うそはやつぱりいけない
- ・友だちやおかあさんゆるしてくれるかなあ
- ・もっと、ちゃんとさがしておけばよかつた
- ・もっと整理整とんしよう

「やつぱりひれじやあだめだよね。」

- ・やつぱりなかつたことにしておいたほう
- ・すなおにあやまろう。お礼も言おう
- ・うそはやつぱりいけない
- ・みんなに言うのがはずかしい
- ・お母さんにおこられる

理科の教科書をおしいれにおしこんだとき考えたことは？

「わたし」は、なぜ、すなおに喜べなかつたのでしよう？

- ・みんなに教室をさがしてもらつたから
- ・たかじちやんにぜつたといふと書つたから
- ・お母さんの言うとおりだつたから
- ・先生にも、「ない」と書つて教科書を貸してもらつたから

だれにも言えない

なぜ、わたしは、「ぜつたいにない」と書つてしまつたのでしよう？



- ・家で何度もさがした
- ・自分のさがし方が足りないよう
- ・うに言われた気がしたから



他の教科等との関連

キャリア教育

【いやだなって思うこと②】

教室の絵を見て、「いやだな」と思ふところや、「笑っている人」のことを考えることを通して、みんなが楽しく安心して生活できるクラスにするためにはどうすればいいのかを理解する。



他教科等との関連

【特別活動】

集会や遠足・運動会などの行事に向けて取り組む。

道徳教育

【だれにも言えない】

自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。



心のノートとの関連

「『今よりよくなりたい』という心をもとう」

(3・4年用 16-19頁)

かあ お母さんの朝市

出典：教育出版『心つないで③』

ねらい

お母さんの朝市を手伝う中で道徳的に変化する主人公の気持ちを考えることを通して、働くことの大切さを知り、みんなと自分のために進んで働くとする道徳的実践意欲を育てる。



内容項目 4- (2)

資料の分析

場面 1

母が朝市へ出店している

畠仕事に一層熱が入る両親

二人とも疲れているのに…

場面 2

お客様と会話している

母の元気な声や笑顔

うれしそう、楽しそう

場面 3

客の注文に応えようとする母

新たに大根の漬け物を作る母

そこまでしなくてもいいのに…

場面 4

母とともに店を続ける

私も大きな声で「いらっしゃい」

野菜の売れる理由や朝市の意味がわかる

活用の
ポイント

- ・私も店を手伝い続けてわかった、働く喜びを押さえる。
- ・お母さんにとっての朝市の意味を多様に出し合う。



授業の流れ

導入の工夫

朝市って知っていますか？
今日は、そんなところを手伝った人の話です。



主な発問



主な意見



ポイント

① 朝市をやるようになって、私が、ふしぎだなと、思うことはなんでしょう。

- ・なぜ、畑仕事に一層熱がはいるのかなあ。
- ・仕事でつかれているのに、なぜがんばるのかなあ。

② 私は、家の野菜が、なぜ売れるかわかったのでしょうか。

- ・元気に「いらっしゃい」と言っているから。
- ・一生けん命つくった野菜だから。
- ・お客さんのほしい物を考えているから。
- ・お母さんが楽しそうだから。

③ なぜ、私は、「いらっしゃい」が大きな声で言えるようになったのでしょうか。

- ・お客さんがほめてくれる。
- ・野菜がよく売れる。
- ・母を見習いたい。

④ 私がわかった、朝市の意味とはなんでしょう。
(母にとってどんな場所でしょう。)

- ・母ががんばりたいと思っている場所（生きがいの場所）。
- ・色々な人とふれあえる場所。
- ・一生けん命作った野菜でみんなが喜んでくれる。
- ・私も手伝ってうれしい。

・家は農家。父は電気店、母は家事をしながら畑仕事もしていることを押さえる。

・母が笑顔になるとき、うれしそうなときを押さえておく。

・客に野菜をほめられたとき

・まわりの店の人と話しているとき等

・私も店を手伝い続けてわかった、はたらく喜びを考えさせたい。

終末の工夫

今日、わかったことを書いてみよう。
また、学校や家で進んで働いたことがあれば、そのときの気持ちを書いてみよう。

指導の工夫

板書例

お母さんの朝市

わたしの家・農家

父・電気店 母も、はたけしごと

朝市をはじめる

ふしぎだなと思つことは?

なぜ、はたけしごとについ
そう、ねつがはいるのかな
あつかれているのに、なぜ、
がんばるのかなあ

なぜ「そこまでしなくてもいいのに」と言つたのでしよう?

つかれてるのになあ
野さい売るだけでいいのに
お客様の注文に、全部こたえたら、大変
だろうに

わたしは、家の野さいが、なぜ売れる
とわかつたのでしようか?

元気に「いらっしゃい」と言つてゐるから
一生けん命つくつた野さいだから
お客様のほしい物を考えているから
お母さんが楽しそうだから

わたしがわかつた、朝市の意味とは
なんでしよう?

母ががんばりたいと思つて
いる場所(生きがいの場所)
色々な人とふれあえる場所
一生けん命作った野さいで
みんながよろこんでくれる



他の教科等との関連

キャリア教育

【おうちのしごと】

家の中の仕事について考えることを通して、家族の生活を支える仕事があることに気づくとともに、家族の一員として、役割を分担しようとする態度をはぐくむ。



他教科等との関連

【日常の清掃活動】

自分から進んで清掃に取り組む。

道徳教育

【お母さんの朝市】

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。



心のノートとの関連

「みんなのために流すあせは
とても美しい」
(3・4年用 76-79頁)



お母さんの朝市

わたしの家はのう家です。母は毎日、はだけに行きますが、電気店ではだらいでいる父は、朝早くか休みの日に、はだけじいじへ行きます。

さい近、わたしの家では、町の朝市に店を出すようになりました。

前の日、はだけでとれた野さいをはこに入れ、朝の七時までに、会場に運びます。そして、野さいをきれいにならべ、おきやくさんをまちます。わたしも学校が休みの日には、朝市に行って、店の手つだいをします。

父も母も、朝市をやるもうになつてから、はだけじいじにもひつそうねつが入りました。わたしは、一人ともじいじでつかれていますに、ふしきだなあ、と思つていました。

朝市の手つだいに行くと

「いらっしゃい、いらっしゃい。」

母の元気な声がひびきます。

「このせつめいも、こうつやしてあるわね。」

おきやくさんは声をかけられると、母の手がねがこばれます。

「おしゃいですよ。うちのはだんせいかめて作つてますからね。」

と、心からうれしくてたまらないことをつまつに話すのです。

朝市が終わると、母は、まわりの店の人と、売れのこつたものを交かんしたりして、楽しそうにおしゃべりをしています。

ある日、母は、大こんのつけものを作っていました。



「そんなにたくさん作つてどうするの？」

わたしがきへい

「うちで食べるんじゃないの。この前、なすのつけものを買つてくれたおきやくさんが、おしゃいから、今どは大こんのつけものを作つてきておもひだい、と言つたよ。」

「そこまでしなくていいのに。」

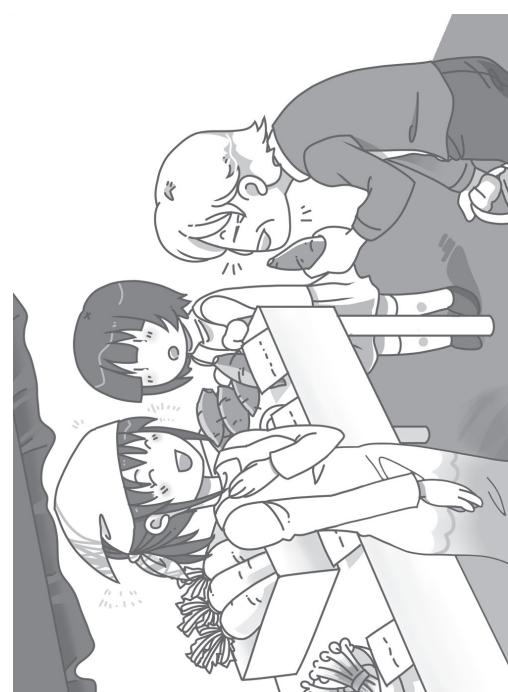
と、わたしが言つと

「おきやくさんが楽しみにしているから。」

と言しながら、母は手をうごかしています。

朝市への出店は、それからもつづきました。わたしも、いつのまにか、「いらっしゃい。」と大きな声で言えるようになりました。そして、家の野さいが売れるのがわかるようになりました。

母を見ていて、わたしは、朝市のいみが少しかかるようになつたのです。



あめだま

出典：東京書籍「どうとく3『明るい心で』」

ねらい

私をすがすがしい気分にさせた、姉の行為と思いについて考えることを通して、マナーを守ろうとする道徳的実践意欲をはぐくむ。



内容項目 4- (1)

資料の分析

場面 1

私が駅のホームを歩いている

くつのそこにガムがべったり

ひどい人がいる不愉快な気分

場面 2

電車にのると、女の子と、その妹に会う

姉におかしをねだる妹

騒がしくなるだろう。不安な気持ち

場面 3

あめをひろう姉の様子を見ている

姉、あめをひろう妹は待っている

姉は一生懸命

場面 4

女の子が行ってしまった後

すてきな心のおりもの

すがすがしい気分

活用の
ポイント

- ・ 私をすがすがしい気分にさせた行為を確認する。
- ・ 私が、もらったような気がした、すてきな心の贈り物とは、姉のどんな心なのか多様に出し合う。



授業の流れ

導入の工夫

道を歩いていて、チューインガムをふんだことがありますか？
今日の話は、そんなことからはじまります。



主な発問

① 私が、ガムをふんだとき、どんな気持ちだったでしょう。

② 私は、姉のどんなところを見て、すがすがしい気分になったのでしょうか。

③ 私が、もらったような気がした、すてきな心の贈り物とは、姉のどんな心でしょう。

④ 道に捨てられたガムと、紙くずかごに捨てられたあめだまの違いはなんでしょう。



主な意見

- ・ひどいことをする人がいる。
- ・やれやれ。
- ・うっとおしい。

- ・ふたりがきちんと座っている。
- ・姉がお姉さんらしく注意した。
- ・あめをこぼした妹をしからない。
- ・姉が一生けん命、あめを拾っている。妹は、終わるまで食べない。姉を心配している。
- ・仲良く電車をおりた。
- ・紙くずかごにそっと捨てた。

- ・電車をきれいにしよう。
- ・人に迷惑をかけないようにしようとする心。
- ・妹をいたわる気持ち（叱らない、失敗をカバー）。

- ・人に迷惑をかけないようにしようとする心のあるなし。
- ・食べ物に対する感謝の気持ちのあるなし。
- ・マナーを守ろうとする気持ちのあるなし。



ポイント

- ・私の腹立たしさを確認する。

- ・私をすがすがしい気分にさせた行為を確認する。

- ・姉の行動を支える気持ちを考える。

- ・この発問は、なくてもよい。

終末の工夫

今日わかったことを書いてみましょう。

指導の工夫

板書例

あめだま

わたしは、ガムをふんだとき、どんな気持ちだったでしょう？

- ・ひどいことする人がいる
- ・やれやれ・うつとおしい

わたしは、姉のどんなところを見て、すがすがしい気分になつたのでしょう？

- ・ふたりがきちんとすわっている
- ・姉が、お姉さんらしく注意した
- ・あめをこぼした妹をしからない

- ・姉が一生けん命、あめを拾っている。妹は、終わるまで食べない。姉を心配している

- ・なかよく電車をおりた
- ・紙くずかごにそっと捨てた

わたしが、もじつたような気がした、すてきな心のおくり物とは、姉のどんな心でしようか？

- ・電車をきれいにしよう
- ・人にめいわくをかけないようにしようとす
- ・妹をいたわる気持ち（しからない、失敗をカバー）



他の教科等との関連

キャリア教育

【自転車の安全マップづくり】

子どもたちが、校区内の危険箇所を見つけながら、自転車の安全について自ら考え、交通ルールとマナーの大切さについて学ぶ。



他教科等との関連

【社会】

町の施設に入るときあいさつをし、バスや電車の中で行儀よくする。

道徳教育

【あめだま】

約束や社会のきまりを守り、公徳心を持つ。

心のノートとの関連



「やくそくやきまりを守るから
仲よく生活できる」
(3・4年用 72-75頁)

よわむし太郎

出典： 文溪堂『4年生のどうとく』

ねらい

よわむし太郎の行動について考えることを通して、自分のよさに気づき、自分らしさを發揮しようとする道徳的実践意欲をはぐくむ。

内容項目 1- (5)
関連項目 1- (3)



資料の分析

場面 1

子どもたちが
ばかにする

にこにこ
笑っている

子どもたちのことが
大好き

場面 2

との様が白い鳥を
弓でいようとする

大きな手を
いっぱい広げ、
との様の前に立つ

絶対に白い鳥を
守る

場面 3

との様は弓を下に
向け、馬を返して
城に向かって帰る

目から大きな
涙をこぼして
との様に頼みこむ

子どもたちの
悲しむ姿を
見たくない

場面 4

太郎のことを
「よわむし太郎」と
よばなくなる

太郎のことを
みんなが認める

子どもたちのことが
大好き

活用の
ポイント

- ・ 権力者であるとの様に逆らうことは、自分の命も危ういことを押さえる。
- ・ との様の立場（領民の反感をかわない）を守ったことも気づかせたい。
- ・ 太郎が、なぜ、「よわむし」と呼ばれなくなったのかを多様に出し合う。
- ・ 子ども・との様を追う発問構成も考えられる。
- ・ 内容項目 1- (3) で考えることも可能。



授業の流れ

導入の工夫

「よわむし」ってどういう人をイメージしますか。



主な発問

- ① 目から大きな涙を流してとの様に頼んだとき、どんな気持ちだったのでしょうか。
・涙の意味を考えさせる。



主な意見

- ・子どもたちが大切にしている白い鳥を守りたい。
- ・子どもたちが悲しむ姿を見たくない。
- ・正しいと思ってしたことだから、やはり、ここでやめるわけにはいかない。
- ・怖いけど、との様はまちがっている。
- ・命にかえても鳥を守る。

- ② 太郎が、との様をしろに帰らせたことで、守った（助けた）ものは何でしょう。

- ・鳥の命。
- ・子どもたちの鳥への思い。
- ・自分の鳥や子どもへの思い。
- ・との様が、子どもたちに嫌われない。

- ③ 太郎は、なぜ、「よわむし」と呼ばれなくなつたのでしょうか。（何がそうさせたのか？）

- ・との様をしろに帰したこと。
- ・一人でも立ち向かった勇気。
- ・子どもへのやさしさ。
- ・子どもが大好きだという一貫した行動。

- ④ 自分の特徴を活かして、何かやりぬいたことがありますか。その時の気持ちは、どうでしたか。

- ・行為とその時の気持ち。



ポイント

- ・役割演技を入れることも可能
- ・太郎の勇気ある行動の根底にある優しさに気づかせ、真の勇気ある行動のすばらしさに共感させる。
- ・との様は権力者であり、そのとの様に逆らうことは、自分の命も危ういことを十分理解させる。
- ・との様の立場（領民の反感を買わない）を守つたことも気づかせたい。
- ・太郎の一貫した行動が子どもたちの心を動かしたこと気にづかせる。
- ・この発問はなくてもよいが、発問する場合、行為だけでなく、その時の気持ちも聞く。

終末の工夫

心のノートp 29 「12色 豊島 加純」を紹介する。

指導の工夫

板書例

よわむし太郎

- ・背が高く、力持ち
- ・子どもたちが好き
- ・ばかにされても、いじわる
- されても、にこにこしている
- ・子どもたちが大切にしている白い鳥を太郎も大切にしている



との様の前に飛び出した太郎は、どんなことを考えていたでしょう

- ・子どもたちが大切にしている白い鳥を守りたい
- ・子どもたちが悲しむすがたを見たくない
- ・正しいと思つてしたことだから、やはり、ここでやめるわけにはいかない
- ・こわいけど、との様はまちがつている
- ・命にかえても鳥を守る

太郎の何が、との様をしろに帰らせたのでしょうか？



太郎の何が、「よわむし太郎」と呼ばなくなってしまったのでしょうか。

- ・太郎のなみだ
- ・太郎の子どもを思つ気持ち
- ・太郎の強い意し
- ・鳥を思う気持ち
- ・太郎のやさしさ
- ・命にかえても鳥を守る
- ・太郎の何が、「よわむし太郎」と呼ばなくなってしまったのでしょうか。
- ・一人でも立ち向かったらゆう気
- ・子どもへのやさしさ
- ・はじめから終わりまで子どもが大好きだ
- ・との様をしろに帰したこと

他の教科等との関連

キャリア教育

【わくわく自分ツアー】

自分自身のよいところや成長したところを考え、自分についての理解を深めるとともに、4年生に向けての目標を立てる。



他教科等との関連

【特別活動】

各自の課題を話し合いを通して解決し、一人ひとりのよさ、かけがえのなさに気づく。

道徳教育

【よわむし太郎】

自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。

心のノートとの関連



「自分のよいところはどこだろう？」
(3・4年用 28-31頁)

目ざまし時計

出典：光村図書どうとく4年「きみがいちばんひかるとき」

ねらい

母の悲しそうな様子を思い浮かべながら道徳的に変化するわたしの気持ちを通して、自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしようとする道徳的態度をはぐくむ。



内容項目 1- (1)

資料の分析

場面 1

お祝いに時計を
買ってもらう

「わたしのきまり」
をつくる

自分で決めたから、
絶対守る

場面 2

しばらくすると
時間を守れない

勉強時間、
就寝時間を
守らない

守ろうと思えば、
いつでもできる

場面 3

起きることが
できず、
母に起こされる

あわてて学校に
行く支度をする

ぶんぶんしながら
学校に行く

場面 4

朝会で気分が
悪くなる

保健室のベッドに
横になる

悲しそうな母の顔が
思い浮かぶ

活用の
ポイント

- ・母が悲しそうな様子に思えた理由を押さえる。
- ・決めたことを、だんだん守れなくなることは、よくあることだが、改めて、最初に決めた時の思いや守っていた時の喜びを確認させる。



授業の流れ

導入の工夫

目ざまし時計を使っていますか？
いつ買ってもらいましたか？



主な発問

①なぜ、私は勉強の時間や寝る時間を守れなくなってしまったのでしょうか？

②私は、何にぶんぶんしながら学校にいったのでしょうか？

③私は、なぜ、母が悲しそうな様子に思えたのでしょうか？

④私は、なぜ、「わたしのきまり」をつくったのでしょうか。また、それが守っていた時どんな気持ちだったのでしょうか？



主な意見

- ・友だちと遊ぶ約束をした。
- ・テレビを遅くまで見たい。
- ・守ろうと思えばいつでもできる。

- ・お母さん（もっとはやく起きてほしかった。）
- ・目覚まし時計（うっとおしい。）
- ・自分（なぜちゃんと起きれない。）
- ・あわててしくしたこと。
- ・朝ご飯を食べられなかったこと。

- ・自分で決めたきまり（時間）を守ろうとしないから。
- ・目ざまし時計がむだになっているから。
- ・返事もしないで学校に行つたから。

- ・自分のことは、自分でしたかった。
- ・目ざまし時計を役立てたかった。
- ・ほめられて、うれしかった。
- ・大人になったような気分。
- ・ぜっ対守りたかった。



ポイント

・私の腹立たしさの内容を確認する。

・私の考える、母が悲しむ理由を確認する。

・「わたしのきまり」をつくった時の気持ちを振り返る。

終末の工夫

・今日わかったことを書いてみましょう。

指導の工夫

板書例

目ざまし時計

なぜ、勉強の時間やねる時間を守れなくなりたのでしよう?

- ・友だちと遊び約束をした
- ・テレビをおそくまで見たい
- ・守ろうと思えばいつでもできる

わたしは、何に、ぶんぶんしながら学校に行つたのでしょうか?

- ・お母さん（もつとはやく起こしてほしかった。）
- ・目ざまし時計（うつとおしい。）
- ・自分（何故ちゃんと起きれない。）
- ・あわててしたくしたこと
- ・朝ごはんを食べられなかつたこと
- ・わたしは、なぜ、母が悲しそうな様子に思えたのでしょうか？



他の教科等との関連

キャリア教育

【しかられなくてはならないこと】
「しかる・しからない」について、保護者にアンケートを実施し、その結果を使って、自分の善悪の判断をし、行動することの大切さを考える。



他教科等との関連

【特別活動】
集会や遠足・運動会などの行事に向けて取り組む。

道徳教育

【目ざまし時計】

自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。

心のノートとの関連



「自分でできることは自分で」
(3・4年用 12-15頁)



神戸のふっこは、ぼくらの手で

出典：学研「みんなのどうとく」4年

ねらい

避難生活の中で道徳的に変化する主人公について考えることを通して、みんなのために進んで働くとする道徳的実践意欲をはぐくむ。



内容項目 4- (2)

資料の分析

場面 1

便器に大便が
山もりになっている

おとなの人たちが次々と
便所そうじを手伝う

なぜこんなことまで
できるんだろう

場面 2

小さい子が
牛にゅうびんを
温めて配っている

働く女の子を見続けた

申し訳なく感じる

場面 3

小さな子どもの
泣きさけぶ声が
聞こえた

小さい子のために
本を必死にさがす

そうだ。これだ

場面 4

体育館にひなんしている子どもたち
と話し合う

子どもたちや、
お年寄りの世話を

みんないきいき
してきた

活用の
ポイント

- 手伝いだした大人の姿を見て、「ぼく」の心にも変化が表れたことを押さえる。
- 小さい子どもがにこにこ顔になってきたとき、ぼくの思いを多様に出し合う。
- みんなが、なぜ、いきいきしてきたのかを考えることを通して進んではたらくことの喜びを押さえる。



授業の流れ

導入の工夫

大震災後の体育館や教室の様子を写真で見せる。



主な発問

- ① 先生の姿や、次々と手伝いだす大人を見て、「ぼく」は、どう思ったでしょう。

- ② ぼくは、働く女の子を見続けている時、何を考えていたでしょう。

- ③ 小さい子どもが、にこにこ顔になってきたとき、ぼくは、どんなことを考えていたでしょう。

- ④ なぜみんな、いきいきしてきたのでしょうか。



主な意見

- ・先生や大人はたよりになる。
- ・なぜこんなことまでできるんだろう。
- ※「こんなこと」を必要に応じ確認する。

- ・はずかしい、申しわけない。
- ・自分も何かしないといけない。
- ・ぼくは自分のことしか考えていないかった。
- ・みんながそれぞれに力をあわせないといけない。
- ・人に喜んでもらえることをしたい。

- ・ぼくにもこんなことができるんだ。
- ・なんだか元気がでてきた。
- ・こんなに喜んでくれてうれしいな。
- ・子どもも自分たちができることをやればいいんだ。
- ・みんなにも声をかけよう。

- ・みんなの役に立っているから。
- ・みんなが元気になってきたから。
- ・自分たちのやれることを考えやっているから。



ポイント

- ・先生の姿やその姿を見て次々と手伝いだした大人の姿を見て、「ぼく」の心にも変化が表れたことを押さえる。
- ・少女の姿が深く心に刻まれていく「ぼく」の心の動きを丁寧に押さえられるように、一枚絵や少女の働いている様子の動作化などで少女の姿がイメージ化できるように工夫する。
- ・みんなのために働くことが、自分の喜びであり、みんなの力になることが押さえられるようにする。

終末の工夫

今日の授業の感想を書きましょう。

指導の工夫

板書例

神戸のふっこは、ぼくらの手で



イキイキ

子どもたち

- ・きみたちがいるかぎり
神戸はりっぱに立ち直る
- ・みんなが元気に立つていてるから
- ・みんなの役に立つていてるから

ぼく

- ・子どもの自分たちができることをやればいいんだ
- ・自分にもできることがあるんだ

女の子

- ・子どもの自分たちができることをやればいいんだ
- ・自分も何かをしないといけない
- ・みんなができないことをしないといけない

自分ことは自分でする

- ・はずかしい
- ・自分も何かをしないといけない
- ・みんなができないことをしないといけない

先生や大人

- ・先生や大人はたよりになる
- ・なんでこんなことまでできるんだろう

他の教科等との関連

キャリア教育

【学校ではたらいている人たち】
学校ではたらいている人へのインタビューを通して、学校の中では、いろいろな人が仕事を分担していることに気づく。



他教科等との関連

【係活動】
日直や係活動を一生懸命している。

道徳教育

【神戸のふっこは、ぼくらの手で】
働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。

心のノートとの関連



「みんなのために流すあせはとても美しい」
(3・4年用 76-79頁)

ふりだした雨

出典： 文部省資料 加藤てる緒 作

ねらい

にわとり小屋の掃除をするため学校にもどった主人公の気持ちを考えることを通して、正しいと判断したことを行い、約束やきまりを守ろうとする道徳的実践意欲をはぐくむ。



内容項目 4- (1)
関連項目 1- (3)

資料の分析

場面 1

そうじ当番のとき

そうじ当番をする

早く帰りたい

場面 2

そうじ当番が
終わり、
うちへ帰る

にわとり小屋の
仕事をわすれた
ことに気づく

学校に
ひきかえすか
まよう

場面 3

学校へひきかえす

えさやり、
水かえをする

責任を
はたすことが
できた

場面 4

雨の中、
うちへ帰る

くつひもをきつく
むすび直す

気持ちがよい

活用の
ポイント

- ・自分ひとりであっても、きまりを果たそうとする主人公の気持ちを考える。
- ・せいちゃんが、何に対して責任を果たしたかを多様に出し合う。



授業の流れ

導入の工夫

資料の題名を紹介する。



主な発問

- ① そうじ当番の子どもたちは、どんなことを考えていましたでしょう。

- ② けんちゃん、まさちゃんが帰ってしまったのに、せいちゃんは、どうして学校に向かってかけ出したのでしょうか。

- ③ そうじを終えて、にわとり小屋を見回しながら、なぜ、せいちゃんの心の中もさっぱりしてきたのでしょうか。

- ④ この日、せいちゃんは、何に対してせきにんをはたしかったのでしょうか。



主な意見

- 早くそうじを終わってかえりたいよう。
- お願ひだから、雨がふらないでください。
- いやなときに当番が当たったなあ。

- やっぱりにわとりのことが心配だ。
- 当番のせきにんをきちんと果たさなくてはいけない。
- さぼるとおこられるかもしれない。
- 友だちなのに一しょにきてくれなかつたなあ。

- 当番の仕事(約束)をせきにんをもってやりきったから。
- 自分ひとりであっても、やりきったから。
- にわとり小屋がきれいになつたから。
- 帰ってきてやっぱりよかったです。
- きれいな小屋をみると気持ちいいから。

- 当番のせきにんを果たした。
- 先生に対してのせきにんを果たした。
- 自分たちが世話をしなければ生きていけない生き物へのせきにんを果たした。
- 自分に対してのせきにん。



ポイント

- 子どもたちが不安の中で一生懸命掃除に取り組んでいることを押さえる。

- せいちゃんが当番を辞めず学校へ向かったことについての考えを深める。

- せいちゃんが掃除を終えたときの思いを押さえる。

- せいちゃんが、何に対して責任を果たしたかを多様に出し合う。
※責任という言葉が出てこない時は、指導者から示すことも考えられる。

終末の工夫

今日わかったことを書きましょう。

指導の工夫

板書例

ふりだした雨

そうじ当番の子どもたちは、どんなことを考えていましたでしょう

- ・早くそうじを終わってかえりたいよう
- ・お願ひだから、雨がふらないでください
- ・いやなときに当番が当たったな

せいちゃんは、どうして学校に向かってかけ出したのでしょう

- ・やつぱりにわとりのことが心配だ
- ・当番のせきにんをきちんと果たさなくてはいけない
- ・さぼるとおこられるかもしれない
- ・友たちなのに一緒にきてくれなかつたなあ



- ・自分に対して
- ・当番のせきにんを果たした
- ・先生に対してのせきにんを果たした
- ・自分たちが世話をしなければ生きていけない生き物へのせきにんを果たした
- ・この日、せいちゃんは、何に対してせきにんを果たしたかったのでしょうか？

他の教科等との関連

キャリア教育

【“ねがい”と“やくそく”】

アメリカの小学校の規則を使って、みんなの権利を守るために、一人ひとりが約束（責任）を果たさなければならないことに気づく。



他教科等との関連

【特別活動】

当番活動を、きまりを守ってやり抜く。

道徳教育

【ふりだした雨】

約束や社会を守り、公徳心を持つ。
正しいと判断したことは、勇気をもって行う。

心のノートとの関連



「やくそくやきまりを守るから
仲よく生活できる」
(3・4年用 72-75頁)



ふりだした雨

運動場で遊んでいると、なまあたたかい風が、ふいてきました。

なわどびのなわが、とばされます。投げたボールがやさしくはされて、ころころ、ころがります。

「いやな風だなあ。」「いじわるな風だねえ。」

みんなは、空をにらみました。雲がどんどん走っていきます。

やがて、みんなは、教室に入りましたが、風はだんだんはげしくなつて、くつばこのやたをばたんばたんさせたり、ガラスまごなかたじゅすがつて、勉強のじやまをしました。

終わりのベルが鳴るとみんな大急ぎで表へ出ました。早くうちへ帰りたいのです。いつのまにか青空はすつかりかくれてしまつて、しめつたわたのような雲が、頭の上にかがやっています。雨は今にもふりだしそうです。

せいやんは、そうじ当番でした。だれもかれも早く帰りたいので、そうじもぐんぐんはかどります。

「どうか雲さん、雨をやさないでください。お願ひします。おたのみします。」

ひょうきんなけんちやんは、こんなことを言ひながらたきをかけています。

「やりませんもうに、やりませんもうに。」と、そつきんがけのまたちやんも言つています。

当番が終わつたころ、空はさつきよりも暗くなつてまるで夕方のように思われました。

当番のがまは、門のところで西と東にわかれました。

せいやんは、けんちやん、またちやんといつしょにうちへ帰りました。三人とも大またに歩ひていまつたがどううかけ出してしまひました。少し行つたじやん

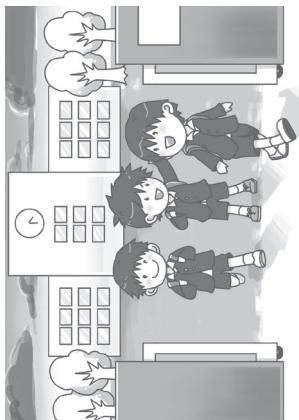
「あつ、しまつた！」と、だしぬけにこう言つて、せいやんが立ち止まりました。

「どうしたんだい。」「落とした物かい。」

けんちやんとまたちやんが聞きました。「忘れ物だよ。」

と、せいやんが答えました。「何を忘れたの。」「あしだらりじゃないか。べぐべぐしていいるじやんつけてくるぞ。」

ねじかすように、またちやんが言いました。



た。

「にわとり小屋を調べるのを忘れたじやないか。」

と、せいやんは二人の顔をじっと見ました。当番のものは、帰りがけににわとりにえさをやり、水を取りかえて、それから戸にしつかりとかぎをかけてから帰ることに決まつていたのです。きょうはあまりあわて帰つてきたのでうかりしてしまいました。

「ああ、そつか。」

けんちやんはこう言つてしまひました。今から学校までもじる元気はありません。くだけていてますじ、それにこの空ももうではすぐに雨になりそうです。

「そんなこと、平気だよ。せいやん、用務員のおじさんがちゃんとやつてくれるよ。さ、帰ろう。帰ろう。」

と、またちやんは歩き出しました。

これを聞くと、けんちやんは安心したような顔になりました。

「だめだよ。なまけや。ほくだらのきょうの仕事じやないか。」

と、せいやんは、ふたりを元気づけるように、大きな声で言いました。一人は、ちよつとねどろいて、せいやんの顔を見ました。にらんでらるような目でした。

「わあ、こわい、こわい。」

と、けんちやんはげ出すかつこうをしてふざけてしまつたが、そのうちにだんだん本気になつて、かけだして行つてしましました。それを笑つて見ていたまちやんが

「ほくも、帰ろうじ。」

と言つてかけだしました。

すると、せいやんもかけ出しました。けれども、一人とは反対に学校の方へもどるのでした。

しづらしく行くと、息が苦しくなりました。ひざが重くなりましました。それでもがまんしてかけました。

学校の門が見え静かで、いつもよしたり広々としていました。

せいやんは、うらににわとり小屋に急きました。が、あみをはつた戸が、ばたんばたん

と風におおられていました。小屋をのぞいて、にわとりを数えてみました。にわとりは目を丸くして止まり木のかたはに寄り合っていました。

せいやんは道具を持つてくると手早くそじを始めました。にわとりは、くくくくくくくくくくと鳴きながらせいやんを見ています。えさをやつて水を取りかえました。にわとり小屋の中はさっぱりとしました。ほつとして見回しているじやんは、せいやんの心の中も何もなく、明るくさっぱりとしてきました。戸をしめて、かきをびちんとかけました。

にわとり小屋を出たせいやんのひたいに、冷たいつぶがぽつんと落ちました。雨です。雨がとうとうやり出しました。ぽつんぽつんぱらんぱらんぱらん

雨はにわとり小屋のトタン屋根をたたいてぽつんぱらんぱらんぱらん

せいやんは、くつのひもをきゅうとき

つくしめなおしました。くだけただけで、

本気でかけだして帰らなければひしょぬれになつてしまひます。

がらがらがらつとおどりが開きました。

せいやんがそちらを見ると、たんにんの山下先生が教室のまどからのぞきました。

「せいやん、きみ一人かね？」

と、お聞きになりました。せいやんはつ

こりして大きくなすきましたが、

「先生つ、たがうならつ。」

と言つと、雨の中へかけだしてしまひました。冷たい雨が耳の中にまで飛び込んできます。

「あ、せらわやん、おわがたら、おわがたい。」

こう言つてよび止める先生の声にせいやんはふり返りました。

「何ですか、先生。」

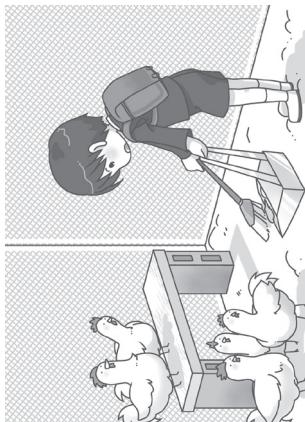
と、聞きますと、

「これに入れてつてあげもう。」

と言ひながら、先生は黒いこうもりがさを高くあげて、三べんふつて見せました。そして、

「げだほこのところで、待つてなさいよ。先生はすぐに行きますから。」

と、おつしゃいました。せいやんは、はあいと答えるかわりに、両手をぱんざいのようなくわくあげてやりました。



花をさかせた水がめの話

出典：学研「みんなのどうとく」4年

ねらい

花の道を見て、道徳的に変化するひびわれた水がめを通して、自分の特徴に気づき、よい所をのばそうとする道徳的態度を育てる。



内容項目 1- (5)

資料の分析

場面 1

水くみをしている男

ひびわれた
水がめは
水が半分に

穴をふさいで
ほしい

場面 2

男に謝る
ひびわれた水がめ

水くみに謝る

迷惑ばかりかけて
申し訳ない

場面 3

こわしてくれと
訴える水がめ

こわしてくれと
訴える

申し訳ない、
いたたまれない

場面 4

花の道が
できている

花の道を
見つめる
水がめ

なんてきれい
なんだ

活用の
ポイント

- 自分をこわしてくれとまで訴えた水がめのせっぱ詰まった気持ちを押さえる。
- きらきらとかがやく花の道を見わたしながら、水がめが考えたことを多様に出し合う。



授業の流れ

導入の工夫

自分のよさを考えたことがありますか？
今日は、インドの水くみのお話です。(導入は簡単に)
インドでは、水くみが職業になっていることにふれる。



主な発問

①なぜ、左側の水がめは、水が半分になるのでしょうか。

②ひびわれた水がめは、運ばれている途中どう考えていたでしょう。

③なぜ、ひびわれた水がめはこわしてくださいと何度も訴えたのでしょうか。

④きらきらとかがやく花の道を見わたしながら、ひびわれた水がめは、何を考えていたでしょう。



主な意見

- ・ひびが入っている。
- ・ひびから、水がぽたぽた落ちる。

- ・うわ、やばい、こぼれている。
- ・この穴ふさいでくれないかな。
- ・水くみさんごめん。

- ・これ以上、水くみにめいわくをかけたくない。
- ・水がめとして役立っていない。
- ・右側の水がめが得意気だから。
- ・役に立ちたいのに役に立てないから。

- ・なんてきれいなんだ。この花を咲かすのに自分が役立ったのか。
- ・自分にもいいところがあった。
- ・こわしてくれとうったえた自分はバカだった。
- ・水くみさんありがとう。
(はやく理由を言ってほしかった。)
- ・ひびわれが役立ってうれしい。
- ・道を見てたら、もっとはやく花に気づけたのに。

- ・欠点だと思っていたことがそうではなかった。
- ・自分はだめなことばかりではない。



ポイント

- ・水くみとその仕事の内容を確認する。
また、ひびから、ぽたぽたと水が落ちることを確認する。

- ・右側の水がめが得意気であったことも確認する。
ひびわれた水がめのせっぱつまつた気持ちを確認する。

- ・水くみがひびわれをそのままにしていた理由を確認する。

- ・水くみが、なぜ、最後まで理由を言わなかつたかは深入りしない。
- ・気づくまで待ってた？
- ・びっくりさせたかった？
水がめは、水くみに抗議していない。
- ・ただ、水がめも、道を見ていたら、花に気づけたことも指摘しておく。

補助発問
ひびわれを役立てて花を咲かせたことで、水がめが気づいたことは何でしょう。

終末の工夫

今日わかったことを書いてみましょう。
また、この話のように自分の特徴を役立てたことがありますか？
その時、どんな気持ちでしたか？

指導の工夫

板書例

花をさかせた水がめの話

・水くみ・
川から遠い離れたおかの
上の家まで、水を運ぶ
・ひびわれたみずがめ・
水が半分に
水がぽたぽた落ちる

ひびわれた水がめは、運ばれている
途中どう考えていたでしょう？

・うわ、やばい、こぼれている
この穴ふさいでくれないかな
・水くみさんごめん

なぜ、ひびわれた水がめはこわして
しそうか？
・これ以上、水くみにめいわくをかけたく
ない

・水がめとして役立つてない
・右側の水がめが得意気だから
役に立ちたいのに役に立てないから

きらきらとかがやく花の道を見わた
しながら、ひびわれた水がめは、何
を考えていたでしょう？



・なんてきれいなんだ。こ
の花を咲かすのに自分が
役立ったのか
・自分にもいいところが
あつた
・こわしてくれとうつたえ
た自分はバカだった
・水くみさんありがとう
けたのに
・ひびわれが役立つてうれしい
・道を見てたら、もっとはやく花に気づ

他の教科等との関連

キャリア教育

【1／2 成人式をしよう】

今までの自分の生活を振り返るとともに、大人になるとはどういうことなのかを考えることを通して、これから目標を立てる。



他教科等との関連

【特別活動】

各自の課題について話し合うことを通じて、一人ひとりのよさ、かけがえのなさに気づく。

道徳教育

【花をさかせた水がめの話】

自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす。

心のノートとの関連



「自分のよいところはどこだろう？」
(3・4年用 28-33頁)

車いすの少女

出典：日本文教出版 小学どうとく「生きる力」5年

ねらい

親切にするとは、相手の立場に立ったものでなければならぬと気づいた主人公について考えることを通して、人を思いやる道徳的実践意欲を育てる。



内容項目 2- (2)

資料の分析

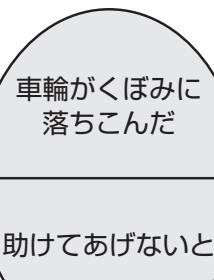
場面 1

道子との出会い



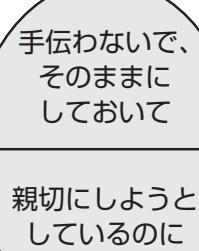
場面 2

ひとりで
困っている道子



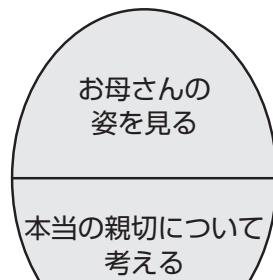
場面 3

道子の母に
手伝わないように
言われる



場面 4

道子の母の姿に
「はっ」とする



活用の
ポイント

車いすの少女道子や道子の母の行動から、本当の親切、
思いやりとはどういうものなのかを考えさせる。



授業の流れ

導入の工夫

車いすのことを知っていますか。



主な発問



主な意見



ポイント

- ① 道子の母から道子のこときいて、わたしは、どんなことを思ったでしょうか。

- ・がんばってほしい。
- ・学校へ行きたくなつて、道子さんは強い。
- ・かわいそう。

- ② 車いすが動かなくなつたとき、わたしはどんなことを考えたでしょうか。

- ・助けてあげないと。
- ・自分が車いすを動けるようにしよう。
- ・何とかしないと。

- ③ 道子の母が「手伝わないでそのままにしておいてください。」と言つたとき、わたしは、お母さんに対してどう思いましたか。

- ・どうしてそんなこと言うの。
- ・道子さんがかわいそうじゃないの。
- ・どうして助けたらいいの。

- ④ わたしが道子さんのお母さんの姿を見てわかったことは何でしょう。

- ・本当のやさしさ。
- ・道子さんの立場に立った親切をすることが大切。

- ・やさしい主人公の心のうちに隠れている道子に対しての「かわいそう」という気持ちがあるかもしれないことに気づかせる。

- ・困っている道子さんにに対するわたしの思いを考えさせる。

- ・道子さんのお母さんから思いがけないことを言われたわたしの不安な気持ちに共感させる。

- ・お母さんの道子に対する思いに気づき本当の思いやりについて考える。

終末の工夫

今日わかったことを書きましょう。

指導の工夫

板書例

車いすの少女

道子さん

事故で両足が不自由



車輪が動かなくなつたとき

- ・ 何とかしてあげないと
- ・ 手伝つてあげよう

手伝わないで、そのままにしておいてください

- ・なぜ、そんなこと言うの
- ・助けてあげるべきなのに

道子さんのお母さんから教わったこと

- ・本当のやさしさ
- ・相手の立場に立つて親切にする
- ・手伝うのではなく見守る



他の教科等との関連

キャリア教育

【学校づくりの提言】

保護者・先生と一緒に、みんなが楽しく安心して生活できる学校をつくるための提言を考えることにより、お互いの自由や権利に気づく。

他教科等との関連

【総合的な学習の時間】
バリアフリーについて考える。



道徳教育

【車いすの少女】

だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。

心のノートとの関連



「あなたの心にあるそのあたたかさ」
(5・6年用 44—47頁)



車いすの少女

わたしは、毎朝、仲よしの和子さんと一緒に登校しています。いつのころからか、病院の前を通るとき、まつて、車いすに乗った、わたしと同じ年くらいの女の子が出来つになりました。いつも、お母さんにおしてもらって散歩しています。

わたしたちは、何回か出来つたちにすつかり顔見知りになりました。ところが、11月前から、その女の子は、お母さんの力を借りないで、自分ひとりで車いすをこけっこをしていました。

昨日の朝、いつものようにあいさつをしたら、女の子のお母さんが、「道子は、六か月前に交通事故にあり、両足が不自由になってしまったのです。それからは、毎日悲しみばかりいたのですが、この間から、学校へ行きたいと言ひ出しましてね。それで、外へ出て自分でこぐ練習を始めたんですよ。」

と言われました。わたしたちは、

「そう、よかつたわ。元気を出して、がんばってね。」
と、道子さんとあくしゅして、はげましました。

けさも、病院の前に差しかかったときでした。道子さんは、自分で車いすをこなしています。わたしたちは、びっくりして道子さんの方へ走つてしましました。そして、「おはよう。」と、言ひましたときです。車いすの車輪の一つが、道路のくぼみに落ちこんで、動かなくなつてしまつたのです。

わたしたちは、急いで道子さんのところまで行き、一人で車いすを持ち上げようとしました。そのとき、はなれたところから、お母さんの声がしました。

「手伝わないで、そのままにしておいてください。」

わたしは、和子さんと顔を見合せながら、
「だつて。車いすが動かなくなつてしまつたのですよ。」
と、思わずたけんでしました。
「ありがとう。でもじこのよ、そのままで。」



いつものかわいらお母さんの顔ではありません。わたしは、せつかく手伝つてあげようとしたのにひ思ひ、はらが立つてしましました。
「それならやめて、学校へ行こう。」

と、不満そうに和子さんは言ひましたが、わたしは、車いすの横で、道子さんの様子を見ていました。

道子さんは、五回、六回とも死にこなしています。しばらくして、やつとくぼみからぬけ出すことができました。顔をまつ赤にして、ひたいのあせをぬぐっています。

それをじつと見ているお母さんの目には、なみだが光っているようでした。

わたしは、お母さんのすがたを見て、はつしました。「手伝わないで。」
と言わされた、お母さんの気持ちがよくわかつたように思ひました。



森の絵

出典： 学研「みんなのどうとく」5年

ねらい

劇に必要な仕事について主人公が考える姿を通して、
自分の役割を自覚し、責任をもって仕事に取り組もうとする
道徳的実践意欲を養う。



内容項目 4- (3)

資料の
分析

場面 1

道具係を選んだ
えり子

どこか
仕事がなげやり

女王役に
なれなかった

場面 2

衣しょう係の
文男との出会い

刺しゅうを
がんばっている
文男

文男さんて、
こんな人
だったかな

場面 3

文男のことばが
心をかけめぐる
えり子

だれかが
やらないと
劇にならない

自分はこのままで
いいのか

場面 4

森の絵を仕上げる
えり子

ポスターカラーを
皿にとき始めた

みんなで劇を
成功させよう

活用の
ポイント

えり子に焦点をあて、自分の役割を自覚して、主体的に責任を
果たすことの大切さを考えさせる。



ワンポイント

(終末の工夫)

方法の一つとして、子どもの作文・ことわざ・格言・家族や
地域の人の声などの活用が考えられます。

授業の流れ

導入の工夫

クラスで劇をしたことがありますか。
自分たちの学校の児童が行った劇のビデオがあれば、それを視聴させる。



主な発問



主な意見



ポイント

- ①えり子はなぜ、絵筆を持つ手に力が入らなかつたのでしょうか。

- ・やる気はあるけれど、何かひっかかる。
- ・めぐみがうらやましい。
- ・げきそのものがいやになつた。

- ②衣しょう係の文男の仕事ぶりをみて、えり子はどんなことを考えたでしょう。

- ・得意でないことでもがんばっているな。
- ・だれかがやらないとげきにならないことを文男はわかっている。

- ③文男の言葉がかけめぐった後、えり子はどんなことを考えていたでしょう。

- ・わたしがしないといけないのは、森の絵をかくことだ。
- ・自分の役割をきちんと果たそう。

- ④えり子が、ポスターカラーをのびのびと皿にとき始めたのはなぜでしょう。

- ・自分のすべきことがようやくわかった。
- ・どんな仕事でも大事なんだ。

- ・女王の役のことを引きずっていて、仕事に身が入らないえり子の心情に気づかせる。

- ・えり子とは対照的に意欲的に仕事に取り組む文男に対する思いを考えさせる。

- ・いろいろ考え、自分のすべきことに気づいたえり子の心情について考えさせる。

- ・劇を成功させるために、自分の仕事に責任をもって取り組むえり子に共感させる。

終末の工夫

名言を紹介する。
「一人一人が自分の仕事をきちんとこなすこと。この個人プレーの連携が、眞のチームプレーなのだ。」
〈松尾雄治さん（ラグビー選手）の言葉〉

指導の工夫

板書例

「森は生きている」

えり子 道具係

森の絵

絵筆を持つ手に力が入らない

- ・女王役になれなかつた
- ・げきそのものがいやになつた

衣しう係の文男

得意でないことをがんばつてゐる

- ・与えられた仕事をしつかりやつてゐる

だれかがやらないと、げきにならないじやないか

- ・自分の役割をきちんとしよう
- ・みんなに迷わくをかけられない

ポスターカラーをのびのびと皿にとき始めた

- ・どんな仕事でも大事
- ・みんなと力を合わせてげきを成功させる




他の教科等との関連

キャリア教育

【わたしたちのアクションプラン】

「みんなが楽しく安心して生活できる学校」をつくるためのアクションプランを考えることを通して、みんなの生活する場をより良くするために、お互いに果たすべき役割や責任に気づく。



他教科等との関連

【特別活動】

グループ活動を通してそれぞれが自己の役割を果たす。

道徳教育

【森の絵】

身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。



心のノートとの関連

「いきいきしている自分
かがやいている仲間」
(5・6年用 88-91頁)

父の仕事

出典：日本文教出版「生きる力」5年

ねらい

父親の仕事に対する姿勢や考え方を通して、働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立とうとするという道徳的実践意欲をはぐくむ。



内容項目 4- (4)

資料の分析

場面 1

父との会話

「つまらないんだね」
ぼくは言った

さみしいなあ
家にいてほしい

場面 2

父との会話

「にこにこ
している」
父をぼくは見る

なぜにこにこ？
ふーん
そんなものか

場面 3

電車の中

「にこりとも
しない」
父をぼくは見る

どうして返事を
してくれないの

場面 4

父との会話

「とてもしんけん
でこわい目」の
父をぼくは見る

すごい、うれしい
素晴らしい

活用の
ポイント

働くことには、自らの目的を実現するために働くという面もあるが、職業のように、個人の生活を維持し、自分の幸福を追求するのと同時に、社会的分業によって社会を支えるという面もあることを理解する。



授業の流れ

導入の工夫

『ほこり』と黒板に書く。



主な発問

- ① 「お父さんの仕事って、つまらないんだね」といふぼくは、どうしてそのように思うのですか。

- ② 「お父さんには…思っているよ」とにこにこする父を見て、ぼくはどんなことを考えていますか。

- ③ 「お父さん」と、大きな声でよんでも、にこりともしない父を見てぼくはどんなことを考えていますか。

- ④ 「お父さんがどうして返事を…」その目は、とてもしんけんで、こわいような目でした。そのような父を見て、ぼくは何を考えていますか。



主な意見

- ・日曜日も祝日も出かけて家にいないので。
- ・1日おきにしか家に帰ってこないので。
- ・一緒に遊べないから。

- ・ふーんそんなものか？
- ・おかしいな。そんなはずはない。
- ・なぜ、にこにこしているの？
- ・楽しそうだなあ。

- ・どうして返事をしてくれないの。
- ・おかしいな。そんなはずはない。
- ・無視するなよ。
- ・気づかないのかなあ。

- ・父の仕事へのほこりがすごい！
- ・父の真けんさがうれしいなあ！
- ・自分のあまさが情けないなあ。
- ・父の仕事への思いがすばらしい。
- ・父をそんけいできるなあ。



ポイント

- ・父がいないことへのぼくのさみしさを共有する。

- ・父のにこにこしている意味をしっかり考える。

- ・先ほどのにこにこする父と、今回のにこりともしない父の違いを考え、父の生き方をしっかり見つめる。

- ・父の仕事に対する情熱・思い・責任等をみんなで共感する。

終末の工夫

名言を紹介する。
「私たちは空腹を満たす仕事をしているのではない。
魂を満たす仕事をしているのだ」

〈ハワード・シュルツ〉

指導の工夫

板書例

父の仕事 ほり

私たちςは空腹を満たすために仕事をしているのではない。魂たましいを満たす仕事をしているのだ。

ハワード・シュルツ

つまらないんだね。

- ・出かけて家にいない
- ・家に帰ってこない

にこりともしない父

- ・ふーん、そんなものか?
- ・大事な仕事をしているの?

にこりともしない父

- ・どうして返事をしてくれないので
- ・無しするなよ
- ・気づかないのかなあ

ぼくは何を考えている?

- ・仕事へのほこり
- ・がすごい
- ・父の真けんさがうれしいな
- ・父をそんけいできるかなあ



他の教科等との関連

キャリア教育

【ケーキ屋さんを経営しよう】

ケーキ屋さんを経営するのに必要な賃金について考えることを通して、お金の大切さや、お金を得ることの大変さに気づかせる。



他教科等との関連

【総合的な学習の時間】

体験活動や聞き取り活動等を実施する。

道徳教育

【父の仕事】

働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。

心のノートとの関連



「働くってどういうこと」
(5・6年用 92-95頁)



父の仕事

ぼくの父は電車の運転士です。ぼくが生まれる11年ほど前から、この仕事をしているのですから、もう十年あまりのベテランです。

父は、仕事の都合で、一日おきにしか家に帰ってきません。また、日曜日や祝日にでも出かけていくことが多いです。

「お父さんの仕事って、つまらないね。」

「ほくは父にも言いました。そんなことを、父はおもって」

「お父さんは、今の仕事が楽しいんだ。でも、楽しいだけではなくて、とても大切な仕事だと思ってるよ。」

「ここにこしてくるのです。」

ぼくには、父の言葉の意味がよくわかりません。みんなが家族連れて出かけていく日曜日でも、たいてい友達のいない公園で、弟と遊んでいなければならぬのですから……。

ところが、今日、こんなことがありました。ぼくは、弟と一緒に、父のつどんでいる会社の電車に乗って、おばさんの家へ出かけました。ぼくたちは、電車に乗るなり、運転席の後ろに立ちました。ここから前方を見ていると、なんだか、運転士になつたような気分になれるからです。

しばらくして、なにげなく運転席を見ると、おどろいたことに、その電車の運転士はお父さんだったのです。ぼくは、思わず、「お父さん！」

お父さんは、しかし、父は見向をむきませんでした。「信号ー」とか「場内注意ー」とか、大声でせりふでいるばかりです。ぼくは、もう一度しゃべりました。お父さんはかからずあります。今度は、弟が、

「お父さんー。」

と大きな声でよびました。けれども、からつみながら見ただけでした。ぼくは、「たしかにお父さんにちがいないのに、どうしてにこりともしないのだろう。」と感じました。

「おい、帰ったぞ。」

夕方、戸口に元気な父の声がしました。ぼくは、走りよつて、

「今日、電車の中で『お父さん』って一度もよんだのに、返事をしてくれなかつたね。」

と言いました。すると、父は、

「お父さんがひうして返事をしなかつたのか、よく考えてござん。」

父は、ゆっくり話しかけました。しかし、その目は、とてもしんげんで、こわいような目でした。

「お父さんが運転をしてるときは、何百人、ときには千人以上の人の命をあずかっているんだよ。みんなが安心して乗つていられるのも、運転士をしんらうしているからこそだよ。」

父の話す一言一言には、たいへん力がこもつていました。

ぼくは、話を聞いてるうちに、「お父さんー」とよんだことが、なんだかおそろしいことのように思われてきました。

「運転をしてるときは、前方に注意してはいるばかりか、車内のお客さんのことにはいつも気を配つてはいるんだよ。スピードの出し方、ブレーキのかけ方一つでも、うつかりすると、お客さんにたいへんなめいわくをかけてしまつからな……。仕事というのは、給料をえむくらいはこうひうるものではないんだよ。」

父はこれだけ言うと、いつものにこにこ顔にもどりました。



出典 日本文教出版「生きる力」5年

キャプテン

出典：文溪堂 「5年生の道徳」

ねらい

谷口君の生き方を通して、より高い目標をめざし、
希望と勇気をもってくじけず努力する心を養う。



内容項目 1- (2)

資料の
分析

場面 1

橋の上

どうすりや
いいんだ
と悩む

自分にはそんな力が
ない

場面 2

家の特訓後

どうすりや
いいんだ
と悩む

やっぱり自分には
力がない

場面 3

前キャプテンとの
ろう下での会話

「みんなの期待…」
谷口君に話す

いっしょなら
がんばれる

場面 4

前キャプテンとの
ろう下での会話

「お…おれまた…」
帽子をかむ

また一生懸命
がんばろう

活用の
ポイント

人間としてよりよく生きるためにには、目標や希望をもち、困難に屈しないで粘り強く最後まで着実にやり抜く、強い意志と態度を育てることが大切である。日常生活のほんの小さな目標であっても、それが達成された時には満足感を覚え、自信と勇気が起り、このような達成感が、自己の可能性を伸ばし、人生を切り開いていく原動力となり、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすことにもつながる。

今回は、読みもの資料でなくマンガを使い、やり抜く強い意志と態度を育てていきたい。



授業の流れ

導入の工夫

『飛翔』という言葉を黒板に書く。



主な発問

① 「どうすりやいいんだ」と言いながら谷口君はどんなことを考えていましたか。(橋の上・家の中)

② 「どうすりやいいんだ」と言いながら谷口君はどんなことを考えていましたか。(特訓の後)

③ 「どうだ今度はキャプテンとしてみんなの期待にこたえてくれるか。」キャプテンは自分にどんな期待をかけていると、谷口君は考えたのでしょうか。

④ 「父ちゃん おれ……がんばらなくっちゃ」谷口君は、この時どんなことを考えていますか。



主な意見

- ・ぼくにはそんな力がない
- ・みんなにうそつきと責められるかなあ。
- ・みんなに合わせる顔がない。
- ・もうだめだなあ。

- ・やっぱりおれはダメだ。
- ・初めから無理ってわかつていたのに。
- ・努力してもむだ。うまくやれないに決まっている。

- ・どんな逆境でもがんばったらキャプテンになれる。
- ・みんなから信らいされるキャプテンになれる。
- ・みんながいっしょにがんばれるキャプテンになれる。

- ・これから一生けん命がんばるぞ。
- ・本当にこれでいいの?
- ・みんなの期待にこたえるぞ。



ポイント

- ・谷口君の心の葛藤をしっかりみつめる。
- ・努力したが無駄だったと思う谷口君の心の中のつらさに共感する。
- ・上記発問とは対照的に前キャプテンを含め、チームみんなが谷口君のよさ・素晴らしさに気がついていることをおさえる。
- ・キャプテンに選ばれた谷口君の思いをしっかり共有する。
- ・ちょっといい言葉を黒板に掲示する。

終末の工夫

名言を紹介する。

「鳥が大気の抵抗に逆らって飛び立つように、逆境に挑む力こそが、人間を飛翔させるのだ」(ロア・バストス (パラグアイの小説家、1918~))

指導の工夫

板書例

キャプテン



「鳥が大気の抵抗に逆らって飛び立つように、逆境に挑む力こそが、人間を飛翔させるのだ」

〈ロア・バストス

どうすりやいいんだ (橋の上・家の中)

- ・ぼくにはそんな力がない
- ・みんなにうそつきと責められる

どうすりやいいんだ (特訓の後)

- ・やつぱりだめだ
- ・おれは努力してもむだだ

みんなの期待

おれがんばりなくっちゃ

- ・どんな逆境でもがんばれる
- ・信頼できる
- ・しょならがんばれそう

- ・一生けん命がんばるぞ
- ・信頼あるんだなあ
- これでいいのかなあ

他の教科等との関連

キャリア教育

【夢の教室 JFA こころのプロジェクト】

夢先生の話を聞き、「夢を持つことの大切さ」や、「仲間と協力することの大切さ」を考える。



他教科等との関連

【特別活動】

クラスの係活動や清掃活動を充実する取組みを行う。

道徳教育

【キャプテン】

より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。

心のノートとの関連



「夢に届くまでのステップがある」
(5・6年用 16-19頁)

■最後のおくり物

出典： 日本文教出版 小学道徳「生きる力」6年

ねらい

ロベーヌがジョルジュじいさんからもらったものを
考えることを通して、相手の立場に立って親切にする道徳的
心情を養う。



内容項目 2- (2)

資料の
分析

場面 1

おくり物が
とどかなくなる

月謝が
払えなくなる

養成所を
やめたたくない

場面 2

仕事を休み、
じいさんの
付きそいをする

「息子です。」
きっぱりと言う

じいさんへの
感謝の気持ち

場面 3

最後の手紙を
取り出す

もう
一度読む

本当のやさしさを
感じる

場面 4

じいさんの
やさしい笑顔が
うかんできた

遠くに
視線を移した

じいさんの
やさしさに
応えたい

活用の
ポイント

ジョルジュじいさんのロベーヌに対するさまざまなかづかい
を通して、相手の立場に立って親切にしようとする思いやりの
心について考えさせる。



授業の流れ

導入の工夫

今、熱中していることはどんなことですか。



主な発問

- ① 突然おくり物が届かなくなって、ロベーヌはどんなことを考えたでしょう。



主な意見

- ・もっと勉強したいことがあるのにここまでか。
- ・養成所に通えなくなるのがやさしい。
- ・はじめからくれなかつたらよかったです。



ポイント

- ・もう養成所に通えなくなるロベーヌの思いに共感する。
- ・おくり物の主がじいさんであったことに気づいたロベーヌの心情を考える。
- ・ジョルジュじいさんのロベーヌに対するあたたかい思いやりの気持ちに共感させる。
- ・ひじいさんの思いやりを無駄にしないで強く生きていくうとするロベーヌについて考える。

- ② ロベーヌはなぜきっと、「ぼくが付きそいます。」と言ったのでしょうか。

- ・じいさんへの感謝の気持ち。
- ・じいさんのために看病するのは当然。

- ③ ロベーヌは、じいさんから最後のおくり物といっしょに、何をもらつたでしょう。

- ・人を思いやる優しい気持ち。
- ・本当のやさしさ。

- ④ じいさんのやさしい笑顔を思いうかべながら、ロベーヌは何を決意したのでしょうか。

- ・きっとりっぱなはいゆうになるぞ。
- ・じいさんの分までしっかり生きるぞ。

終末の工夫

ロベーヌまたはジョルジュじいさんに手紙を書く。

指導の工夫

板書例

最後のおくり物

おくり物が届かなくなつたとき

- ・養成所に通えなくなり、くやしい
- ・どうしたんだろう



なぜ、きつぱりと書いたのか

- ・じいさんへの感謝の気持ち
- ・おん返しがしたい

ロベーヌはじいさんからお金とともに何をもらつたでしょうか

- ・人を思いやるやさしい気持ち
- ・本当のやさしさ
- ・見返りのないやさしさ



ロベーヌじいさんのやさしい笑顔がうかんできた

- ・じいさんのやさしさに応えられるようがんばりたい
- ・じいさんの分までしっかり生きるぞ

他の教科等との関連

キャリア教育

【サッカーと野球】

まわりの人と意見を交流することで、いろいろなものの見方や考え方があることを理解するとともに、自分とは異なる意見を受け入れることで、自分の考えを深めたり、広めることができるに気づく。



他教科等との関連

【特別活動】

たてわり活動で下級生に接する。

道徳教育

【最後のおくり物】

だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。

心のノートとの関連



「あなたの心にあるそのあたたかさ」
(5・6年用 44-47頁)



最後のおくり物

ロベースの夢は、有名な劇団「アルベル」のはいいゆうになることだつた。地方から一人でこの町に出てきたロベースには、養成所に通うようゆうはなく、自分なりの練習を重ねてきた。ある日の夜、養成所がどのような練習をしているのかを知ろうとして、まどごしに中をのぞいてみた。あまりの練習のきびしさと熱心さにおどろき、ロベースは、思わずたちすくんでしまつた。

それから、たびたび夜にまどの下で熱心にメモを取るロベースのすがたが見られた。たまりかねて声をかけたのが、守衛のジョルジュじいさんだつた。ジョルジュじいさんは、ロベースの話を聞き、「ほんとうは許されないが、他の守衛仲間にもわたしから話しておこう。」と言つてくれた。その日から、雨の日も風の日も、まどごしに練習の様子を熱心に見入るロベースのすがたがあつた。

三か月ほどたつた日の朝、ロベースは、アパートのドアの下に小さな紙の包みを見つけた。中には、養成所の月謝代に使つて下さい、という手紙とともに、何枚かのお札が入つていた。自分にこんなことをしてくれる人を、ロベースは思いつかなかつた。よく月も、その次の月もおくり物はどといだ。

「お金をそのまま受け取つてよいものでしようか。だれが送つてくれるのかさがしたんですがわからんんです。」

思いあまつて、ロベースはジョルジュじいさんに相談してみた。「きっとあなたに期待をかけている人なんだろうね。このお金は今借りているとおもえばいいじゃないか。むだにしなじようにながんばることだね。」

そういうつた後で、「あつ、そうそう、わたしは今度、昼間につとめにかわることになつたのね。しばらく会えなくなるけど、くじけちゃだめだよ。」

と言つて、やさしくほほえみかけた。

養成所に通い始めたロベースは、いつもよけんめいに練習に取り組んだ。日に日に実力を身につけ、先生や仲間からもしだいにみごめられるようになつてきた。ロ



ベースは、いつそう練習に力が入つた。ところが、しばらくして、とつせんおくり物がどどかなくなつた。次の月も、その次の月も、やはりおくり物はどどかなかつた。はら見えない月謝がたまりはじめた。「せつからここまできたのに……。」

ロベースは、思わずくちびるをかむのでした。

そんなある日の夜ふけに、どひらの外にかすかに人の気配がした。そつとげん闇の方をのぞくと、雪明かりの中にかがみこんで何かを置いている人かけが見えた。

「ジョルジュじいさん……。」
ゆっくり起き上がつたその顔が見えたとき、ロベースはいきをのんだまま、その場を動くことができなかつた。ジョルジュじいさんは、立ち去ろうとしたが、その様子がおかしい。と思う間もなく、雪の中にたおれこんだのである。

ロベースは外へ飛び出した。かけ寄つてよくみると、ジョルジュじいさんは苦しそうに息をしていた。ひどい熱。ロベースは、だきかかえて自分の部屋につれていき、ベッドにねかせると、急いで近くの病院に向かつた。げん闇のわきには、見慣れた紙の包みがあつた。
「むずかしい状態です。大分すい弱してますから。とにかく、だれか付きそいが必要です。」

医師がそう言つたとき、來っていた仲間の守衛たちが顔をくもらせた。

「体をこわして休んでいたのに、また無理して働き始めたからだろうね……。こまつたな、このじいさんには身寄りがないんだ。」

と、だれかが言つた。

付きそいとなれば、仕事を休まなければならぬ。ロベースは、しばらくうつむいていたが、きつぱりと言つた。

「ぼくが付きそいます。むすこなんです。」

それからは、付きつきりで、ねむり続けるジョルジュじいさんの看病をした。しかし、体は日に日に弱つていつた。

三日目の夜、ジョルジュじいさんは、かすかにはほえながら、ロベースに小さな声で語りかけた。

「めいわくをかけることになつて悪かつた

ね。」「そんな……。」「むすこだと言つてくれたんだね。」「そんなことより、ぼくのためにこんなに苦しむことは……。」「ちつとも苦しきはなかつたよ……、幸せを感じたくらいだ。」

じこまでも気づかってくれるジョルジュじいさんの言葉に、ロベースはかたをふるわせた。

「ぼく、おじいさんにあやまらなければ。……お金がどくなつたとき、ぼくはうらみました。ほんとうにおうかでした。どんなに苦しんでいたかも知らないで。許してください。……でも、どうして見ず知らずのぼくんかに。」

「わたしもはいゆうになりたかつた……。きみのすがたを見ていて……。ありがとう、がんばるんだよ。」

ジョルジュじいさんは、そう言うと、ロベースの手を取つたまま、またねむりについた。それからしばらくして静かに息を引き取つた。

その後、ロベースはジョルジュじいさんからの最後の手紙を取り出し、もう一度読み始めた。

おくれていたお金を入れておきます。もうすぐ、劇団の新人ぼしゅうの試験がありますね。わたしは心よりあなたの努力が実ることを心待ちにしています。あなたの初ぶたいを一日も早く見られることを心待ちにしています。

手紙の文字がみなでかすんだ。その中に、ジョルジュじいさんの語りかけるようなやさしい笑顔がうかんできた。

出典 武田正樹の作品による
日本文教出版 小学道徳「生きる力」6年





みんなで劇を作ろう

出典：日本文教出版 小学道徳「生きる力」6年

ねらい

クラスでつくりあげる劇に対する主人公の姿について考える通じて、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする道徳的判断力を養う。



内容項目 4- (3)

資料の分析

場面 1

音響係で失敗して、やる気がなくなる

「いいかげんにしてよ。」

しかたなくやっているのに

場面 2

本職の劇団の人から話を聞く

メンバーどうしがはく手できる劇に

チームワークが大切だ

場面 3

家に帰ってから夜遅くまで練習をする

何回も何回も練習する

劇を成功させるためにがんばる

場面 4

2回目のリハーサルでうまく仕事ができた

クラスのみんなもガッツポーズ

みんなと心がひとつになれた

活用のポイント

ひとつのことを作り上げるには、まわりの人と協力し、責任を持って自分の役割をきちんと果たすことが大切であることを考えさせる。



授業の流れ

導入の工夫

クラスで劇に取り組んだ経験はありますか。



主な発問

- ① 剛はなぜ、だんだんやる気がなくなってきたのでしょうか。



主な意見

- 自分なりにがんばっているのに認めてもらえない。
- 自分ばかり怒られるのはおかしい。



ポイント

- 剛なりにがんばっているつもりだが、認めてもらえないことが原因であることをおさえる。

- ② 本職の劇団の人の話をきいて、剛はどう思いましたか。

- ひとりでもいい加減な人がいると劇ができあがらない。
- チームワークが大切。
- これまでの自分のやり方ではダメだ。

- 劇に対する剛の考え方方に変化があらわれたことに気づかせる。

- ③ 夜遅くまでかかって練習しながら、剛はどんなことを考えていたでしょうか。

- ミスをしないように、仕事をきっちりするぞ。
- 劇を成功させるためにがんばらなくては。
- みんなと心をあわせる。

- クラスの人たちと劇をつくりあげたい剛の心情にせまる。

- ④ 剛はみんなのガッツポーズから何を学びましたか。

- みんなと心をひとつにするとのすばらしさ。
- チームワークの大切さ。
- 劇はひとりではつくれないと。

- クラスのみんなに認めてもらったときの剛に共感させる。

終末の工夫

名言を紹介する。
「チームワークってのは、ひとりひとりが自分の役割にベストを尽くして、それでバランスのとれていることなの。」

〈永 六輔〉

指導の工夫

板書例

みんなで劇を作ろう

剛・・・音響係に

- ・だんだんやる気がなくなってきた

- ・自分なりにがんばっているのに
- ・自分ばかりおこられるのはおかしい

- ・本職の劇団の人の人話をきいて

- ・チームワークが大切
- ・これまでのやり方ではダメだ



おそらくまで練習しながらどんなことを考えていたでしょうか

- ・みんなと心をあわせる
- ・劇を成功させるために自分の仕事をきつちりする

みんなのガッツポーズから学んだこと



- ・劇はひとりでは作れない
- ・心をひとつにするとのすばらしさ

他の教科等との関連

キャリア教育

【自由ってなに?】

「いじめ国際比較調査」「高校生の規範意識等に関する調査」の結果から、本当の自由には責任がともなうことを理解する。



他教科等との関連

【特別活動】

委員会活動で協力して活動している。

道徳教育

【みんなで劇を作ろう】

身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。



心のノートとの関連

**「生き生きしている自分
かがやいている仲間」
(5、6年用 88-91頁)**



みんなで劇を作ろう

剛の学級では、総合的な学習の時間に「みんなで劇作りをしよう」をテーマに取り組んでいます。まずは最初は、劇についての調べ学習をし、みんな劇にくわしくなりました。

そして今日は、げきのやくわり分担をする日です。役者、音きよう、照明、大道具、小道具などのやくわりが黒板に書かれました。「人前で演技するなんではなく、しない。道具係は地味だし……。ここはぶんぶん音きよう係にでもしておこう。」

音楽に興味のある剛は、音きよう係になることにしました。CDなどの機械のそうちにくわしい剛は、みんなから音きよう係のチーフにすいせんされました。「ぼくがチーフ？ みんなで作る劇だから、名前だけだろ。」そんな気持ちでチーフになることにしました。

やくわりが決まり、劇の準備がスタートしました。剛たち音きよう係は、場面ごとにあつた音楽を選んで、台本にいつ、何をかけるか書きこんでいました。

いよいよ、セット、音きよう、照明を入れたりハサウルの開始です。剛はCDのスタートボタンを押しました。場面に合ったいい音楽です。剛は、「**樂勝、樂勝**」

と思い、どんどん場面が進んでいました。

ところが、第三場面から第四場面に変わると、CDの入れかえが少しおくれ、タイミングがずれてしまいました。「ストップ！ 音楽おそいよ、もう一回。」(失敗、失敗。はいもう一回つと……)

剛はもう一度CDを入れかえました。が、やっぱり次も少しおくれました。そのたびに、役者は元の位置にもどり、セットも入れかえられます。

「まだおそいよー。たのもよー。」

(ちよつとくらいなら、いいんじゃないのかな。)

そんな気持ちで二回目のやり直しをしました。しかし、二回目も失敗しました。

「いいかげんにしてよ。」

「そうだよ、そのたびに元にもどすこっちの身にもなつてよ。」

みんな不満を言い出しました。

「こっちだつて大変なんだ。そんなに言うならきみがやれよー。」

かつとなつて剛も言い返しました。クラスのふんいきが悪くなり、そのシーンは飛ばして次の場面の練習になりました。

「あーあ。何でぼくがおこられなくちゃいけないんだよ。しかたなくやつているチーフなのに。」

剛は、だんだんとやる気がなくなっていました。



ついてのお話を聞く日でしたが、やっぱり剛はあまり乗り気ではありませんでした。劇団の人から劇についてのお話を聞いたあと、みんなからの質問タイムになりました。

「セットがうまく立たないんだけれど……。」

「大きな声を出すコツは？」

「照明の当てる方の基本を知りたいです。」

みんなしんけんです。

(そんなにかんぱりなくても、なんとかなるよ。)

剛はそういうながらみんなの質問を聞いていました。たくさん質問にていねいに答えていた劇団の人は、最後になると、それまでの笑顔が消えて少しこわい顔になつて今日のまとめの話を始めました。

「いろんな質問がでたけれど、みんなは大事なことをわすれているような気がします。それは、メンバー全員の心が一つになっているかといふことです。細かい技術も必要だけど、それよりもたいせつなのは、チームワークです。劇を成功させるために、まず、自分が百パーセントの力を出す。メンバー全員のその力が合わさって初めて劇が成功したというのです。一人でも手をぬいた劇は、どんなにお客さんからはく手をもらつても失敗です。最低の劇です。メンバーどうしがはく手できる、そんな劇にしてくださいね。」

それまで、いいかげんに話を聞いていた剛は、劇団の人が自分の方を見て話しているような気がして、思わず下に向いてしまいました。

(ぼくは、クラスの劇を合なしにしようとしている……。)

そう思った剛は、家に帰つてから何回も何回もCDの入れかえの練習をしました。それだけでなく、夜おそくまでかかつて、ほかの場面の音もしつかりと入れられるように練習しました。



次の日は、二回目のリハーサルです。みんな心配そうに剛の方を

みていました。いよいよ問題の場面になりました。

「少し早めにボリュームを落として、CD入れかえ、オン！」

スムーズに音楽が流れました。剛は手をにぎりしめてガツッボーズをしました。周りを見るとクラスのみんなもガツッボーズをしているのに気がつきました。

「この劇は、ぼくにとつてわすれられない劇になるぞ。」

剛は本番の日が待ち遠しくなりました。

次の日は、本職の劇団の人々に学校に来てもらつて、劇作りに

出典 日本文教出版 小学道徳「生きる力」6年

病室六〇七号

出典：教育出版 小学道徳「心をつないで」⑥

ねらい

看護師ジェーンの患者リチャードに対する思いについて
考えることを通して、働くことの意義を理解し、社会に奉仕する
喜びを知って公共のために役立とうとする実践意欲をはぐくむ。



内容項目 4- (4)

資料の
分析

場面 1

リチャードの病室
夜手紙を書く

ペンをにぎった

どんな子かなあ
何書こうかなあ

場面 2

リチャードの病室
手紙を書く中で

わかってくれて
いる気がしてきた

親近感がわいたから
同じ立場だから

場面 3

Dとう六〇七号室
少女を訪ねて

少女に会うため
六〇七号室に行く

うそ、どうして
信じられない

場面 4

リチャードの病室
ジェーンとの会話

「ありがとう
……」

君のおかげで治った
これからも患者を
励まし続けてね

活用の
ポイント

仕事をする中で、社会に奉仕するという喜びを自覚し、自分自身のめざす生き方を追求し実現していくことが、一人ひとりの真の幸福につながっていくことを理解し共有する。



授業の流れ

導入の工夫

『使命』と黒板に書く。



主な発問

- ① 「その晩…ペンをにぎつた。」
どんなことを考えていたでしょか。

- ② 「やがて、一度も……気がしてきた。」
どうしてそういう風に思うようになったのですか。

- ③ 「Dとう六〇七号室……」
カルテ室とわかつて、リチャードはどんな気持ちでしたか。

- ④ 「ありがとう……」
リチャードは、ジェーンに対して、続きを心の中で“何”と語っていますか。



主な意見

- ・どんなはげましの言葉を書こうか。
- ・どんな女の子かなあ?
- ・この手紙で本当にはげましになるかなあ。
- ・まあ書いてみようか。

- ・同じ立場の少女だから。
- ・少女に親近感がわいてきたから。
- ・自分のつらさやしんどさを少女に手紙を通して聞いてもらっているから。

- ・うそ、どうして……。
- ・信じられない。これどういうことなの?
- ・ジェーンの今までの話は何なの?

- ・ぼくは君のおかげで病気が治ったよ。ありがとう!
- ・これからも患者さんをはげます看護師さんになってください。
- ・とてもすてきなウソだったよ。
- ・これからも患者さんを助けてね。



ポイント

- ・リチャードは手紙を書くためにペンをとるが、手紙を書くことの意味をあまり考えてないことを押さえておく。

- ・リチャードの手紙を書くことへの心の変化をみんなで共有する。

- ・リチャードの驚きに共感する。本当にびっくりしたことを探さえる。

- ・リチャードの看護師ジェーンに対する思いをしっかり押さえ、みんなで共感したい。

終末の工夫

名言を紹介する。
「各自はその使命に応じて働け。」

〈ラブレー〉

指導の工夫

板書例

病室六〇七号 使命

「各自はその使命に応じて働け。」「ラブレー」

Dとう六〇七号室

・うそ、どうして…
・同じ立場の少女だから
・どんな言葉がいいか
・どんな少女かなあ
・たのまたから書こ
うか！

・君のおかげで病気が治ったよ
・患者さんをはげまし続けてね
・君のウンは素敵！

・何と語っている！

・信じられない。ど
うして

・気がしてきた！

・ペンをにぎった

他の教科等との関連

キャリア教育

【未来予想図】

中学校の先輩からの聞き取りを通して、中学校生活についての興味や関心を高め、新しい生活への見通しをもつ。



他教科等との関連

【総合的な学習の時間】

体験活動や聞き取り活動等を実施する。

道徳教育

【病室六〇七号】

働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知り、公共のために役立つことをする。



心のノートとの関連

「働くってどういうこと？」
(5・6年用 92-95頁)



病室六〇七号

リチャードは深い绝望のうちにしづんでいた。

どうせ治る見込みがない、この体だ。もうどうなつてもかまわないと。いつそのこと……。

原因不明の病におかれ、この病院での生活もすでに一年半を過ぎていた。よくなる見込みなど全くない。おまけについ先日、転んで足の骨を折ってしまった。歩くこともできず、リチャードは、身も心もつかれきって、希望を失っていた。

そんなある日、看護師のジェーンから、白い便せんを手わたされた。

「リチャード、実は、口どうの六〇七号室に、エリリーという女の子が、あなたとねなじように原因不明の病気で入院している。かの女は、あなたよりもむづと病気が進行していて、あと半年生きられたらよいほうなの。それで、……、あなたからエリリーに、はげましの手紙を書いてくれないかしら。かの女、小さいころ、別の病院で根力を失っているの。なんとか元気づけたいのよ。」

リチャードは、もう目の少女が自分と同じような原因不明の病におかれ、苦しんでいることを知られ、ふと手紙を書いてみる気になった。

「でも、目が見えないんじゃ、手紙なんか書いたって……。」

「わたしが読むわ。エリリーには、今は、はげましの力が必要なの。だれもお見まいに来てくれないのよ。さびしいんだわ。もう笑いをわすれかけているみたい……。お願ひが。」

その晩、リチャードは久しぶりに、ペンをにぎつた。

次の日、看護師のジェーンから、こんな報告をもらつた。

「エリリーったら、とても喜んだのよ。あなたからの手紙を読んであげたらクッ、クツって笑って……。リチャードってどんな人つきくから、まだわかい、背の高いハンサムな人よつて言っておいたわ。とてもうれしかったみたい。リチャード、ありがとう。また、お願いね。」

その日のうちに、リチャードは第一の手紙を書いた。そして、ジェーンからエリリーの様子を聞くのを待ち遠しく思つた。

次の日も、その次の日も、リチャードは手紙を書いた。

初めのうちは、季節のあしさや自分のしゅ味など、あたりさわりのないことを書いていたが、そのうち、自分のおさないところのこみや、うれしかったこと、悲しかったことなど、自分の気持ちをこまごまと書くようになつていつた。

やがて、一度もあつたことのないエリリーが、いつの間にカリチャードにとって、世界でいちばん自分のことをわかつてくれる人のような気がしてきた。



エリリーに手紙を出すようになつて、いつの間にか二か月が過ぎた。

そんなある日、主治医が、リチャードに告げた。

「きみはもう、すつかりよくなつた。足の骨折も治つている。もう自由に歩いていいし、あと半月すれば退院していいよ。これは、きせきだ。」

リチャードは、思いもかけず、あとわずかで入院生活が終わることを知られ、夢を見ていいる思いだつた。

ある日、リチャードは、思いきつて心中をジェーンにうち明けた。

「ねえ、ジェーン。ぼくはエリリーに会つてみたいんだ。今まで手紙だけけど、直接話してみたいんだ。じかに会つてはげますよ。ぼくだって、よくなつたんだもの。たしか、いちばんおくの口どうの六〇七号室だつたね。」

ひこうが、ジェーンは顔を横にそつて、会いに行くのはやめると言つた。

退院の前日、リチャードはジェーンにないしょで、エリリーをたずねた。

(じんな子だろう。かみの長いかわいい子かな。きっと、すてきな女の子にちがひない。)

口どうの六〇七号室、ノックをするが返事がない。胸の中がドキドキし始めた。思いきつてドアを開けた。

意外なことに、中は古いカルテの積んである倉庫のようなところだつた。

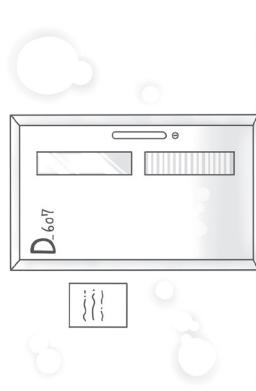
リチャードは急いで部屋にもどり、ジェーンに、エリリーはこうしたのかと聞いた。

「ごめんなさい。エリリーなんて初めからいない。あなたに生きる希望をもつてもらいたいと思い、主治医と相談して……。あなたが日に日によくなつていつて、わたし、うれしかつたの。でも、うそは……。」

「ありがとう……。」

リチャードは、そう言つたが、声にならなかつた。

出典 立石喜男作
教育出版 小学道徳「心をつなじで」⑥



青の洞門

出典：学研「みんなのどうとく」6年

ねらい

了海の岩をくりぬき人々のために道を作ろうとする強い心を通して、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する道徳的実践力を養う。



内容項目 1- (2)

資料の分析

場面 1

大絶壁前

了海の決心は
変わらなかった

みんなを助けたい
なんとかしたい

場面 2

最後の岩を
くり抜いた

しっかり
にぎり返した

困らないだろう
やっと終えた

場面 3

21年間
やり遂げた

21年間絶壁
を掘り進んだ

役に立ちたい
人が助かる

場面 4

固く手を
握りしめた

過去のすべて
を水に流して…

感動した
神々しく思った

活用の
ポイント

人間としてよりよく生きるために、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する態度を育てることが大切である。

この時期の児童に対して、様々な生き方への関心を高めるとともに、計画的に努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって、着実に前進していくことをする強い意志と実行力を育てるように心掛ける。



授業の流れ

導入の工夫

『志』という言葉を黒板に書く。



主な発問

- ① だれ一人・・了海の決心は変わらなかった」として変わらないの。



主な意見

- ・これが一生の仕事と思ったから。
- ・これで自分の罪がつぐなえると思ったから。
- ・やらなければいけないと思ったから。



ポイント

- ・了海が、どうして穴を掘るようになったのかを、まず押さえる。
- ・了海の強い意志に共感する。
- ・了海の達成感を味わう。
- ・了海の心の奥底をみんなでしっかりと見える。
- ・岩にも実之助の心にも大きな穴をあけた了海の強い信念をみんなで味わう。

- ② 「やりましたなあ。・・・」手をしっかりと握り返した時、了海はどんな気持ち。

- ・やっと終わった。満足。
- ・みんな喜ぶだろうな。
- ・俺もやればできる！
- ・これで困らないだろうな。

- ③ 21年間、絶壁を掘り進んだ了海。了海の中にある“何”がこの仕事を最後までやり遂げさせたのですか。

- ・洞くつが人々を助けるという思い。
- ・昔やった罪へのつぐない。
- ・一生の仕事と思う気持ち。
- ・みんなの役に立ちたいという思い。

- ④ 「実之助の手は……」了海の中の何が、実之助の心を変えたのですか。

- ・了海の生きざまのすごさ。
- ・了海のひたむきさ。

終末の工夫

名言を紹介する。
「人はどんな高いところでも登ることができる。
しかし、それには決意と自信がなければならぬ」

〈アンデルセン〉

指導の工夫

板書例

青の洞門
志

「人はどんな高いところでも登ることができる。それには決意と自信がなければならぬ」
〔アンテルセン〕

決心は変わらない

- ・これが一生の仕事
- ・これで罪がつぐなえる
- ・やらなければならない

どんな気持ち?

- ・やっと終わった
- ・みんなよろこぶだろうなあ
- ・これで困らないだろうなあ



何がやりとげさせたのか?

- ・人々を助けるという思い
- ・昔の罪へのつぐない
- ・役に立ちたいという思い

何が心を変えたのか?

- ・神々しさ
- ・ひたむきさ

他の教科等との関連

キャリア教育

【よのなかの仕事】

よのなかの仕事を分類することを通して、職業を選ぶことは、社会の一員としての役割を分担することを理解する。



他教科等との関連

【体育】

「マラソン」や「縄跳び」など、継続して取り組む。

【特別活動】

卒業式で自分の夢や目標を発表する。

道徳教育

【青の洞門】

より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。



心のノートとの関連

「目標に向かう道にはいろいろある。」
(5・6年用 18-19頁)

第3章

「キャリア教育」の教材



▲
低学年
▼

【**基本的生活習慣**】

1年

- No.1 ようちえんとしうがっこ
- No.2 キャラクターのいいところさがし
- No.3 けんかして なかなおり
- No.4 ニコちゃんルールをきめよう

2年

- No.5 きゅうしょくをのこしてもいい?
- No.6 いやだなって思うこと①
- No.7 ほしのハート
- No.8 やくそく

▲
中学年
▼

【**役割・協力**】

3年

- No.9 いやだなって思うこと②
- No.10 おうちのしごと
- No.11 自転車の安全マップづくり
- No.12 わくわく自分ツアーア

4年

- No.13 しかられなくてはならないこと
- No.14 学校ではたらいている人たち
- No.15 “ねがい”と“やくそく”
- No.16 1/2 成人式をしよう

▲
高学年
▼

【**自己有用感・責任**】

5年

- No.17 学校づくりの提言
- No.18 わたしたちのアクションプラン
- No.19 ケーキ屋さんを経営しよう
- No.20 夢の教室 JFA こころのプロジェクト

6年

- No.21 サッカーと野球
- No.22 自由ってなに?
- No.23 未来予想図～中学生にインタビュー～
- No.24 よのなかの仕事



ようちえんとしょうがっこく

ねらい

小学校になってからできるようになったこと、自分でできるようになったことを考え、自分のことは自分でしようとする態度をはぐくむ。

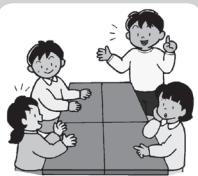


主に身につけさせたい力

社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



幼稚園と小学校のちがいを考える。

絵カードを用意し、発言にあわせて、黒板に貼っていく。

小学生になってから、できるようになったことを保護者といっしょに考える。

「学校」や「家」でできるようになったことを考えさせる。

保護者の方の感想を聞く。

保護者の方に、子どもが小学校に入ってからかわったことを話していただく。

みんなの意見を聞いて、これからできるようになりたいこと、がんばりたいことを考える。

これからがんばりたいことを発表させる。

一人でできるようになったこと、自分でできるようになったことを選び、ワークシートに貼りつけていく。

子どもたちが気づいていない成長を伝えてもらう。

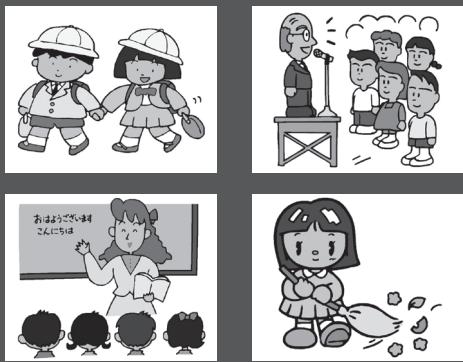
自分でがんばりたいことを選び、ワークシートに貼りつけていく。

指導の工夫

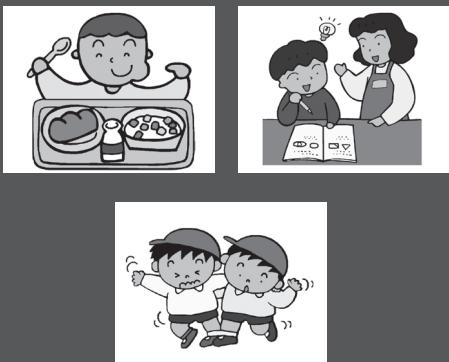
板書例

ようちえんとしょうがっこう

できるようになったこと



できるようになりたい !!



■ 準 備

絵カード（掲示用、ワークシート用）、はさみ、のり

■ ゲ ス ト

保護者（授業参観）※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料



ようちえんと しょうがっこう

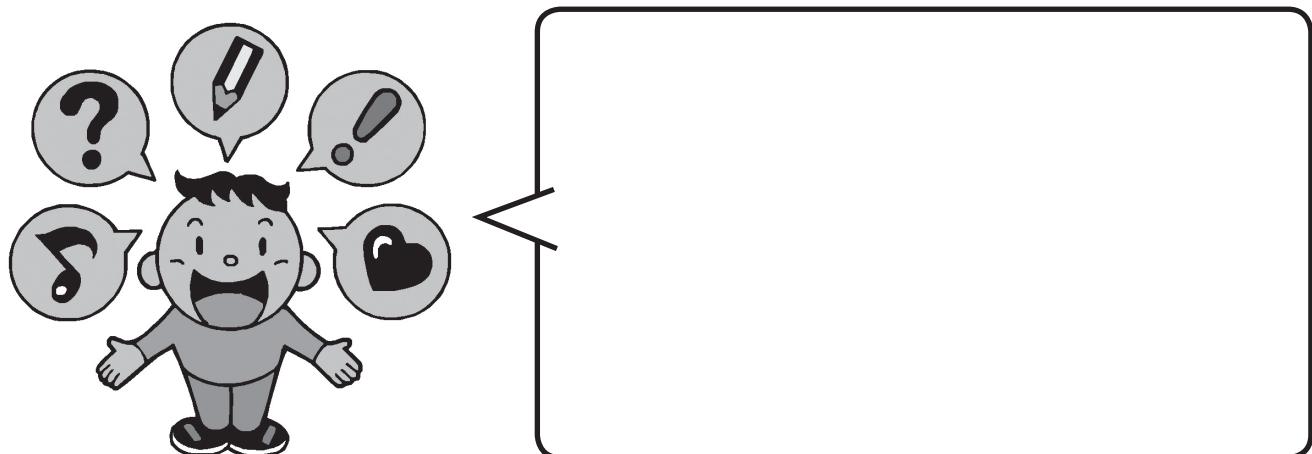


1) ようちえんと しょうがっこうは どこがちがう?



2) 1ねんせいになって できるようになったことは?

3) これから できるようになりたい（がんばりたい）ことは？



【しりょう】 がっこさせいかつカード

そうじを きちんとする 	きゅうしょくを こさずたべる 	ともだちと いっしょにうんどう する 	みんなと なかよくする
いえの てつだいをする 	ひとのはなしを きちんと聞く 	いえで べんきょうする 	きちんと じゅぎょうをうける
せんせいやともだちに あいさつをする 	つかったものの あとかたづけをする 	ふくのきがえを ひとりでする 	きょうだいの めんどうをみる



キャラクターのいいところさがし

ねらい

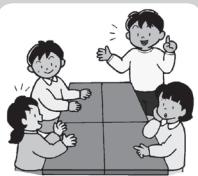
みんなが好きなキャラクターやまわりの人のいいところをさがし、そのよさを自分にも生かそうとする。



主に身につけさせたい力 人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



自分の好きなキャラクターを発表しあう。

自由にどんどん発表させる。できるだけいろいろなキャラクターを出させる。

人気のキャラクターのいいところを考える。

1~2のキャラクターを取り上げ、いいところについて話し合わせる。

みんなのまわりに、同じようないいところがある人をさがす。

いいところさがしのすごろくをする。

先生（保護者）の好きなキャラクターを聞く。

先生（保護者）が好きなキャラクターとその理由を子どもたちに聞かせる。

予想されるキャラクターの絵を準備しておく。

黒板に大きなすごろくを貼り、みんなですすめながら、そのいいところがある人を自分たちのまわりから探していく。

キャラクターのいいところ（かっこよさ）を自分に生かそうとする意欲を育てる。



板書例

キャラクターのいいところさがし



さとしのいいところ！

- ・一しょうけんめい
- ・みんなにやさしい
- ・あきらめない

スタート		こまつたときにつけてくれる人	いろんなことをしつている人	1かいやすみ
うんどうがとくいな人	3マスもどる！			べんきょうができる人
ちからもぢな人		あきらめずにさいごまでがんばる人		ともだちのことをよくかんがえる人
ゆうきのある人				スタートにもどる
やさしい人				うたがうまい人
さんすうがとくいな人	2マスすすむ！	だれとでもなかよくできる人		とうばんのしごとをきちんとする人
				1マスすすむ！

■ 準 備

キャラクターの絵、掲示用すごろく、さいころ

■ ゲ ス ト

保護者 ※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料



キャラクターのいいところさがし



1) キャラクターのいいところさがし

●キャラクターのなまえ

●キャラクターのえ



●いいところ

●キャラクターのなまえ

●キャラクターのえ

●いいところ

2) いいところさがし すごろく

- はんたいこうで、すごろくゲームをします。
- じゅんばんに、さいころをふって、でためのかずだけ すすみます。
- さいころをふったひとは とまったところにかいてあるようなひとを しょうかいしてください。
- (ちゅうい) しょうかいできなかつたばあいは すすめません。
- いちばんはやく ゴールしたはんが ゆうしょです。

スタート		こまつた ときにつ たすけて くれる人	いろんな ことを しつている人	1かい やすみ
うんどうが とくいな人	3マス もどる！			べんきょうが できる人
ちから もちな人		あきらめずに さいごまで がんばる人		ともだちの ことを よく かんがえる人
ゆうきの ある人			ゴール	スタートに もどる
やさしい人				うたが うまい人
さんすうが とくいな人	2マス すすむ！	だれとでも なかよく できる人		1マス すすむ！

けんかして なかおり

ねらい

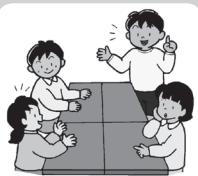
友だちとけんかしたあとの気持ちや仲直りのしかたを考え、身近な友だちと仲よくし、助け合う関係を築く力を育てる。



主に身につけさせたい力 人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



友だちとどのようにして仲よくなったのかを考える。

友だちとどのようにして仲よくなったのかを発表させ、友だちを作る方法としてまとめる。

友だちとけんかをしたときのことを考える。

- ①なぜけんかをしたのか。
- ②どのようにして仲直りをしたのか。

けんかをしているときの気持ちや、仲直りするまでの気持ちも思い出させる。

仲直りの仕方を考えて発表する。

自分の経験をもとに、仲直りの仕方を考えさせ、発表させる。

ポケモンのうた「ハイタッチ」をみんなで歌う。

歌詞を配り、みんなで歌う。

友だちをうまくつくれない児童に配慮すること。

時間が立つにつれて仲直りがしたいという気持ちが大きくなることをおさえる。

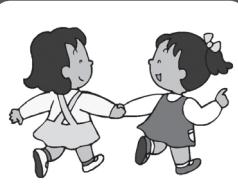
仲直りの方法は、友だちを作るときと同じ方法であることや、そのときよりも勇気がいることに気づかせる。

けんかと仲直りを繰り返して、本当に仲がよい友だちになることをおさえる。

指導の工夫

板書例

けんかして なかなおり



なかよくなるために

- ・やすみじかんにあそぶ
- ・そうじのときにはなす
- ・あさ、「あはよう」をいう
- ・こまっていたらたすける

けんかのとき

- ・はらがたつ
- ・はなしたくなる
- ・かなしい

けんかしたあと

- ・さみしい
- ・はなしたくなる
- ・またあそびたい
- ・はずかしい

なかなおりのために

- ・一人でいるときにはなしかける
- ・「おはよう」とあいさつする
- ・こまっているときにこえをかける
- ・じぶんのわるかったところをあやまる

■ 準 備

ポケモンのうた「ハイタッチ♪」と歌詞

■ ゲ ス ト

■ 参 考 資 料



けんかして なかなおり

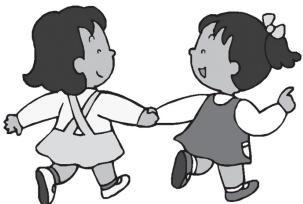


1) ともだちのことを かんがえてみましょう。

① ともだちのなまえ

② いつから ともだちですか。

③ どのようにして なかよくなったのですか。



※ ともだちができると けんかすることもあるよね。

④ なぜ けんかになったのですか。



⑤ どのようにしてなかなおりしましたか。



2) けんちゃんが、きのうともだちとけんかをしてしまいました。
どうしたら なかなおりできるのかを けんちゃんに
おしえてあげましょう。





ニコちゃんルールをきめよう

ねらい

みんなが楽しく遊ぶためには、「遊びのルール」が必要であることを理解する。

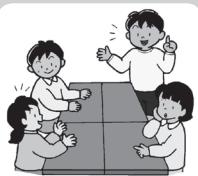


主に身につけさせたい力

社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



「ええ、そんなんいつめたん」
のお話を聞く。

登場人物を確認するととも
に板書を工夫し、場面設定
を十分に理解させる。

なぜ、もめたのかを考える。

「なぜ、もめたのか」その
原因を考えさせる。

どうすればみんなが楽しく遊
べるのかを考える。

出てきた答えを「ニコちゃん
ルール」と呼ぶことにする。

「わたしあっかり」の場合の
ニコちゃんルールを考える。

班で考えて発表する。

先生がお話を読む。

班で話し合わせてみ
る。

みんなで決めたルール
で遊んでみる。

指導の
工夫

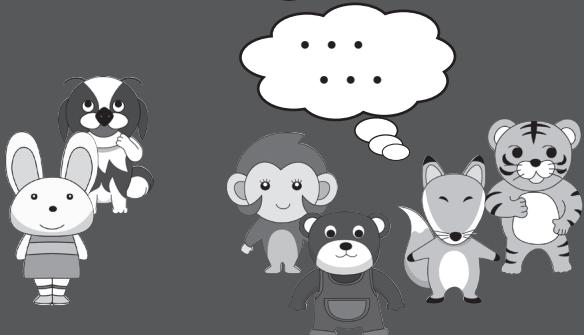
板書例

ニコちゃんルールをかんがえましょう

ドッジボール



じゃんふえ



■ 準 備

■ ゲ ス ト

■ 参 考 資 料

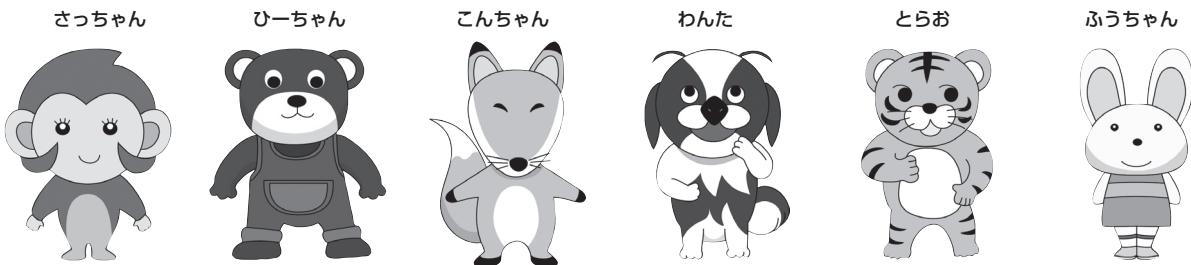


ニコちゃんルールをきめよう



1) 「ええ、そんなんいつきめたん」についてかんがえましょう。

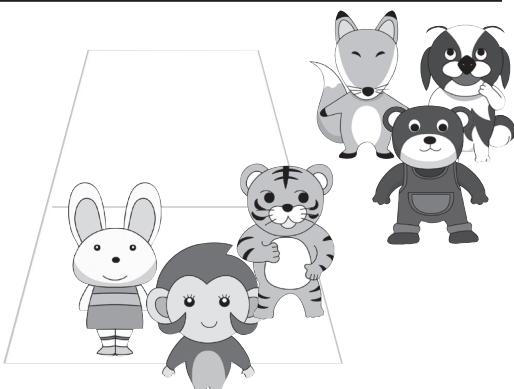
(おはなしに でてくる どうぶつ)



ええ
そんなん
いつきめたん

きょうもみんなであそんで
います。
あそびは「ドッジボール」に
きました。
わんたとこんちゃんひー
ちゃんはボールをとりにいきま
した。
のこったさっちゃんとうお
ふうちゃんの3にんで、「チー
ム」と「あそび」と「ルール」
までかつてにきめました。
3にんがかえってみると、あ
そびは「ふつかつドッジ」にか
わり、すでに「チーム」もきまつ
ていました。
3にんはかつてにきまつてい
ることにおどろきましたが、と
にかくあそびをはじめました。
しかし、はじまってすぐにも
「あ」とかねりてしましました。

- どうしてもめてしまったのでしょうか？



- どうすれば、たのしくあそぶことができるのでしょうか。
ニコちゃんルールをかんがえてみましょう。

2) 「わたしばっかり」のばあいのニコちゃんルールをかんがえよう

わたしばっかり

きょうもみんなであそんでいます。

きょうはみんなで『じゃんふえ』をしてあそぶことにしました。

『じゃんふえ』は、おにがつかまえてもじゃんけんに負ければまたにげられるおにじっこです。

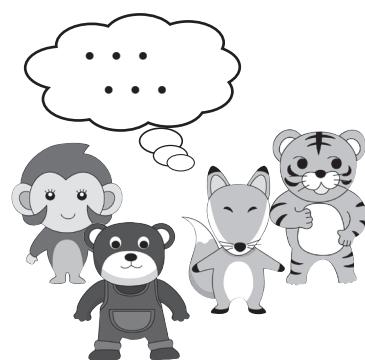
わんたがさいしょおにになりました。

わんたはふうちゃんをおいかけてつかまえました。でもじゃんけんでまけたのでふうちゃんはにげることができました。

でも、わんたはまたふうちゃんをおいかけました。

なんどまけてもわんたはふうちんばかりをおいかけました。とうとうふうちんはおこりだし、みんなもおもしろくないといだしました。

- どうすれば、たのしくあそぶことができるのでしょうか。
ニコちゃんルールをかんがえてみましょう。





きゅうしょくをのこしてもいい?

ねらい

給食を残すことの善し悪しについて考えたり、調理員の方や栄養教諭のお話を聞くことを通して、好き嫌いをなくすことの大切さに気づく。



主に身につけさせたい力

未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



先週の給食メニューを見て、
すきなおかずときらいなおかずを分ける。

「なぜ、きらいなのか」「きらいなおかずはどうしたのか」を聞いてみる。

きらいなおかずでも食べた児童にはその理由をたずねてみる。

↓
調理員さんに、残った給食の量を聞く。

残った給食の写真も見せる。

健康上の理由で食べることができない児童に配慮すること。

↓
給食を残すことについて、意見を発表する。

「いいか」「悪いか」「しかたがない」等の意見とその理由を出させる。

給食センターの見学などと関連させることも考えられる。

↓
栄養士や栄養教諭、調理員さんからお話を聞く。

給食の大切さや、みんなに食べてもらうための工夫、苦労していることなどを話していただく。

指導の工夫

板書例

きゅうしょくをのこしてもいい？



どれくらいのこった？



はい



はい



はい



はい



はい



■ 準 備

1週間の献立・残量

■ ゲ ス ト

栄養士 給食調理員

■ 参 考 資 料

日本は世界で一番、食べ物を無駄に捨てている！？

昔は、「ごちそうさま」のあとに、茶碗にご飯粒がついていると「もったいない」と叱られたものです。日本も40年ぐらい前までは食料が豊富ではありませんでした。一粒のお米でも、無駄にはできなかったのです。ところが、今では食べ物の量も種類も豊富にあり、食事を平気で残したり、古くなった食品はポンポンと気軽に捨ててしまう人がほとんどです。

現代では、まだ食べられる食品や食べ残し食品を含めて、日本全国で1年間に2189万トンもの食品廃棄物が出ています。国民1人当たりだと171kgにもなります。日本は、世界で一番食べ物を捨てている国だといわれているのです。



きゅうしょくをのこしてもいい？



1) 先しゅうのきゅうしょくのメニューをすきなものと きらいなものにわけてみましょう

先週のこんだて	すき (○) きらい (×)	ざいりょう
	<input type="checkbox"/> 牛にゅう <input type="checkbox"/> ツイストパン <input type="checkbox"/> ブロッコリーのクリームに <input type="checkbox"/> ストロー・ポテトサラダ <input type="checkbox"/> スイカ	
	<input type="checkbox"/> 牛にゅう <input type="checkbox"/> ごはん <input type="checkbox"/> 麻婆豆腐 <input type="checkbox"/> あげえび・シューマイ <input type="checkbox"/> もやしのナムル	
	<input type="checkbox"/> 牛にゅう <input type="checkbox"/> 冷麺 <input type="checkbox"/> きなこ・ポテト <input type="checkbox"/> おひたし	
	<input type="checkbox"/> 牛にゅう <input type="checkbox"/> レタスチャーハン <input type="checkbox"/> ちくわチーズロール <input type="checkbox"/> フルーツヨーグルト	
	<input type="checkbox"/> 牛にゅう <input type="checkbox"/> ごはん <input type="checkbox"/> ジンギスカン <input type="checkbox"/> たたきキューリ <input type="checkbox"/> 冷凍みかん	

2) きゅうしょくをのこすことについて、あなたはどう思いますか？



3) えいようしさんやちょうりいんさんの話を聞いてわかったことは？





いやだなって思うこと①（病院）

ねらい

病院の中の人を見て、いやだと感じるところをみんなで出し合うことを通して、まわりの人にめいわくをかけることや、きまりをやぶることを「いやだ」と感じる心を育てる。



主に身につけさせたい力

社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



病院の受付の絵を見て、いやだなって思うところに○をつける。

いくつ○をつけてもいいことを説明する。

絵の中に「いやだ」と思う場面がたくさんあることを確認する。

なぜ「いやだ」と思ったのかを書く。

書かさずに発表させてもかまわない。

だれかにめいわくをかけているのを見たときには「いやだ」と感じる心がみんなの中にあることをおさえる。

保護者がいやだなって思うところを聞く。

参観している保護者の意見を聞く。

「いやだ」と感じる心がふえることは、みんなの心の成長であることを話す。

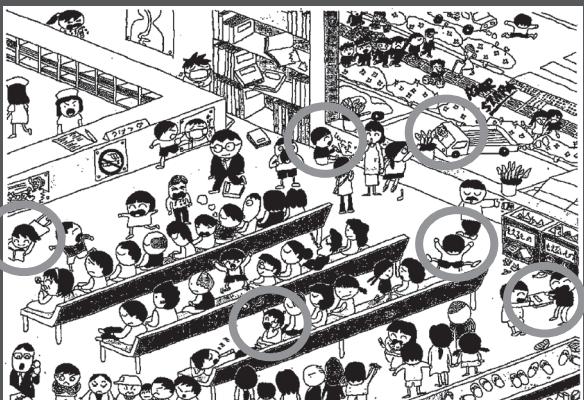
みんなのまわりで感じる「いやだ」を出し合う。

学校の中や校区などで絵と同じようかことがないか考えさせる。

指導の工夫

板書例

いやだなって思うこと



● 「いやだ」と思う理由

- ・みんなのじゃまになるから。
- ・じぶんかってだから。
- ・めいわくだから。
- ・うるさいから。

■ 準 備

■ ゲ ス ト

保護者 ※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料

道徳教育 No.569 (2006 1月号) 明治図書

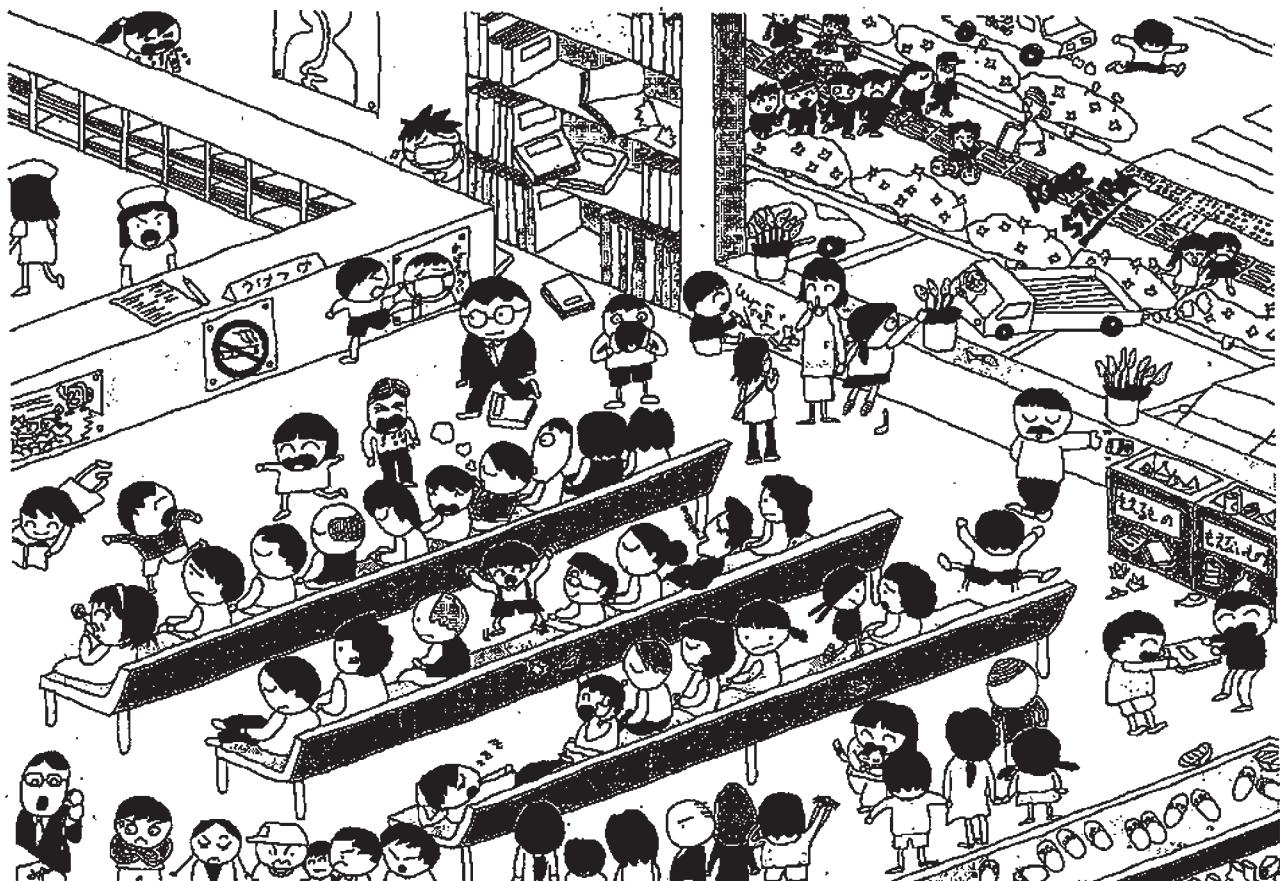
「いやだ」で子どもの心を揺さぶる

配布
資料

いやだなって思うこと



1) 絵の中で、いやだなって思うところに赤で○をつけましょう。

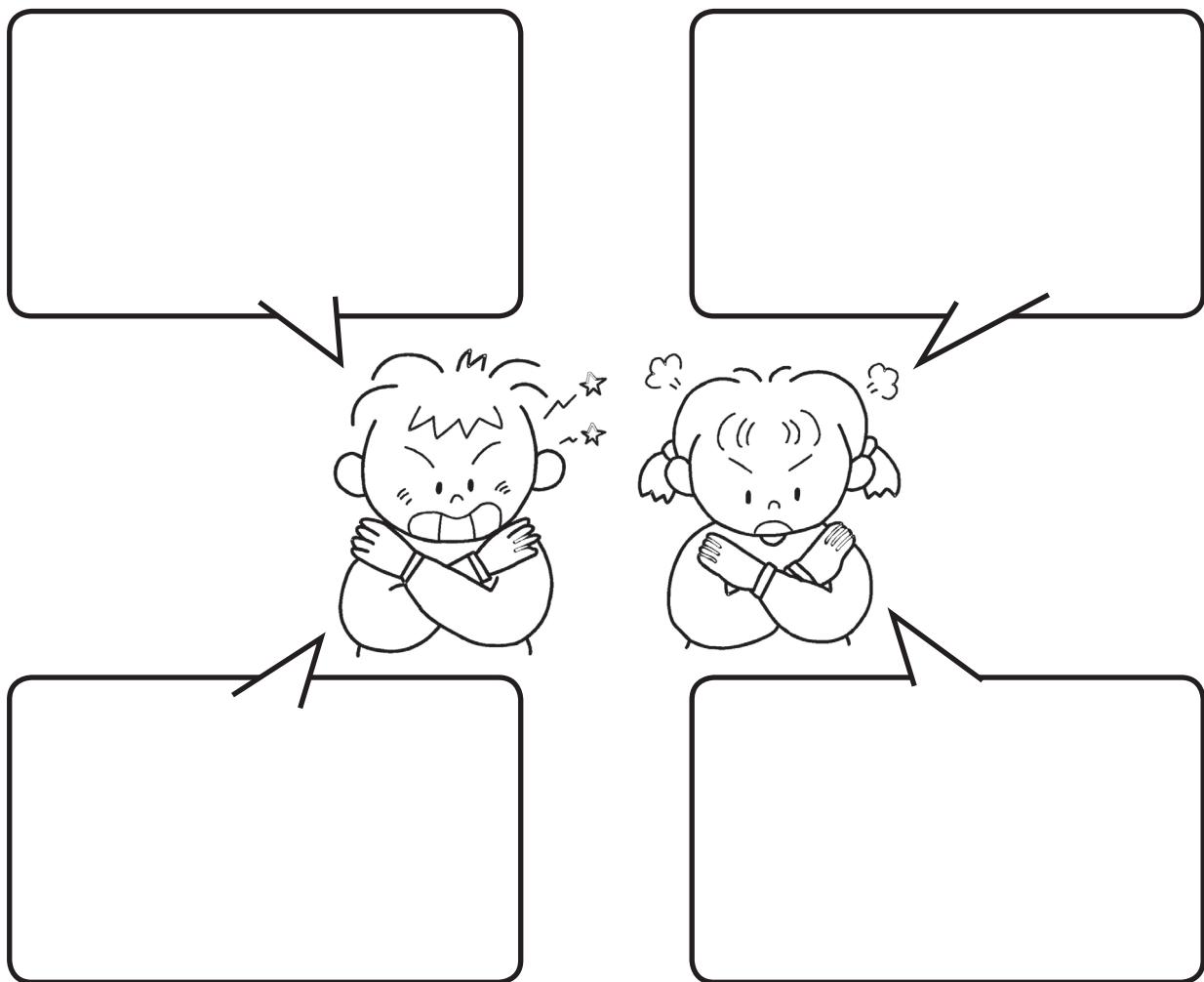


出典「道徳教育」2006.1月号

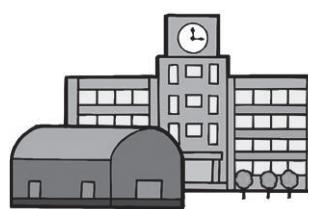
☆ いくつ○をつけましたか () こ

☆ おうちの人気が見つけた数 () こ

2) どうして「いやだ」と思ったのですか。



3) みんなのまわりで「いやだな」って思うことを書いてみましょう。

A large empty speech bubble for writing.

ほしのハート

ねらい

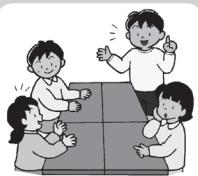
まわりの人のかかわりによって、気持ちが変化することに気づき、お互いが気持ちよく生活するにはどうすればいいのかを考える。



主に身につけさせたい力 人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



1日の気持ちを表すカードを選んで、表に貼る。

時間を記入し、そのときの気持ちを表すカードを表に貼らせる。

その気持ちになった理由を書く。

なぜ、そんな気持ちになったのかを記入させる。

記入した理由を発表する。

いくつかの気持ちを取り上げ、理由を書いている児童に発表してもらう。

「怒り(いかり)」「悲しみ(かなしみ)」の気持ちがおさまったときの理由を思い出して発表する。

「怒り」の気持ちがおさまった理由や、「悲しみ」の気持ちがやわらいだ理由を聞く。

表を作らせた後、気持ちはいろいろ変化することをおさえる。

気持ちの変化は誰にでもあることや、それをコントロールすることが大切なことにもふれておく。

まわりの人がかかわっていることをおさえる。

指導の工夫

板書例

ほしのハート

いつ	きもち	なぜ
		おかあさんにはやく おきなさいって しかられた
		さかあがりができて せんせいにほめられた
		おとうととけんかした



- ・ともだちがなぐさめてくれた
- ・なんとなく



- ・おとうとがごめんといった
- ・がまんした

■ 準 備

星のハート

■ ゲ ス ト

■ 参 考 資 料

「星のハート」（感情を受けとめ、表現する教材）

<http://www.osaka-c.ed.jp/index.html>

「いじめ対応プログラム」

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/ijime/ijimetaioujissen.html>



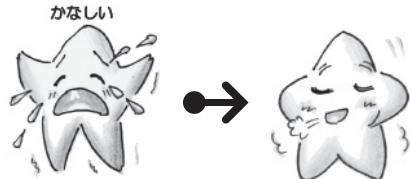
ほしのハート



**1) きのう 1日の気もちをあらわすカードをしりょうの中から
えらんではりましょう。**

いつ	きもち	なぜ

2) 「いかり」や「かなしみ」の気持ちがおさまったのはなぜですか？



【資料】 ほしのハート



やくそく

ねらい

学校や家の約束を守ることで、みんなが楽しく、安全に生活できることに気づく。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



学校の中の約束やきまりを確認する。

みんなが知っている学校のきまりや約束ごとを出させる。

ふだん、家人としている約束を発表する。

「時間」「お金」「勉強」など、例をあげながら考えさせる。

学校や家には、なぜやくそくがあるのかを考える。

それぞれのきまりや約束に対して守らなかつた場合のことを考えさせる。

門限の時間が近づいてきたとき、友だちに「もう少し遊ぼう」と言わわれたらどうするかを考える。

多様な意見を引き出し、それらを肯定的に受け止める。

きまりや約束は「安全に過ごすため」「気持ちよく生活するため」に決められていることに気づかせる。

自分、相手、まわりの人のために、どうすればいいのかを考えさせる。

指導の工夫

板書例

やくそく



●なぜ、やくそくがあるの？

- ・みんなとなかよくするため
- ・あぶないから
- ・じぶんのため
- ・がっこうをきれいにするため



もうちょっと
あそぼう



そろそろ
帰らないと

あそぶ

- ・あそびたいから
- ・友だちにわるいから
- ・少しぎらいならいい

帰る

- ・しかられるから
- ・くらくなるから
- ・あぶないから

■ 準 備

■ ゲ ス ト

保護者 ※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

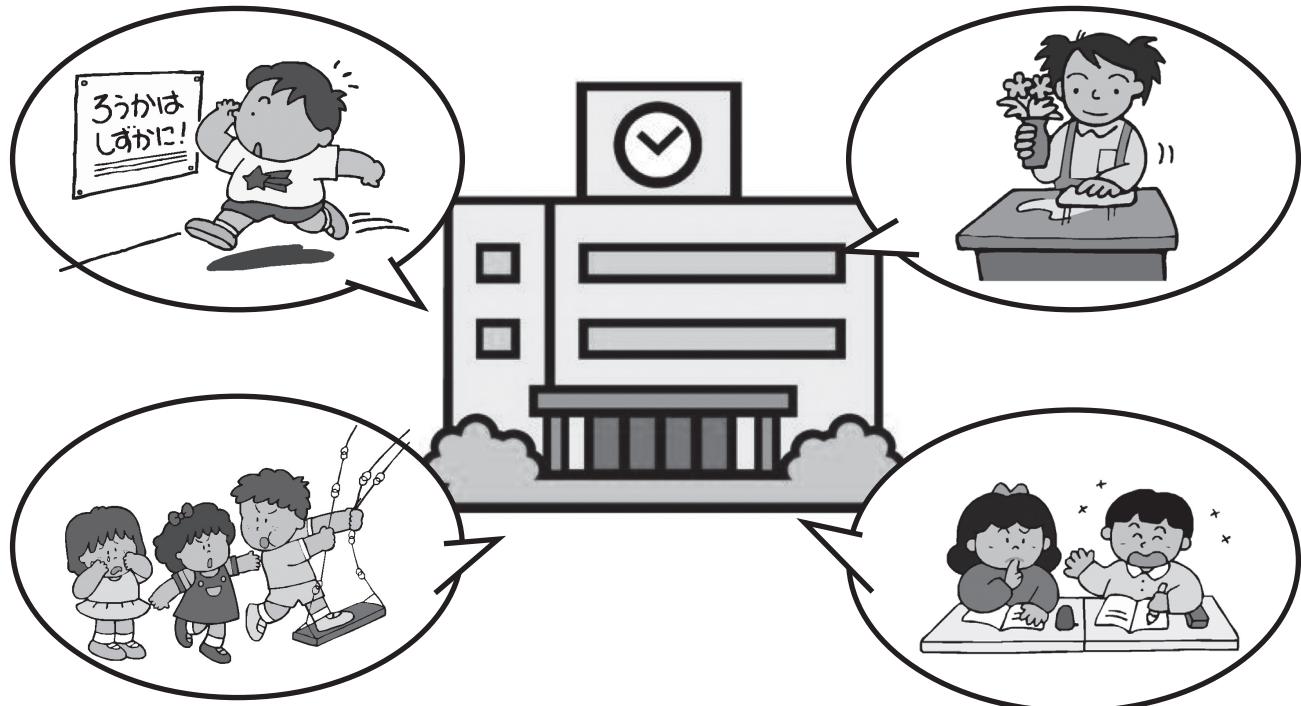
■ 参 考 資 料



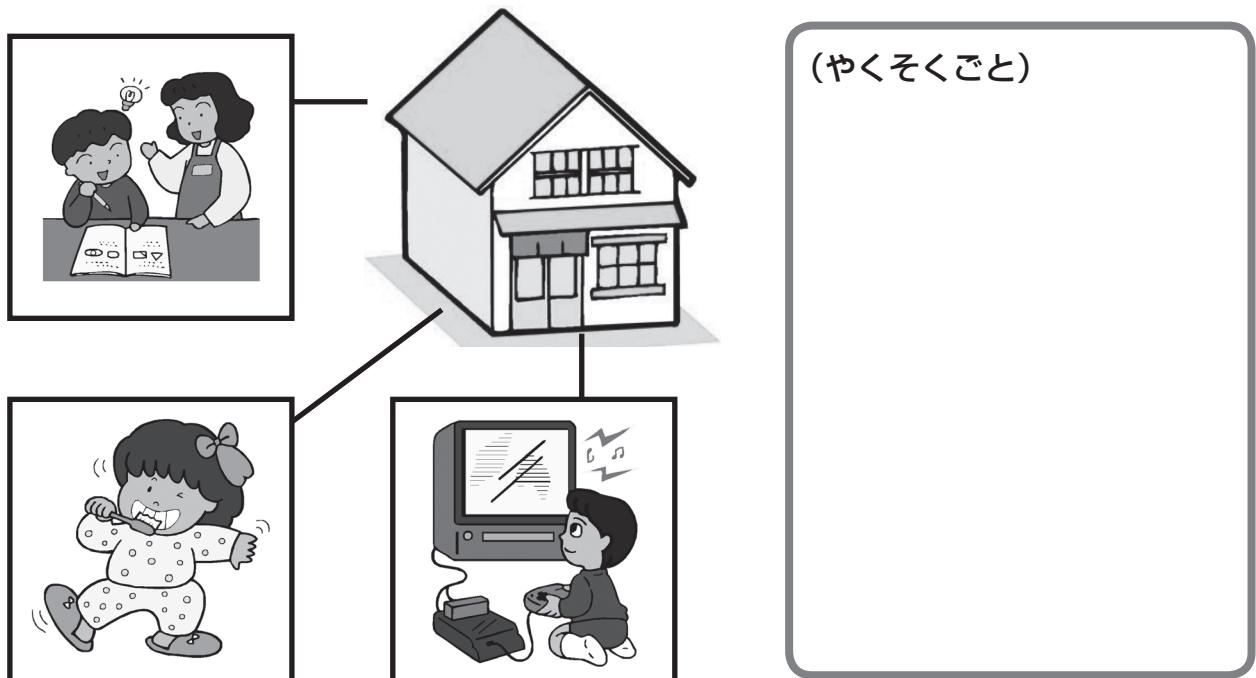
やくそく



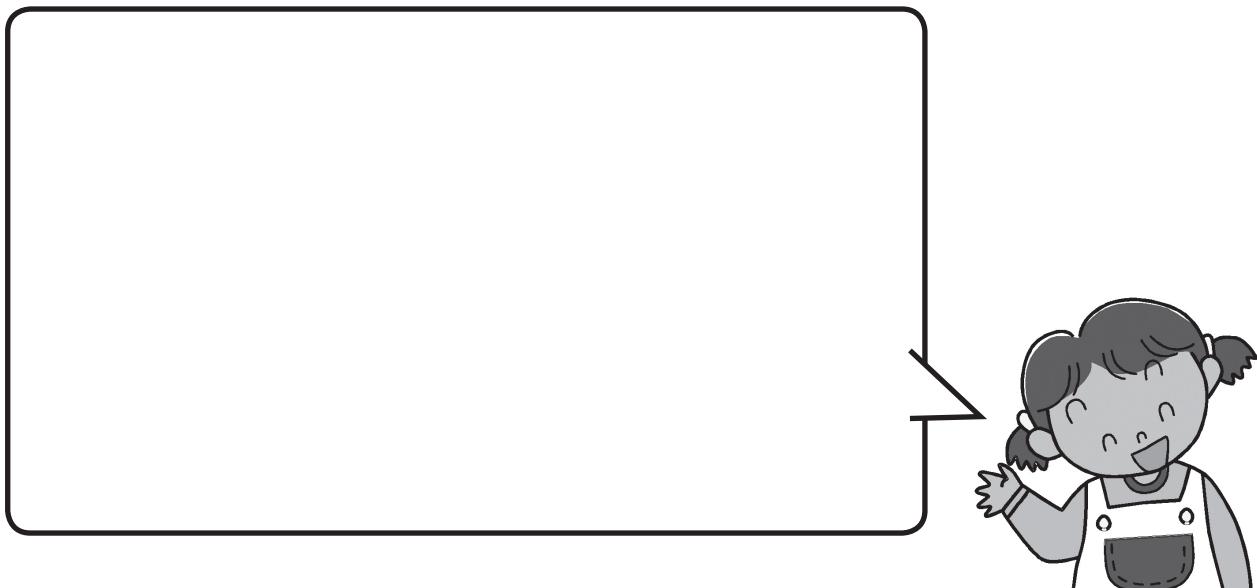
1) 学校には、どんなやくそくやきまりがありますか。



2) 家の人と、やくそくしていることって、なんのことですか。



3) 学校や家には、なぜやくそくやきまりがあるのでしょう。



4) お家人とのやくそくの時間が近づいてきたとき、 友だちに「もう少しあそぼう」と言われたら、 あなたはどうしますか。



(はじめのい見)

(みんなのい見を聞いたかんそう)



いやだなって思うこと②(教室)

ねらい

教室の絵を見て、「いやだな」って思うところや、「笑っている人」のことを考えることを通して、みんなが楽しく安心して生活できるクラスにするためにはどうすればいいのかを理解する。

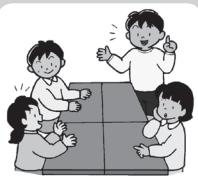


主に身につけさせたい力

人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



教室の絵を見て、いやだなって思うところに○をつけ、その理由を書く。

机間巡回をして、どこに○をついているのかを見る。

個人についているのか、グループについているのかも見ておく。

○をつけたところを発表する。

いろんな場面を取り上げ、それぞれの理由を出させる。

1年生の学習を思い出させ、いやだなって思うところが多くなることは、心が成長していくことをもう一度押さえる。

教室の中で「笑っている人」の数を数える。

絵の中の子どもの表情に注目させ、笑っている人の数を数えさせる。

A～Dの4枚の絵を見て、気づいたことを話し合う。

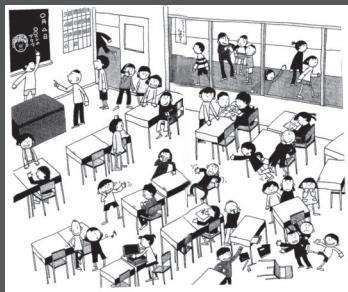
人を傷つける「笑い」があることに気づかせる。

いじめは「笑い」ながら起こり、「笑い」ながら広がっていくことを話す。

指導の工夫

板書例

いやだなって思うこと（教室）



→ 気になる理由

- ・いやがっているひとがいる
- ・かなしんでいるひとがいる



B、Cはみんながたのしそう
A、Dはたのしくない人もいる

■ 準 備

■ ゲ ス ト

■ 参 考 資 料

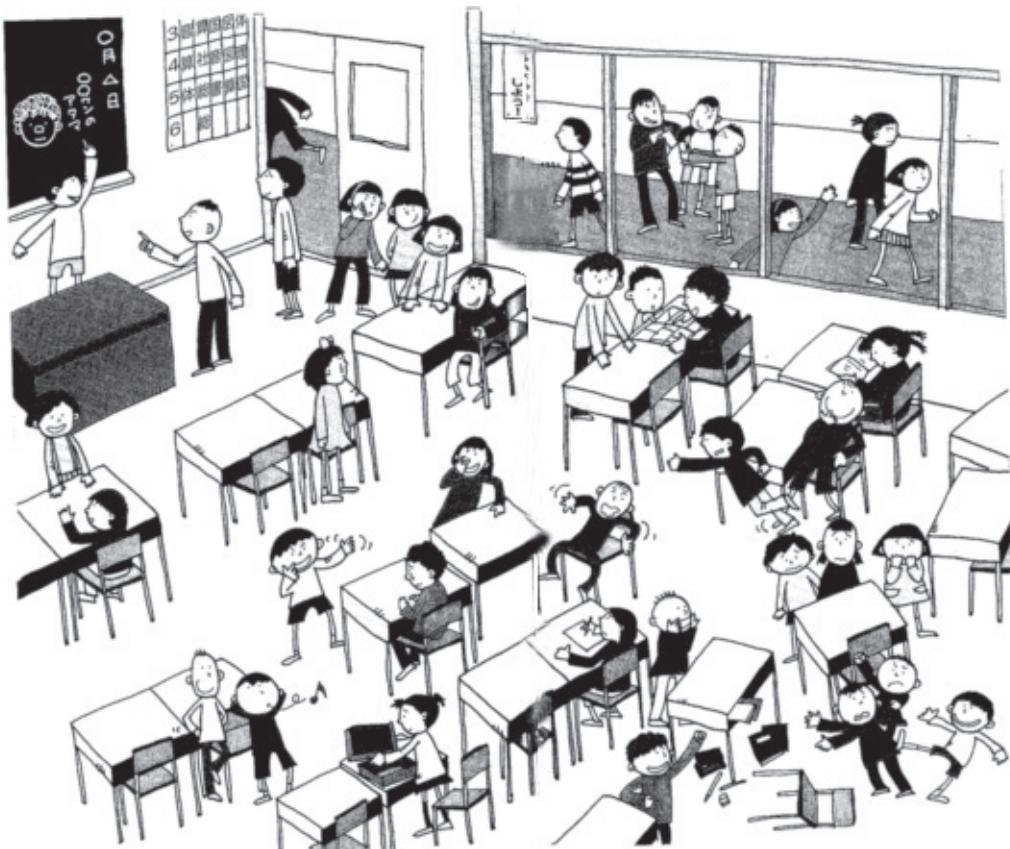
道徳副読本 みんなで考えるどうとく（日本標準）
「いじめ」なんてしたくない



いやだなって思うこと②



1) 下の絵の中で、いやだなって思うところに○をつけましょう。



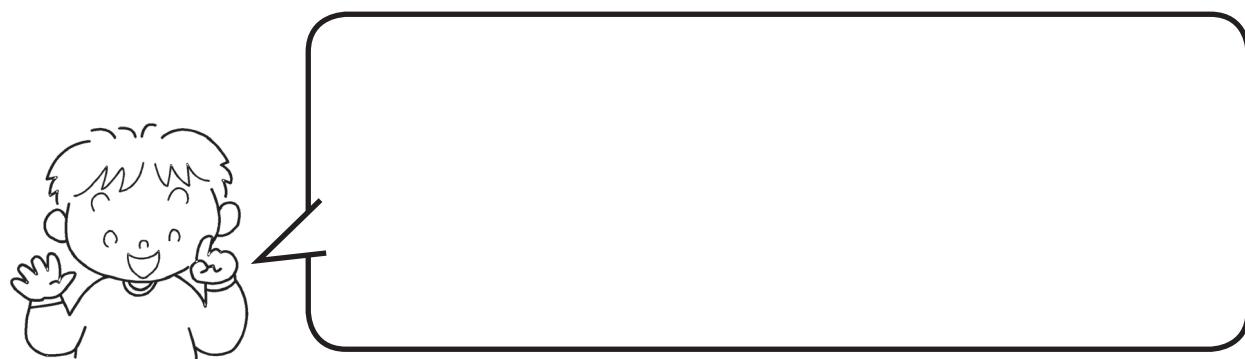
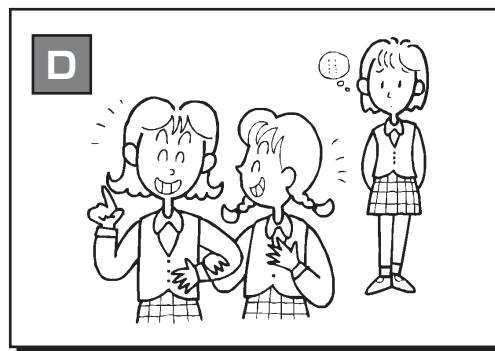
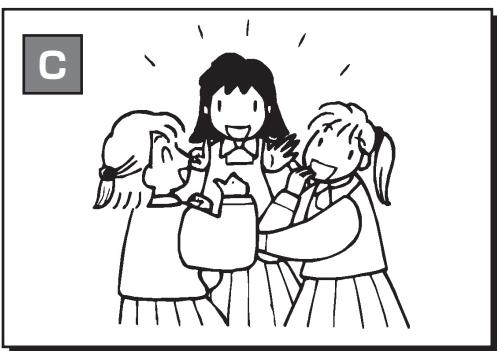
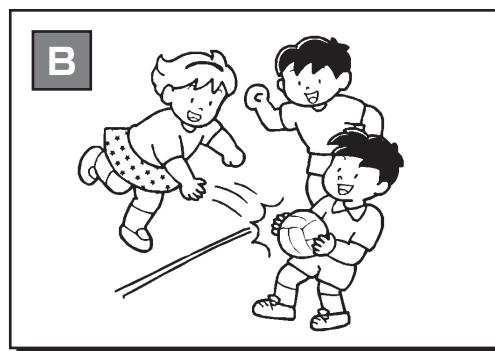
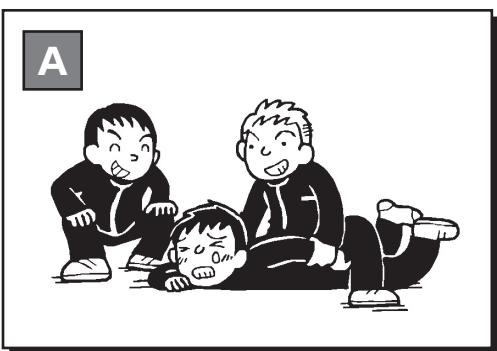
出典 日本標準3年『みんなで考えるどうとく』「いじめなんてしたくない」林幸作

2) いやだなって思う理由はなんですか？



★ 絵の中にわらっている人は何人いますか？ () 人

3) 次の絵を見て、「わらい」について、気づいたことを話してみましょう。



4) 今日のじゅ業のふりかえり

おうちのしごと

ねらい

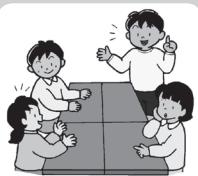
家の中の仕事について考えることを通して、家族の生活を支えるいろいろな仕事があることに気づくとともに、家族の一員として、役割を分担しようとする態度をはぐくむ。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



家の中には、どんなしごとがあるのかを考える。

家のしごとの種類を考えさせ、表にまとめさせる。

班に分かれて、ゲスト(=保護者)にインタビューする。

保護者から家のしごとにかかる時間、大変さを聞き取り、表にまとめさせる。

1週間のお手伝い計画を立てる。

お手伝い参加表をつけさせる。

お手伝いをした感想を書き、発表する。

感想を書かせた後、発表させる。大変だったこと、まわりの人とのかかわりなどをふりかえらせる。

それぞれのしごとのたいへんなところを考えてから、インタビューをする。

保護者からも感想を集め、紹介する。

指導の工夫

板書例

おうちのしごと



しゅるい	時間	たいへんな点	ランク
食事のじゅんび	60分	かんがえるのがたいへん	2
せんたく	20分	まいにちたくさんある	4
せんたくほし	30分	冬はさむい	5
そうじ	40分	こしがいたくなる	1
買い物	60分	たくさん買うとおもい	6
かたづけ	30分	水がつめたい	3

■ 準 備

保護者の感想

■ ゲ ス ト

保護者 ※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料



おうちのしごと



1) 家の中のしごとについて考えましょう。

(1) 家の中のしごとのしゅるいを考えましょう。

(2) おうちの人に入erviewをしましょう。

1 それぞれのしごとにかかる時間はどれくらいですか？

2 それぞれのしごとのたいへんな点はどんなところですか？

家の中のしごとのしゅるい	しごとにかかる時間	たいへんな点	たいへん度ランキング
食事のじゅんび			
食事のかたづけ			
部屋のそうじ			
トイレのそうじ			
ふろのそうじ			
家のまわりのそうじ			
せんたく			
せんたくものほし			
せんたくものの取り入れ			
買い物の			
子育て			
その他の用事			

2) お手つだいさんか表をつけてみましょう。 (1週間)

しごとのしゅるい	お手つだいさんか	しごとのしゅるい	お手つだいさんか
食事のじゅんび	○○○○○○○○	せんたく	○○○○○○○○
食事のかたづけ	○○○○○○○○	せんたくものほし	○○○○○○○○
部屋のそうじ	○○○○○○○○	せんたくものの取り入れ	○○○○○○○○
トイレのそうじ	○○○○○○○○	買い物	○○○○○○○○
ふろのそうじ	○○○○○○○○	子育て	○○○○○○○○
家のまわりのそうじ	○○○○○○○○	その他の用事	○○○○○○○○

3) お手つだいをした感想を書きましょう。



4) 今日のじゅ業のふりかえり

（This section contains four horizontal dashed lines for writing responses to today's assignment. The first line is explicitly labeled “今日のじゅ業のふりかえり” at the top, while the other three are blank lines for the student to fill in.)



自転車の安全マップづくり

ねらい

子どもたちが、校区内の危険箇所を見つけながら、自転車の安全について自ら考え、交通ルールとマナーの大切さについて学ぶ。



主に身につけさせたい力

社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



交通事故に関する説明を聞く。

先生の経験や、事故のニュースも取り上げながら、交通安全について説明する。

自転車にのっているときにはあぶない目にあったことがないかを考えさせる。

いつ、どこで、どのようなあぶない思いをしたか、話し合わせる。

学校のまわりであぶないと思うところをみんなでさがす。

あぶないと思う場所と、その理由を発表させ、その場所にマークをつけていく。

事故をふせぐには、どうすればいいのかを話し合わせる。

児童の意見をもとに、自転車にのるときのルールやマナーを考えさせる。

大きな事故が1件起こった場所では、29件の小さな事故があり、そこでは300件のヒヤリとした体験があるといわれていることを説明する。

道路のようすや、道幅、スピードなど、くわしく思い出させる。

トヨタ交通安全モビリタのサイトを活用し、児童の意見を記入する。

自転車の交通ルールを配付し、説明する。



板書例

自転車の安全マップづくり

1けん 大きなじこ

小さなじこ
29けん

ヒヤリとした体けん
300けん

あぶないと思う場所
ヒヤリとしたことがある場所



■ 準 備

パソコン、プロジェクター、スクリーン

■ ゲ ス ト

警察官、交通安全指導員

■ 参 考 資 料

こどもビリタ（グループ学習プログラム）「自転車の安全マップをつくろう！」

トヨタ交通安全センター モビリタ

<http://www.toyota.co.jp/mobilitas/kodomobi/>



自転車の安全マップづくり



1) 道であぶないと思ったことはありますか？

ア. どんなときでしたか？

- 学校の行きかえり
- あそびに行くとき
- 買いものに行くとき
- 家にかかるとき
- 友だちと走っていたとき

イ. どんなじょうきょうでしたか？

- いそいでいたとき
- 自転車にうまくのれなかつたとき
- 夕がた、くらくなってきたとき
- 車や歩いている人をさけようとしたとき
- そのほか

ウ. どんな道でしたか？

- こうさ点
- セまい道
- ほどうのある道
- ほどうのない道
- さか道
- カーブしている道

エ. どんな場所でしたか？

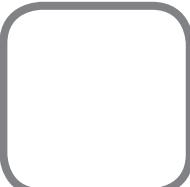
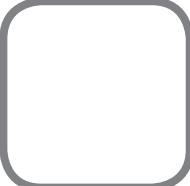
- お店のちゅうしゃ場のあたり
- 公園のまわり
- 人どおりの多い商店がい
- そのほか



2) 学校のまわりであぶないと思うところはどこですか？



3) じこをふせぐにはどうすればいいのでしょうか？

(場所)	(ふせぐ方ほう)
	
	
	

**どこの場所でも
たいせつなこと**



4) 今日のじゅ業のふりかえり

わくわく自分ツアー

ねらい

自分自身のよいところや成長したところを考え、自分についての理解を深めるとともに、4年生に向けての目標を立てる。



主に身につけさせたい力 人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



「わたしのイメージマップ」を記入する。(1学期)

思い浮かぶものをイメージマップに記入させる。

1学期に作成した「わたしのイメージマップ」に、追加して記入する。(3学期)

3年生でできるようになったことや、がんばったことなどを書き加えさせる。

友だちのよいところさがしをする。

班の人によいところに関するエピソードをお互いに、ワークシートに記入させる。

「わたしのイメージマップ」をもとに、4年生の目標を考える。

友だちのコメントや、イメージマップをもとに、4年生でがんばりたいことを考えさせる。

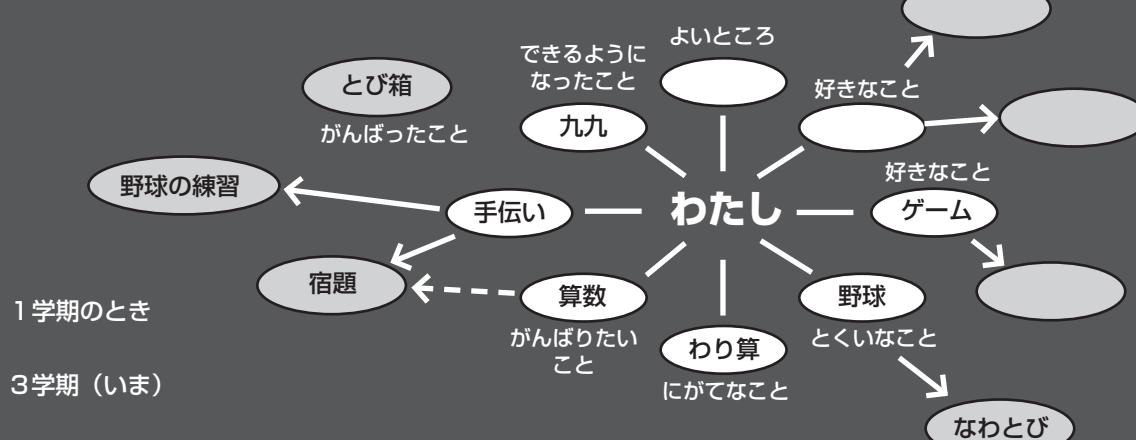
思いつかない児童に対して、思いつく部分だけでいいことをアドバイスする。

1年間を振り返って、イメージマップにできるようになったことやがんばったことを書き加える。

1年間の中で、その児童のがんばっていた場面やよさに気づいた場面を伝えるように指示する。



わくわく自分ツアーア



■ 準 備

■ ゲ ス ト

保護者 ※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料



わくわく自分ツアー



1) わたしのイメージマップをつくりましょう。

(記入日) 1回目: 月

(例)

とび箱が4だん
とべるようになつた

【よいところ】

【できるようになつたこと】

【がんばっていること】

【にがてなこと】

【がんばりたいこと】



2) はんの人にわたしのよいところを書いてもらいましょう。

日 2回目： 月 日

【好きなこと】

【好きなこと】

【とくいなこと】

○○さんへ

○○さんへ

○○さんへ

○○さんへ

○○より

○○より

○○さんへ

○○さんへ

○○より

○○より

3) 4年生の目ひょうを考えましょう。



しかられなくてはならないこと

ねらい

「しかる・しからない」について、保護者にアンケートを実施し、その結果を使って、自分で善悪の判断をし、行動することの大切さを考える。



主に身につけさせたい力

社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



保護者が「しかる」と答えた項目を予想する。

個人で予想した結果を、ワークシートに記入させる。

なんでもランキング
「一位をあてちゃいけまテン！+2」
※ 班対抗で1位をあてないように
予想した結果を発表する。

班で相談をさせ、順番に発表させる。

上位(='しかる')と、下位(='しからない')のちがいを考える。

ランキング結果を1～12位まで並べ、「1～4位」「8～12位」のそれぞれに共通することを考えさせる。

「うそをついてごまかす」というカードがあれば、何番目になっていたかを予想する。

予想を答えさせ、その理由も発表させる。

事前に保護者アンケートを実施しておく。

授業は保護者参観日に行う。

「しかる」は人に迷惑をかけたり、人を傷つける内容、「しからない」は個性や発達にかかる内容になっていることに気づかせる。

参観されている保護者の方の意見も聞く。

指導の工夫

板書例

しかられなくてはならないこと



- 1位 ネチネチといじめをくりかえした
- 2位 お店で万引きした
- 3位 友だちがいうことを聞かなかつたので暴力をふるつた
- 4位 こっそりといやがらせの落書きをした
- 5位 授業をきちんと受けない
- 6位 先生の注意に反こうした
- 7位 夜おそくまで遊んでいた
- 8位 遊んで宿題をきちんとしない
- 9位 苦手なことに消きょくてきになつてゐる
- 10位 不注意でものをこわした
- 11位 何をするにも時間がかかる
- 12位 勉強していたのにテストの点数が悪かつた



■ 準備

保護者に事前アンケートを実施する

※ 12項目について、「きびしくしかる」「しかる」「しからない」を調査

■ ゲスト

先生 保護者

※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参考資料

配布
資料

しかられなくてはならないこと



1) 保護者が「しかる」と答えたのはどのカードでしょう。

ア. 不注意で物をこわした



イ. 苦手なことに消きょくてきになっている



ウ. お店で万引きをした



エ. 授業をきちんと受けない



オ. 夜おそくまで遊んでいた



カ. 何をするにも時間がかかる



キ. 先生の注意に反こうする



ク. こっそりといやがらせの落書きをした



ケ. 友だちが言うことを聞かなかったのでぼうりよくをふるった



コ. 遊んで宿題をきちんとしない



サ. 勉強していたのにテストの点数が悪かった



シ. ネチネチといじめをくりかえした



- 保護者の方が「しかる」と答えたのはどれでしょう。

- 保護者の方が「しからない」と答えたのはどれでしょう。

2) 「しかる」と「しからない」のちがいは何でしょう。

しかる

しからない

3) 次のカードがあれば、何番になっていたでしょう。



■ 予想

■ 理由

4) 今日の授業のふりかえり



学校ではたらいている人たち

ねらい

学校ではたらいている人へのインタビューを通して、学校の中では、いろいろな人が仕事を分担していることに気づく。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



学校では、どんな人たちがはたらいているのかを考える。

知っている仕事(=役職)を答えさせる。

学校の中ではたらいている人の仕事について、知っていることを出し合う。

みんなが勉強できるよう、いろんな人が役割を分担していることに気づかせる。

学校の中ではたらいている人に、スタンプラー形式で、インタビューをしていく。

聞き取った内容をワークシートに記入したのち、インタビューをした人にスタンプを押してもらう。

学校をよくするために、「自分は何ができるのか」を考える。

自分にも役割や仕事があることに気づかせる。

学校をよくするために自分たちはどんなことをすればいいのかを考えるために、学校で働いている人たちのことを調べる。

仕事の内容について、知っていることを交流する。

事前に、質問内容を準備しておく。

指導の工夫

板書例

学校ではたらいている人たち



校長先生



ほけんのせんせい



えいようしさん



こうむいんさん



ちょうりいんさん

しつ問内よう

- ・校長先生はふだんどんなしごとをしているのか？
- ・しごとでたいへんなことは？
- ・たいへんなときはどうするのか？

〈私たちのしごと〉



■ 準 備

スタンプ

■ ゲ ス ト

学校の中ではたらく人

■ 参 考 資 料

「インタビューのコツ」

- 事前に調べておく
インタビューする相手の情報を得て、事前に準備をしておく。
- 聞きたい内容（気になること）を1つ選ぶ
聞きたい内容を1つ選び、それに関する質問を3つ考える。
- 質問をする順番を考える
「仕事の内容は？」→「困ることは（その理由は）？」→「困ったときはどうするの？」



学校ではたらいでいる人たち



1) 学校ではたらいでいる人たちとは、どんな仕事をしているのでしょうか。



（）

（）

（）

（）



2) 聞きたい内ようを決め、しつ問を3つ考えましょう。



聞きたい内よう

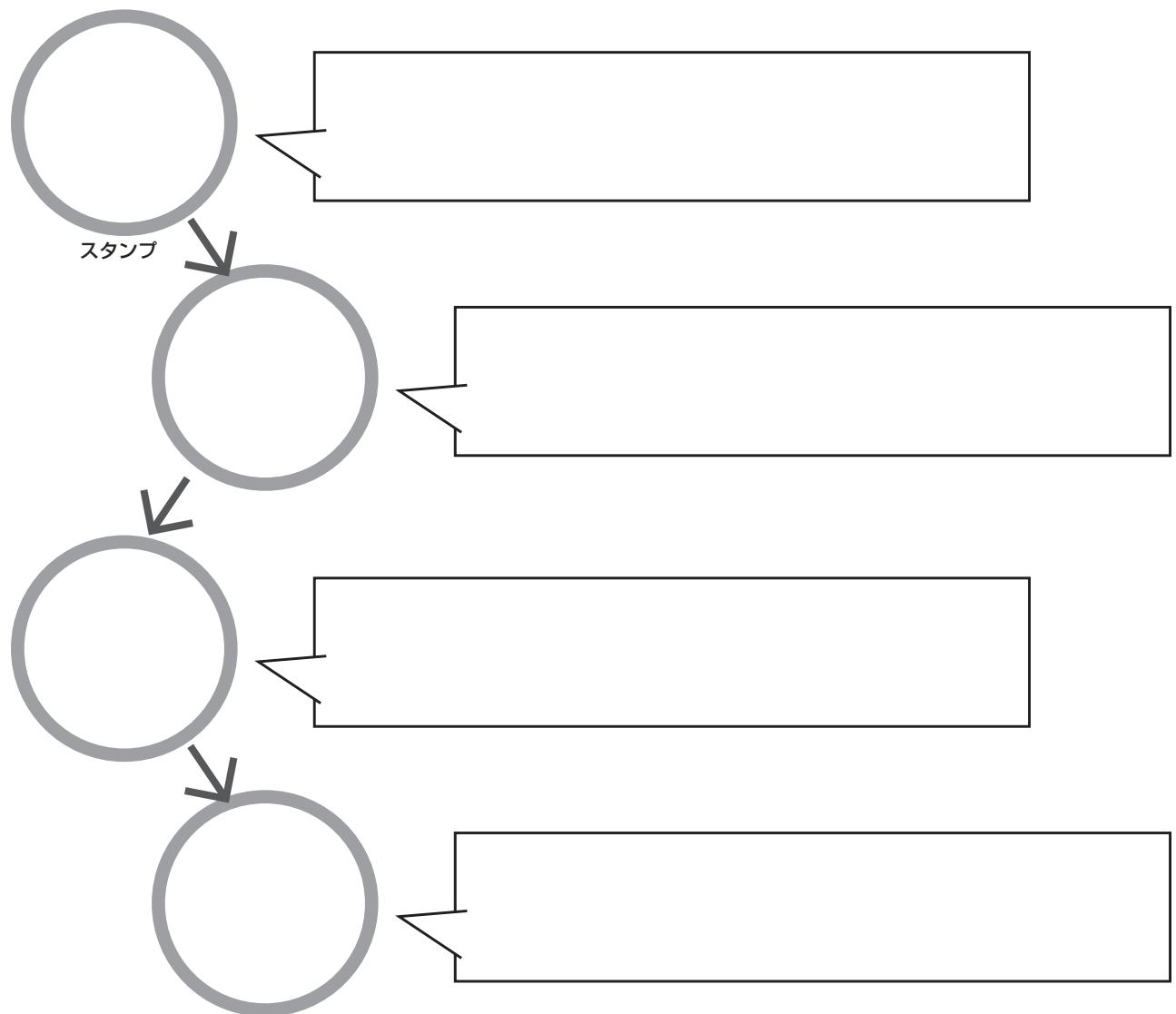
しつ問したいこと

①

②

③

3) 学校の中ではたらいている人にインタビューをして、 スタンプをおしてもらいましょう。



4) 今日の授業のふりかえり ~ わたしたちができることは？ ~

“ねがい”と“やくそく”

ねらい

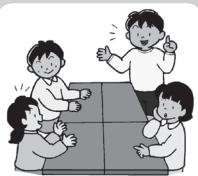
アメリカの小学校の規則を使って、みんなの権利を守るために、一人ひとりが約束（責任）を果たさなければならぬことに気づく。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



学校の中には、どんな「やくそく」があるのかを考える。

明文化されていないものも含め、できるだけたくさん出させる。

学校のやくそくを「ルール」と「マナー」と「エチケット」に分ける。

「ルール」と「マナー」と「エチケット」の違いを説明する。

アメリカの小学校の権利を紹介し、規則のところに入る文章を考える。

一人ひとりに考えさせた後、発表させる。また、なぜそのように考えたのか理由もたずねる。

自分たちのクラスに必要な規則を考える。

たくさん考えるのではなく、できるだけしぶるよう指示する。

- ルール：規則
守らないといけない
- マナー：行儀
知らないと恥ずかしい
- エチケット：礼儀
知っているとかっこいい

理由をしっかりと
考えさせる。

みんなの権利を守るには、自分だけは得しようという考え方（特権）はゆるされないことに気づかせる。

指導の工夫

板書例

“ねがい”と“やくそく”

● ルール：規則（きそく）

- ・ちこくしない
- ・チャイムがなったら
せきにつく

● マナー：行儀（ぎょうぎ）

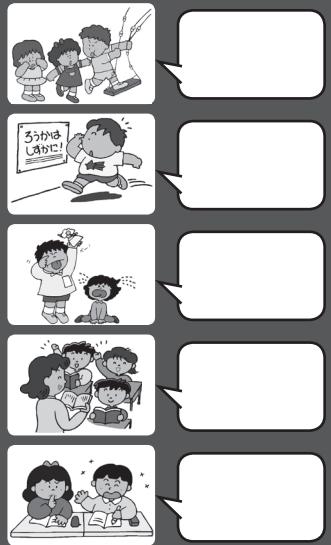
- ・きゅうしょくのときに
たちあるかない

● エチケット：礼儀（れいぎ）

- ・あいさつをきちんとする

〈アイオワ州の小学校〉

1. わたしは学校の中で楽しく安心して生活するけん利を持っています。
2. わたしは学校の中で安全に生活するけん利を持っています。
3. わたしは学校の中でいじめや差別を受けないけん利を持っています。
4. わたしは学校の中で自分の意見を言うけん利を持っています。
5. わたしは学校の中できちんと授業をうけるけん利を持っています。



■ 準 備

アメリカの小学校の規則

■ ゲ ス ト

■ 参 考 資 料



“ねがい”と“やくそく”



1) 学校にはどんなやくそくがありますか？



2) 学校のやくそくを“ルール”、“マナー”、“エチケット”に わけてみましょう。

ルール
きそく
(規則)

マナー
ぎょうぎ
(行儀)

エチケット
れいぎ
(礼儀)

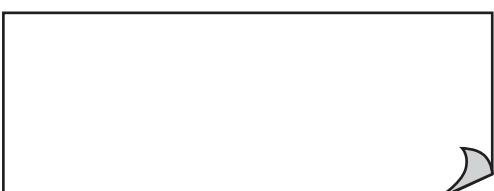
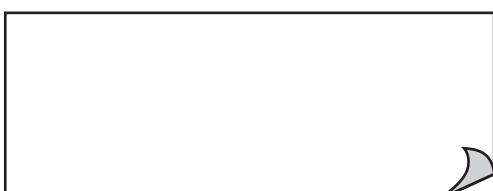
3) 5つのけん利を守るために必要なきそくが必要でしょう？

〈アイオワ州の小学校〉

- わたしは学校の中で楽しく安心して生活するけん利を持っています。
- わたしは学校の中で安全に生活するけん利を持っています。
- わたしは学校の中でいじめや差別を受けないけん利を持っています。
- わたしは学校の中で自分の意見を言うけん利を持っています。
- わたしは学校の中できちんと授業をうけるけん利を持っています。



4) わたしたちの学校に必要な「きそく」を考えましょう。



5) 今日の授業のふりかえり



1／2成人式をしよう

ねらい

今までの自分の生活を振り返るとともに、大人になるとはどういうことなのかを考えることを通して、これらの目標を立てる。



主に身につけさせたい力

未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



1／2成人式の内容を聞く。

1／2成人式の当日の流れ、みんながすることを説明する。

今までの生活をふりかえり、
うれしかったこと等を記入する。

まわりの人などのかかわりをしてもらったのか
も考えさせる。

大人になるとはどういうこと
なのかを、ゲスト（保護者）
といっしょに班で考える。

「大人と子どものちがい」「
大人の仕事」「大人がうれしいとき」等について、考
えさせる。

マイドリームプラン（大人にな
ったときにやりたいこと）
を書く。

1／2成人式で発表するこ
とを伝える。

1／2成人式当日にみ
んなが発表する原稿を
作ることを伝える。

いろいろな人が見守っ
てくれていたことに気
づかせる。

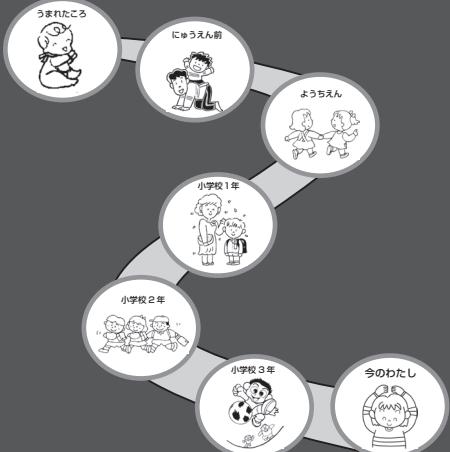
「大人がうれしいこと」
については、ゲストか
ら聞き取りをさせる。

単なる夢や目標だけ
ではなく、なぜやりたい
のか。そのためにどん
なことをしないといけな
いのかも考えさせる。

指導の工夫

板書例

1／2成人式をしよう



大人と子どものちがいは？

大人はどんな仕事をしているのか？

大人がうれしいのはどんなとき？

マイドリームプランをつくりましょう

■ 準 備

1／2成人式の招待状、式次第

■ ゲ ス ト

保護者、幼稚園・保育所の先生（1／2成人式当日）

■ 参 考 資 料

1. はじめのことば
2. 1／2成人証書をもらう
3. お祝いの言葉：保護者代表、担任
4. お祝いのメッセージ：幼稚園、低学年の先生
5. 10才の言葉
6. 素敵な大人になるために：調べ学習の発表会
7. 保護者が考える素敵な大人：保護者ヘインタビュー
8. 終わりの言葉
9. 記念写真

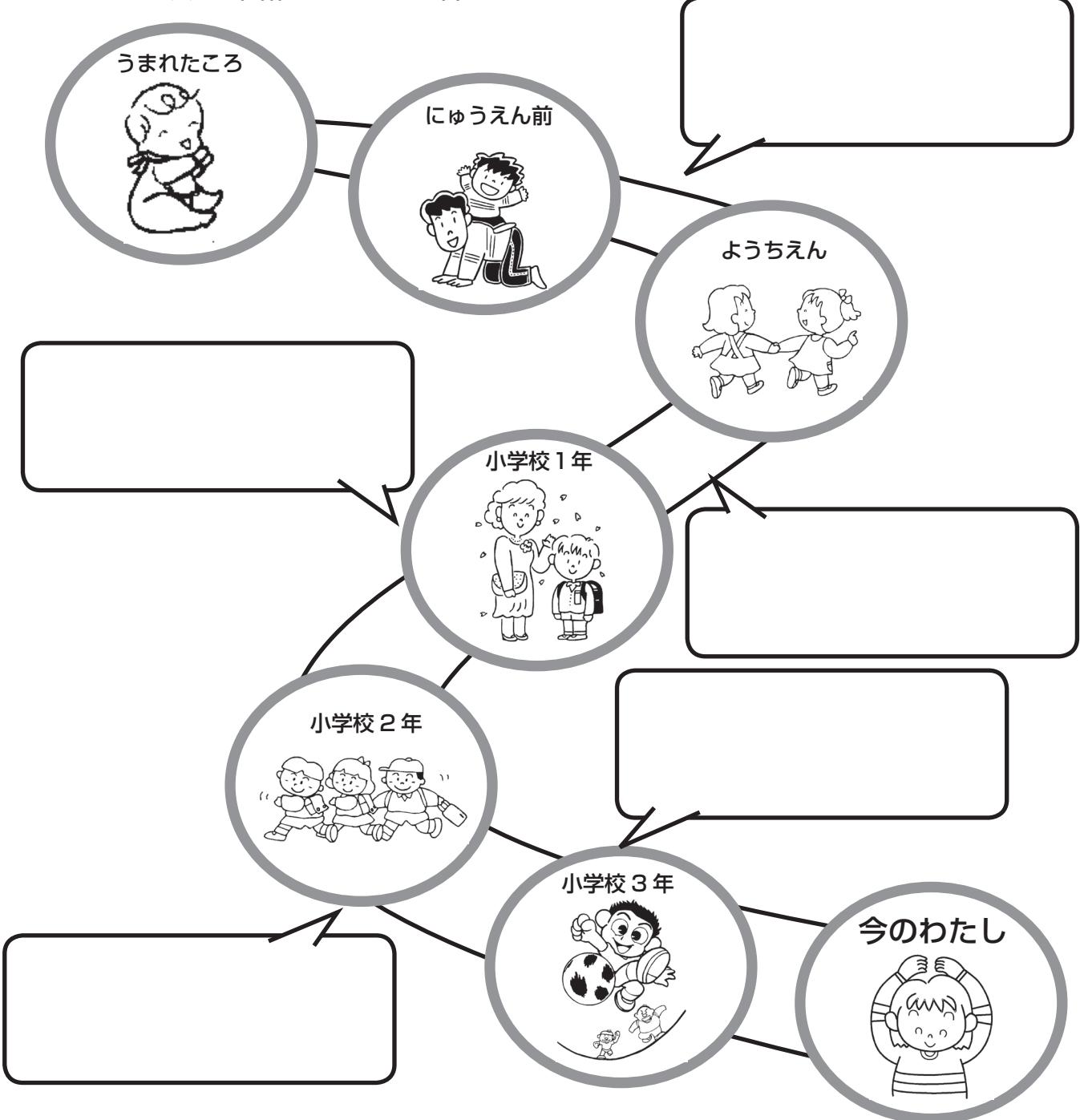
配布
資料



1／2 成人式をしよう

1) 今までの生活を見直そう

※ 今までの生活をふりかえり、うれしかったこと、できるようになったこと、まわりの人にお世話になったことを書きましょう。



2) 大人になるとはどういうことなのかを考えましょう



大人と子どものちがいは？

大人はどんな仕事をしているのか？

大人がうれしいのはどんなとき？

3) 大きくなったら、どんなことがしたいですか？（マイドリームプラン）



（マイドリームプラン）

学校づくりの提言

ねらい

保護者、先生と一緒に、みんなが楽しく安心して生活できる学校をつくるための提言を考えることにより、お互いの自由や権利に気づく。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



「みんなが楽しく安心して生活できる学校」をつくるための意見をワークシートに書く。

みんなが楽しく安心して生活できる学校にするための提言を考えさせる。

児童だけではなく、先生、保護者もいっしょに考える。

意見をふせんに書き、発表しながら模造紙にはる。
(班ごとに話し合いをする)

なぜそのような学校にしたいのか、理由も説明させる。

各班に先生、保護者も入り、三者で意見交流をする。

よく似た意見を○で囲み、見出しをつける。

他の班の人にもわかりやすい工夫をするよう助言する。

配置、色分け、見出しのつけ方などを工夫する。

みんなから出された意見を実行するための計画を考える。

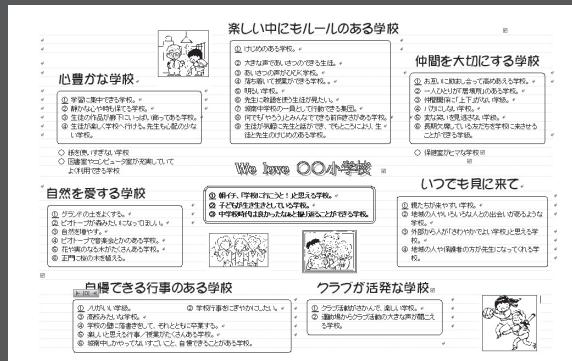
各班の意見を発表させた後、見出しをワークシート4で整理する。

ワークシートを使って4つのマスに、各班の見出しを整理していく。

指導の工夫

板書例

学校づくりの提言



時間がかかるもの

一人ひとりの努力ができるもの

みんなが力を合わせる必要があるもの

すぐにできるもの

■ 準 備

付箋 マジック 模造紙

■ ゲ ス ト

保護者 校長先生 PTA役員

※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

■ 参 考 資 料

「話し合いの進め方」

- 話し合う目的と理由をはっきりする。
↓ 議長団と事前に十分に打合せをし、話し合いの目的や話し合う理由を明らかにしておく。
- 話し合いの進め方を確認する。
↓ 「何について」「何人で」「何分以内に」「いくつの意見を考える」等、進め方を決めておく。
- たくさんの意見を出す。
↓ 少人数で意見を出し、たくさんの意見を出すとともに、議題に沿わない意見をのぞく。
- お互いに質問をしながら、理解を深め、意見を整理する。
↓ 出された意見に対して、わからないところは質問をし、理解を深めていく。
- 目的に合った意見を選び、みんなが納得できる結論を出す。
他の人の意見を聞いて、納得できれば意見を変えることも大切であることを押さえる。



学校づくりの提言



1) 「みんなが楽しく安心して生活できる学校」をつくるための意見を考えましょう。

- できるだけ、たくさんの意見を考えましょう。

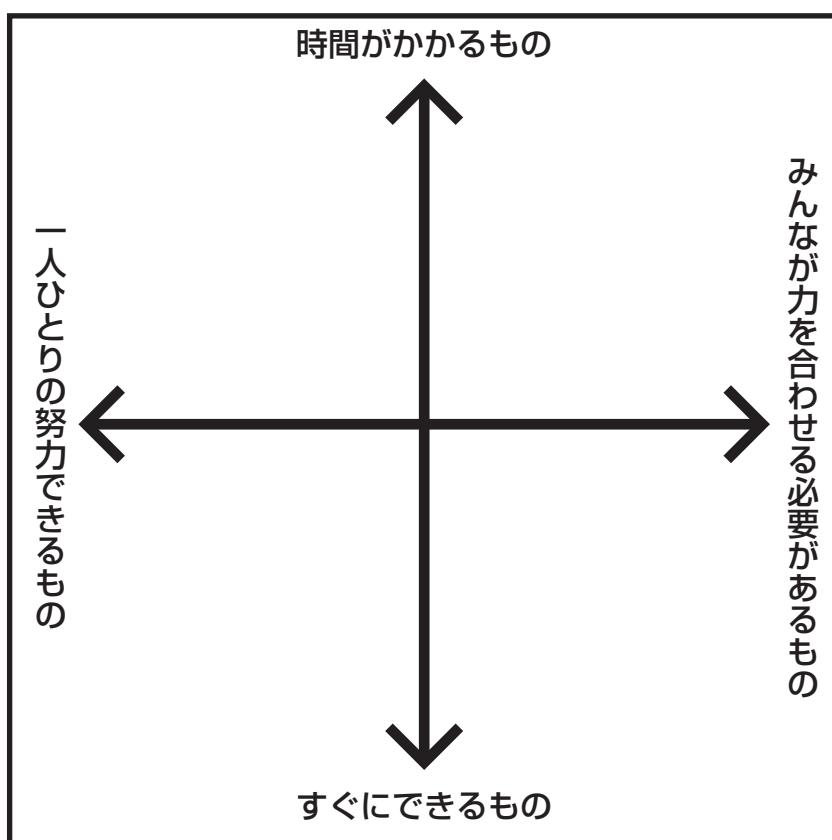
わたしの意見

2) あなたの意見をふせんに書き、も造紙にはりましょう。

- ① 意見をふせんに書きましょう。(ひとつの意見を1まいのふせんに書くこと)
- ② 意見を発表しながら、ふせんをも造紙にはっていきましょう。このときよく似た意見は、近い場所にはっていきましょう。

3) よく似た意見を〇でかこみ、そのまとまりに見出しをつけましょう。

4) みんなから出された意見を実行するための計画を立ててみましょう。



5) 今日の授業のふりかえり



わたしたちのアクションプラン

ねらい

「みんなが楽しく安心して生活できる学校」をつくるためのアクションプランを考えることを通して、みんなの生活する場をよりよくするために、お互いに果たすべき役割や責任に気づく。



主に身につけさせたい力

未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



「学校づくりの提言」の中から、自分が実行したい内容を3つ選ぶ。またその理由を書く。

みんなから出された意見をもとに、自分が大切だと思うものを選ばせる。

選んだ内容を実行するために、「自分がすること」「みんなに協力して欲しいこと」を考える。

心構えではなく、できるだけ具体的に(行動レベルで)考えさせる。

班で意見を交流し、班のアクションプランを作成し、発表する。

お互いの意見を交流し、班として実行ていきたいことを、アクションプランとしてまとめさせる。

ゲストの話を聞く。

PTA会長、自治会長等から、どんな仕事をしているのかを話していただく。

※ プランについては、実施状況を定期的に確認するようにする。

住みやすい町をつくるためにどんな仕事をしているのかを話していただく。

指導の工夫

板書例

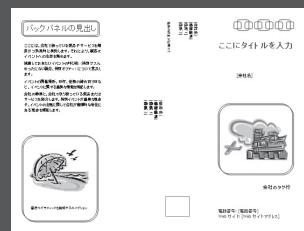
わたしたちのアクションプラン



(私の選んだ提言 ベスト3)

- 1位 仲間を大切にする学校
- 2位 じまんできる行事のある学校
- 3位 楽しい中にもルールのある学校

アクションプランに
まとめてみよう



■ 準 備

■ ゲ ス ト

PTA会長、自治会長など

■ 参 考 資 料

「立候補すること」

● 立候補は自分で決めるこ

立候補は、だれかに言われてやるとか、イヤイヤするのでは、あまりねうちがありません。
「自分から進んで！」というところに、立候補の意味があるのです。

● 立候補すれば、自分の意見（＝原案）を提出できる

どうして「自分から進んで！」、仕事を引き受けるのか？ それは自分で意見を出せるからです。
「こんな学校をつくりたい」「こんなことを児童会でやりたい」という自分の思いや考えを出せるのです。

● 立候補が多いほど、よりよい生活がつくられる

立候補が多いということは、まわりの人のためや学校のために、仕事を引き受けるという人や、意見を考える人が多くいるということです。そのような人が多ければ多いほど、よりよい生活がつくられます。



わたしたちのアクションプラン



1) 学校づくりの提言をもとに、自分が実行したい内容を選びましょう。

■ わたしが選んだ提言 ベスト3

1位

2位

3位

(選んだ理由)

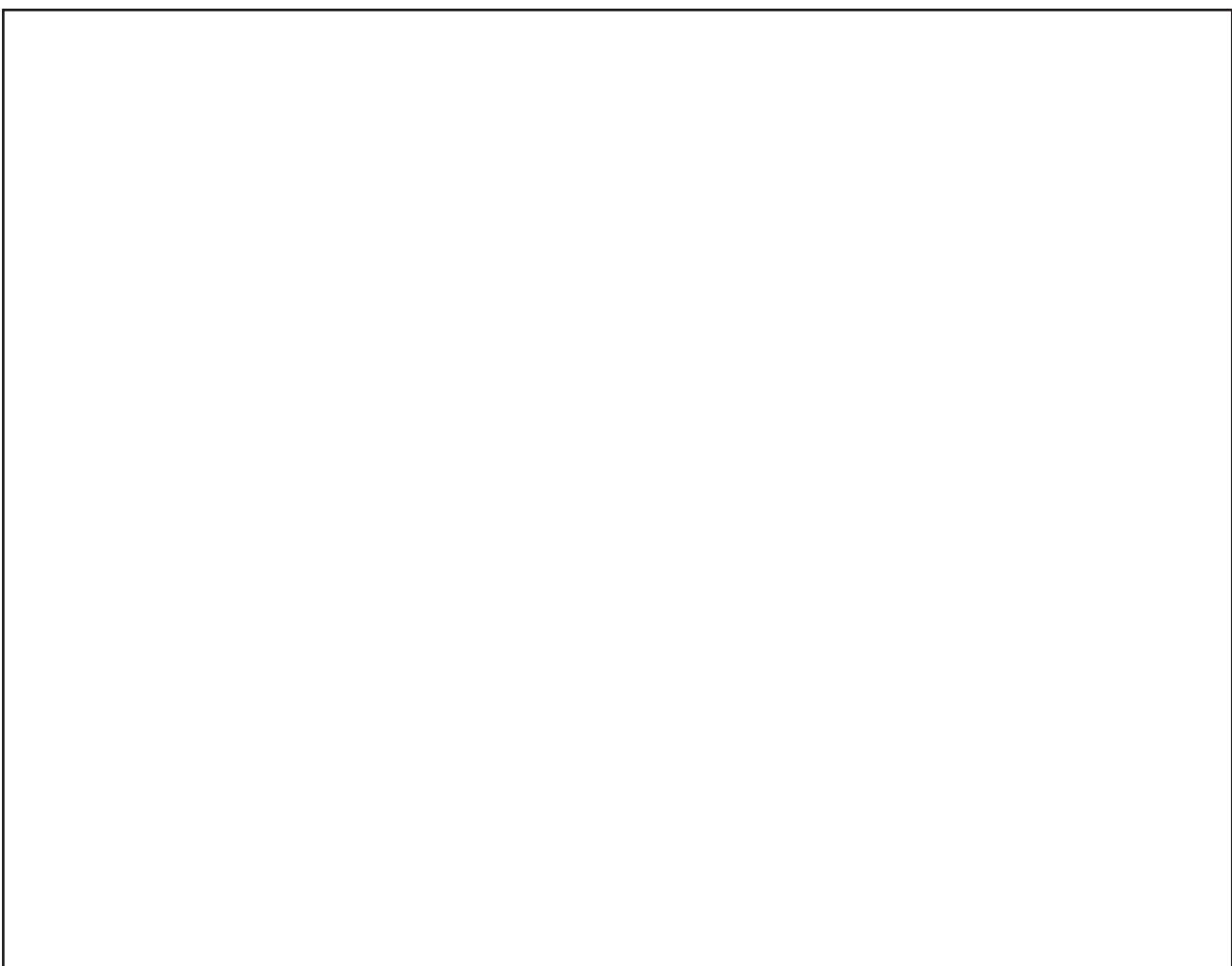
2) 実行するために、「自分がすること」「みんなに協力してほしいこと」は?

(自分がすること)

(みんなに協力してほしいこと)

3) アクションプランを考えましょう。

■ わたしたちはんのアクションプラン



A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for students to write their own action plan.

4) 今日の授業のふりかえり



Four horizontal dashed lines spaced evenly down the page, intended for students to reflect on today's lesson.



ケーキ屋さんを経営しよう

ねらい

ケーキ屋さんを経営するのに必要な資金について
考えることを通して、お金の大切さや、お金を得ることの大変さに気づかせる。

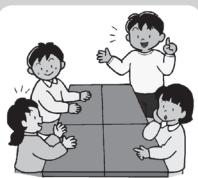


主に身につけさせたい力

未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



2つの場所の状況をもとに、
ケーキ屋さんを出店する場所
を考える。

班で話し合いをさせ、出店
する場所を決めさせる。

お店でいっしょに働くスタッ
フを選ぶ。

班で話し合いをさせ、ス
タッフを1名決めさせる。

1年間の利益を計算してみ
る。

ケーキの売り上げをもと
に、各自で計算をさせる。

売り上げを伸ばす方法を班で
考える。

各班が考えた方法を発表さ
せた後、ゲストの話を聞か
せる。

たくさんのお客さんに
来てもらえそうな方法
を考えさせる。

選ぶときのポイントも
考えさせる。
ゲストにアドバイスし
てもらうなどの工夫も
考えられる。

- ①単価を下げる。
 - ②新商品を開発する。
 - ③付加価値をつける。
 - ④サービスをよくする。
- 等が考えられる。

指導の工夫

板書例

「ケーキ屋さんを経営しよう」

● お店を出す場所

(ムース島)

- ・ケーキ屋さんが少ない
- ・ひょうばんがいい



● いっしょにはたらくスタッフ

(ミルクさん)

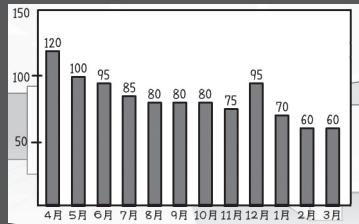
- ・計算がとくい
- ・お客さんの相手がうまそう

● 1年目の利益

10200 リナ

● 売り上げを伸ばす方法（アイデア）

- ・ケーキのねだんを安くする
- ・バーゲンの日をつくる
- ・新しいケーキをつくる



■ 準備

パソコン、プロジェクター、スクリーン

■ ゲスト

金融関係のお仕事をしている方、お店を経営している方

■ 参考資料

学習ゲーム「スイートのケーキ屋さん」

りそなキッズマネーアカデミー

<http://www.resona-gr.co.jp/academy/elearn/cake.html>

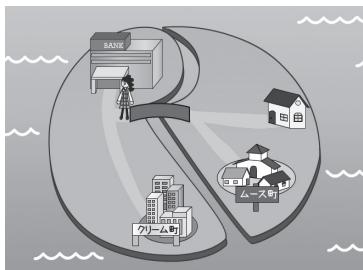
※この教材は、りそな銀行と東京工科大学が共同で開発したものです。



ケーキ屋さんを経営しよう



1) お店を出す場所を考えましょう。



クリーム町

ここは 100 人の人が住んでいる、この島で一番大きな町なんですよ。川の向こうの町で私の父が町長をしています。

お店がたくさんあるし、とてもにぎやかよ。この町はとても便利だから他のところに行く用事はないなあ。

最近デパートがオープンしたんだよ。デパートの中のケーキ屋さんも大人気なさ！この町には他にもケーキ屋さんが9つくらいあって色々な種類のケーキを食べられるんだ！

ムース町

この町は 50 人くらいしか住んでいない町じゃが、自然がいっぱいとてても住みやすい町じゃよ。ただ川に橋がないのが少し不便でのう。

この町にはあんまりお店がないんだ。ケーキ屋さんは 1 つしかないし、もっとこの町にケーキ屋さんがあればいいのになあ。

スイートちゃんの作ったケーキを町の人 20 人にあげたら、みんなおいしいって言ってたよ。スイートちゃんがケーキ屋さんを開いたらみんな食べにきてくれると思うよ。

(場所)

(理由)

2) いっしょにお店で働く人を決めましょう。

名前：カカオ



手伝おうと思った理由
新しいマウンテンバイクが欲しい

得意なこと
ケンカ、町で一番強い

苦手なこと
細かい作業

自分の性格
やさしくて、力持ち

名前：ミルク



手伝おうと思った理由
ケーキを好きでよく作るから

得意なこと
計算、細かい作業をすること

苦手なこと
初めて会う人と話すこと

自分の性格
おとなしい

名前：ビター



手伝おうと思った理由
将来お店を出すための勉強

得意なこと
友達を作ること

苦手なこと
計算、手先を使う作業

自分の性格
ちょっとおっちょこちょい

いっしょに
働く人

(理由)



給与 400 リナ

3) 売り上げをのばす方法を考えましょう。

① 銀行からお金を借ります。

★ お店を開くため、銀行から10,000リナを借りました。

★ 銀行には2年後に返すことにし、1年間に6%の利息をはらうことになりました。

(1年間の利息)

$$10,000 \text{ リナ} \times 6\% = \boxed{} \text{ リナ}$$

② ケーキのねだんを20リナに決めました。

ケーキ1個の材料費は5リナです。

近くのお店で売られているケーキのねだんは20リナです。

1年目は1000個売れました。



ショートケーキ
1個 20リナ

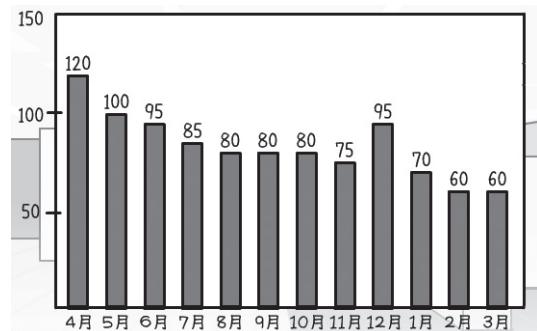
利益はいくらかな？

$$(20 \text{ リナ} - 5 \text{ リナ}) \times 1000 \text{ 個} - 4800 \text{ リナ} = \boxed{} \text{ リナ}$$

(スタッフの1年間の給与)

③ 売り上げを伸ばす方法を考えましょう。

(方法)



4) 今日の授業のふりかえり



JFA こころのプロジェクト

ねらい

夢先生の話を聞き、「夢を持つことの大切さ」や
「仲間と協力することの大切さ」を考える。



主に身につけさせたい力

未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



ゲームや競争を通じて、
目的のために協力する
こと、相手を思いやる
こころやフェアプレー
精神を気づいていく。

ゲームをする。

体を動かしながら、グルー
ープで一つの目的を達成する
ゲームや競争をさせる。

夢先生の夢トークを聞く。

夢曲線を描きながら、夢先
生自身のエピソードを話し
ていただく。

夢先生とともに、夢について
語り合う。

自分の夢について、具体的
に話をさせる。

自分の夢を書き、交流する。

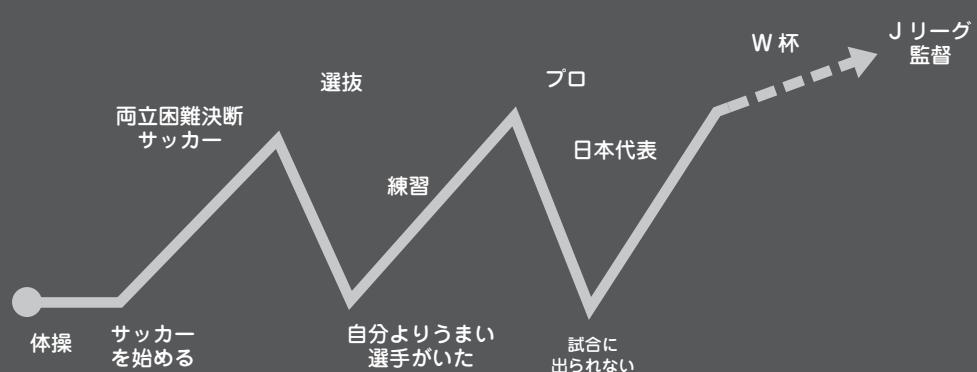
夢を成し遂げるために、具
体的にどうするのかも考え
させる。

事前に話を聞くときの
ポイントを整理しておく。

お互いの夢を発表しあう。



夢の教室



■ 準 備

視聴覚機器

■ ゲ ス ト

夢先生

■ 参 考 資 料

JFA こころのプロジェクト <http://www.yumesen.jp/>

「夢の教室」とは、現役のJリーグ選手やなでしこ選手、そのOB／OGなどのサッカー関係者および、他種目の現役選手、OB／OGを、「夢先生」として、小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行い、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さなど」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えています。

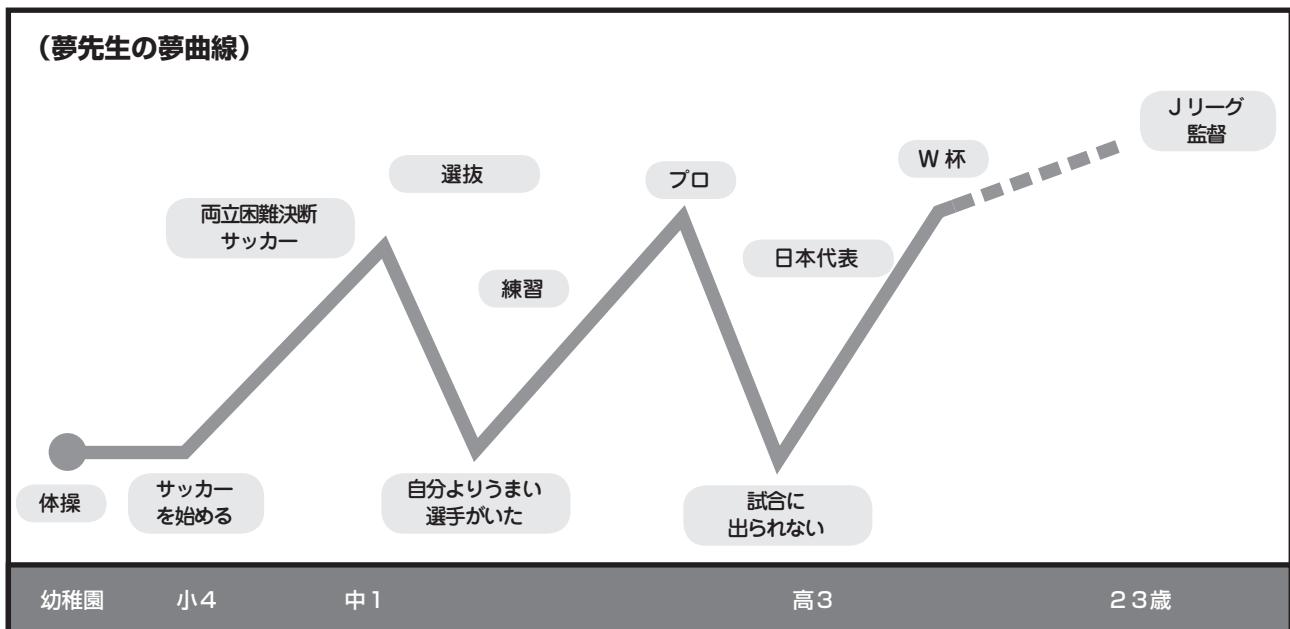


夢の教室

JFA こころのプロジェクト

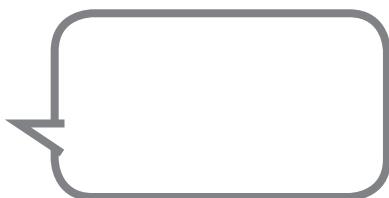


1) 夢先生の話を聞きましょう。



■ 夢先生のトークを聞きましょう。

- (例) 自分よりもうまい選手を見たとき、どんなことを考えたのだろうか?
試合に出られないときに、やめようと思ったことはあったのだろうか?
Jリーグの監督になったら、どんなチームをつくりたいのだろうか?





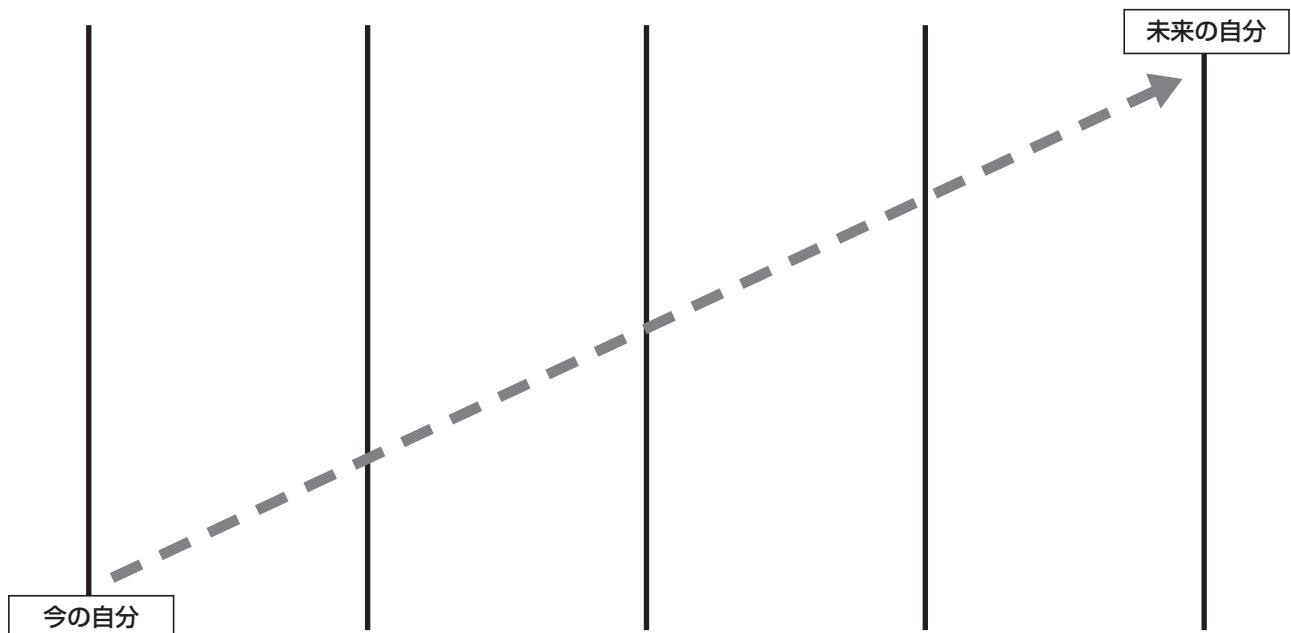


2) わたしの夢を書きましょう。

わたしは、

になって、

したい。



3) その夢をかなえるために努力することを書いてください。

4) 今日の授業のふりかえり

サッカーと野球

ねらい

まわりの人と意見を交流することで、いろいろなものの見方や考え方があることを理解するとともに、自分とは異なる意見を受け入れることで自分の考えを深めたり、広めることができることに気づく。

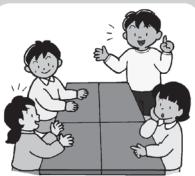


主に身につけさせたい力

人とつながる力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



サッカーと野球に関する質問に答える。

アンケート結果をもとに意見交流をするグループを決める。

サッカー・野球の興味がある方を選び、その理由を書く。

具体的な理由や自分の経験したことをもとに理由を書くよう助言する。

班でお互いの意見を交流し、なるほどと思った意見をワークシートに記入する。

自分の考えとのちがいを特に意識しながら聞くよう指示する。

なるほどと思った意見(=新しい発見)の数を確認する。

同じ選択でも理由にちがいがあることや、違う選択の中に新たな発見があったことに気づかせる。

意見交流のときに、野球とサッカーのお互いの意見が聞けるようにグループ編成をする。

自分の考えや意見を伝えるポイントは、具体的な理由や自分の経験を踏まえて説明することを理解させる。

自分の意見とのちがいを聞くことで、考えの【深まり】や【広がり】があることを気づかせる。

指導の工夫

板書例

サッカーと野球

◆ サッカーに興味 18名



◆ 野球に興味 20名



自分の考え方①

まわりの考え方

自分の考え方②



準 備

プロ野球とJリーグの写真等（児童の興味・関心を引くもの）

ゲスト

参考資料



サッカーと野球



1) サッカーと野球について、次の質問に答えてください。

① サッカーと野球のどちらに関心がありますか？

- ア. サッカー イ. 野球 ウ. どちらも関心ある エ. どちらも関心がない

② 好きなサッカーまたは野球のマンガがありますか？

- ア. サッカー イ. 野球 ウ. どちらもある エ. どちらもない

③ Jリーグやプロ野球で好きなチームがありますか？

- ア. サッカー イ. 野球 ウ. どちらもある エ. どちらもない

④ Jリーグやプロ野球の試合を直接スタジアムで見たことがありますか？

- ア. サッカー イ. 野球 ウ. どちらもある エ. どちらもない

⑤ サッカーやプロ野球のテレビ中継を見ますか？

- ア. サッカー イ. 野球 ウ. どちらも見る エ. どちらも見ない

2) あなたが（サッカー・野球）に興味がある理由を書いてください。



3) 自分の考えとまわりの人の考え方を聞いて整理してみましょう。

- ① 吹き出しに自分の考えを赤で記入しましょう。
- ② 他の人の意見を聞いて「なるほど！」と思った意見を記入しましょう。





4) 今日の授業のふりかえり

自由ってなに？

ねらい

「いじめの国際比較調査」「高校生の規範意識等に関する調査」の結果から、本当の自由には責任がともなうことを理解する。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



学年が上がるにつれて、なぜ日本はいじめを止める人が減りつつづけていくのかを考える。

ワークシートに自分の考えを記入したあと、発表させる。

日本の結果に注目させて考えさせる。

Aの国の子どもとB、Cの国の子どもが考える「自由」の違いはなんだろう。

それぞれの国の人たちが考える「自由」について発表させる。

A、B、Cの国が日本、アメリカ、中国のどこかを考える。

「本人の自由」と答えた割合に注目させて考えさせる。

A → 日本
B → アメリカ
C → 中国

2つの調査結果から、気がついたことや感想を発表する。

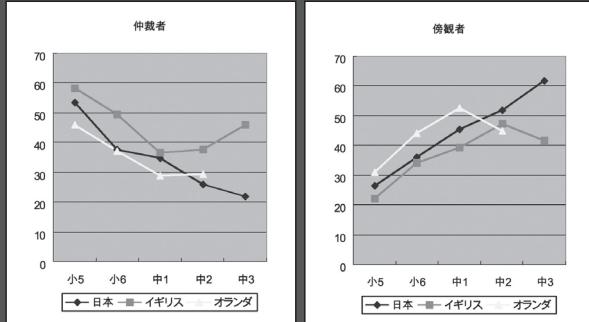
中学生になる（大人の仲間入りをはたす）ということに対する考え方の違いに気づかせる。

1) のイギリスやオランダの結果に注目させる。

指導の工夫

板書例

自由ってなに?



なぜ、日本はいじめを止める人が減りつづけるのだろう?

大人になる→自由が増える
【自由】って何?

	A		B		C	
	本人の自由	してはならない	本人の自由	してはならない	本人の自由	してはならない
先生に反抗	79.0	21.0	15.8	82.2	18.8	80.3
親に反抗	84.7	15.2	16.2	81.5	14.7	84.4
過激なファッショナ	85.9	14.0	66.1	32.4	26.2	73.3
授業中のメール	64.3	35.5	51.0	46.5	11.6	87.7
する休み	65.2	34.7	21.5	75.2	9.5	90.1
役割り果たさない	13.9	85.9	10.1	88.0	7.8	91.6

準 備

ゲスト

保護者等、中学生、高校生

※ 保護者が参加できない児童には配慮すること

参 考 資 料

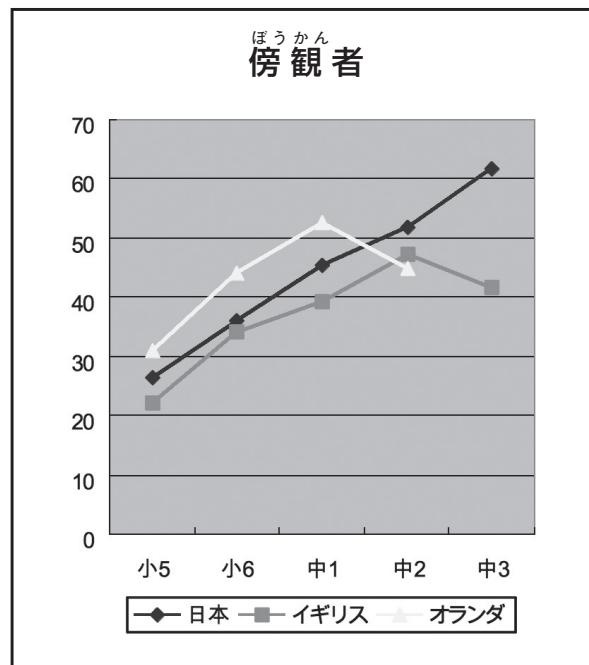
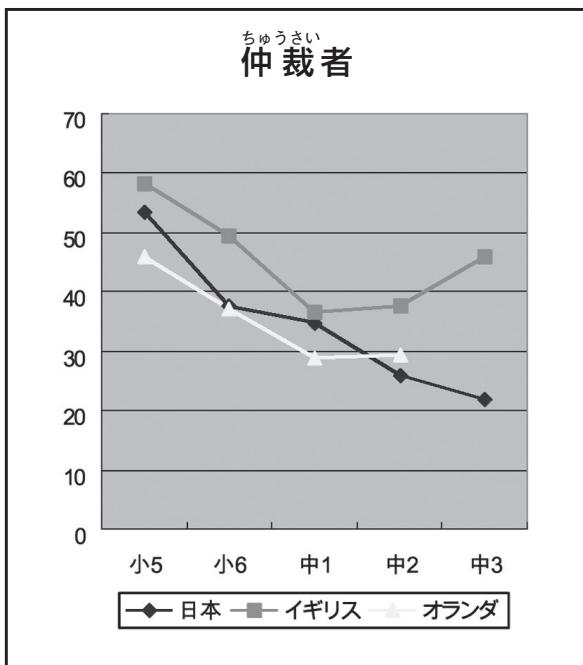
- 「いじめの国際比較調査」
日本・イギリス・オランダ・ノルウェーの調査分析 (森田洋司 監修)



自由ってなに？



1) いじめの国際比較く調査の結果を見て考えましょう。



- なぜ日本は、学年が上がるにつれていじめを止める人がへるのだろう？

2) 下のグラフを見て、考えてみましょう。

	A		B		C		(%)
	本人の 自由	しては ならない	本人の 自由	しては ならない	本人の 自由	しては ならない	
先生に反抗	79.0	21.0	15.8	82.2	18.8	80.3	
親に反抗	84.7	15.2	16.2	81.5	14.7	84.4	
過激なファッショ	85.9	14.0	66.1	32.4	26.2	73.3	
授業中のメール	64.3	35.5	51.0	46.5	11.6	87.7	
する休み	65.2	34.7	21.5	75.2	9.5	90.1	
役割り果たさない	13.9	85.9	10.1	88.0	7.8	91.6	

- ① Aの国の子どもが考える「自由」とBやCの国の子どもが考える「自由」のちがいは何でしょう。

Aの国

Bの国

- ② 2つの調査の結果を見て、気がついたことを出し合いましょう。

3) 今日の授業のふりかえり

未来予想図

～中学生にインタビュー～

ねらい

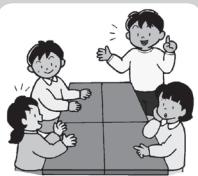
中学校の先輩からの聞き取りを通して、中学校生活についての興味や関心を高め、新しい生活への見通しをもつ。



主に身につけさせたい力 未来を設計する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



中学校の先生から、中学校1年生の学校生活について、説明を聞く。

わからないところは、あとで中学生が、みんなの質問に答えてくれることを伝えておく。

興味のある活動を班で交流し、くわしく知りたい活動を班で3つ選ぶ。

その活動を選んだ理由、先輩に聞きたいことも考えるよう指示する。

聞きたいことを班でまとめ、中学生にインタビューする。

わからないことは、しっかりと質問するよう指示する。

中学生から聞き取った内容をまとめ、クラスで報告する。

簡潔に説明できるよう、説明のポイント等を助言する。

中学校の先生は概要のみを説明する。

興味を引くために、一部をビデオで紹介するなどの工夫も考えられる。

中学生には、小学生のときとのちがいが分かるように説明をしてもらう。

P.166 学校ではたらいている人たち「インタビューのコツ」

聞き取った内容が重複した場合は、後で報告する班は同じ内容は省略し、補足説明のみをさせる。

指導の工夫

板書例

未来予想図

- 中学校1年生の取組みについて説明を聞く
- 班に分かれて、興味のある活動を3つ選ぶ
(なぜ選んだのか、どんなことが知りたいのか)
- 班ごとに先輩にインタビューする
- 聞き取った内容をクラスに報告する
- 振り返りを記入する
(自分はどんなことをがんばりたいのか)

	どんなことをするのか
1学期	<ul style="list-style-type: none">入学式林間合宿中間、期末テスト前期生徒会選挙
2学期	<ul style="list-style-type: none">体育祭文化祭中間、期末テスト後期生徒会選挙
3学期	<ul style="list-style-type: none">期末テスト耐寒マラソン卒業式

準 備

中学校の学校便覧、学校説明の資料等

ゲ ス ト

中学校の先生 中学生

参 考 資 料



未来予想図

先ぱいにインタビューしよう！



	主な取り組み	どんなことをするのか？
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・オリエンテーション ・クラブ活動の開始 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙 ・林間合宿 ・中間テスト 	
6月		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト 	
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・中間テスト 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙 ・個人こん談会 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト 	
1月		
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト ・卒業式 	

1) 中学生活について、先ぱいから話を聞きましょう。 どんなことをするのか？ 特ちょうは？ 気をつけることは？

※ 班で興味のある活動を3つ選び、先ぱいにその内容を説明してもらいましょう。

()について

()について

小学校とちがうのはどんなところ？



()について



2) 先ぱいから聞き取った内容をクラス全体に報告しましょう。

※ 聞き取った内容を報告しましょう。

※ 各班の報告を左の表に記入しましょう。

3) 今日の授業のふりかえり

よのなかの仕事

ねらい

よのなかの仕事を分類することを通して、職業を選ぶことは、社会の一員としての役割を分担することを理解する。



主に身につけさせたい力 社会に参画する力

授業の流れ

授業の流れ
(児童の活動)



教師の支援



ポイント



13歳のハローワークを見て、興味がある仕事を選ぶ。また、その理由を書く。

マップの中から興味のある仕事を一つ選択させる。

興味のある仕事が見つかった場合は、そのままわりの仕事も見るよう指示する。

仕事を「いのち」と結びつけて分類する。自分の選んだ仕事はどの分類に入るのかを考える。

「いのち」と結びつけた分類について説明する。

もしクラスがひとつの町だとしたら、みんなが選んだ仕事以外に、どんな仕事が必要になるのかを考える。

みんなの選んだ仕事を発表させた後で考えさせる。

ゲストのお話を聞く。

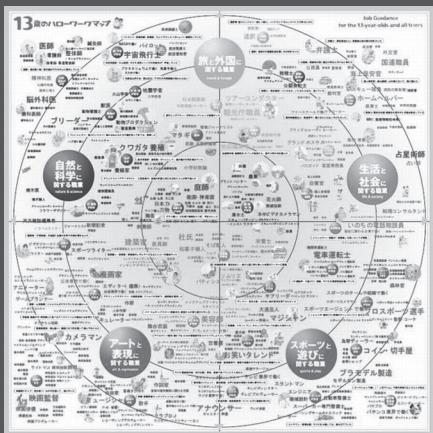
ゲストに仕事の内容、やりがい等について、お話を聞いていただく。

特にエピソードも交えていただき、仕事のやりがいや、いのちとのかかわり等を話してください。

指導の工夫

板書例

よのなかの仕事



いのちを守る仕事

いのちを育てる仕事

いのちを支える仕事

いのちを助ける仕事

いのちを治める仕事

いのちを楽しむ仕事

■ 準 備

13歳のハローワークマップ

■ ゲ ス ト

職業について話をしていただける方

■ 参 考 資 料

○ 13歳のハローワーク公式サイト

<http://www.13hw.com/>

※マップの購入先



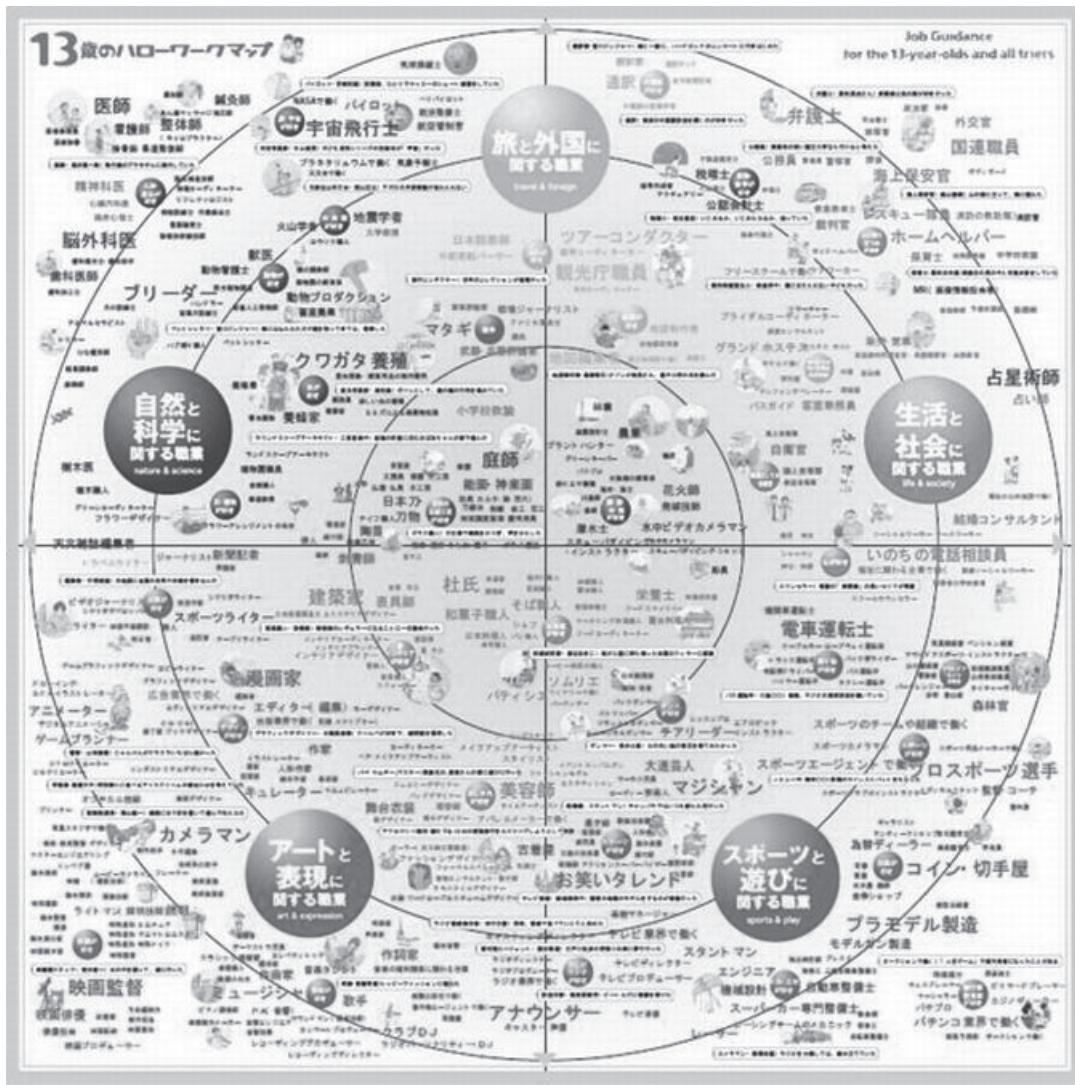
○ あしたね 職業調べ学習に役立つリンク集

http://www.ashitane.net/link_job.html



よのなかの仕事

1) 興味のある仕事をマップの中からさがしてみよう。



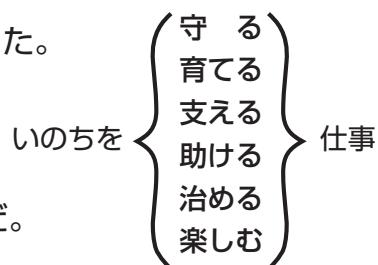
13歳のハローワーク

- わたしが興味のある仕事

(選んだ理由)

2) みんなが興味のある仕事を分類してみましょう。

ある人が、職業を「いのち」とむすびつけて分類をしました。
職業の選たくには、「個人の選たく」と、「社会の一員としての使命」がともなってくる。だから、職業を決めると
いうことは、任務を分担して「係の仕事」につくことなんだ。



【守る】	【育てる】	【支える】
【助ける】	【治める】	【楽しむ】

3) クラスがひとつの町だとしたら、他にはどのような仕事が必要でしょう？

- わたしが必要と思う仕事

(その理由)

4) 今日の授業のふりかえり

夢や志をはぐくむ教育教師用指導書（小学校版）作成協力者

(平成 23 年 3 月現在)

監修 横山 利弘 関西学院大学教授
同 藤永 芳純 大阪教育大学教授
同 三川 俊樹 追手門学院大学教授
同 金光 靖樹 大阪教育大学准教授

教師用指導書開発プロジェクト委員

【道徳教育部会】

委員 墓川 恵子 枚方市教育委員会主幹
同 嶋田 崇 枚方市教育委員会主幹
同 末本 裕喜 高石市教育委員会課長代理
同 竹内 弘二 高石市教育研究センター所長
同 小山 昌二 忠岡町教育委員会参事
同 川崎 雅也 貝塚市教育委員会参事

【キャリア教育部会】

委員 村上 良子 高槻市教育委員会指導主事
同 北村 和久 東大阪市教育委員会指導主事
同 稲垣 久代 松原市教育委員会課長補佐
同 嶋坂 美和 岬町教育委員会課長

事務局 大阪府教育委員会